

# 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事

令和 6年 9月

## 図 面 目 録

図 面 目 録														
図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺
												図面番号	図面名称	縮尺
A-01	特記仕様書 1	NS	建築図 (意匠)	19	増築部分 平面図	1/100	建築図 (意匠)	S-01	構造設計特記仕様	NS	構造図	M-01	衛生器具類 仕様表・凡例	NS
02	特記仕様書 2	NS		20	増築部分 立面図	1/100		02	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図 1	NS		02	既存配管撤去図	1/50
03	特記仕様書 3	NS		21	増築部分 矩計図 1・2	1/30		03	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図 2	NS		03	給水・給湯・排水設備図	1/50
04	特記仕様書 4	NS		22	増築部分 矩計図 3	1/30		04	鉄骨構造 標準図 1	NS		04	冷暖房・換気設備図	1/50
05	特記仕様書 5	NS		23	増築部分 平面詳細図	1/50		05	鉄骨構造 標準図 2	NS		05	既存 屋内消火栓設備配置図	1/200
06	特記仕様書 6	NS		24	増築部分 展開図 1	1/50		06	露出柱脚仕様書	NS				
07	特記仕様書 7	NS		25	増築部分 展開図 2	1/50		07	基礎伏図・1階柱R階梁伏図	1/100				
08	特記仕様書 8	NS		26	増築部分 建具キープラン	1/100		08	基礎リスト・柱型リスト・地中梁リスト 柱部材リスト・スラブリスト	1/50 1/30				
09	特記仕様書 9	NS		27	増築部分 建具リスト	1/100		09	鉄骨部材リスト	1/20				
10	解体工事仕様書	NS		28	既存改修部分 解体平面図・改修平面図	1/200		10	軸組図	1/30				
11	配置図・位置図・建築概要書	1/2,000		29	既存改修部分 撤去展開図	1/50		11	鉄骨詳細図	1/30				
12	仮設計画図	1/100		30	既存改修部分 改修展開図	1/50								
13	敷地面積算定図	1/800		31	既存改修部分 改修立面図	1/50		E-01	電灯幹線設備図	1/200				
14	建物面積算定図	1/200		32	既存改修部分 既存・改修 断面図・平面詳細図	1/50		02	増築部分 電灯・コンセント設備図	1/50				
15	増築部分仕上表 既存建物面積算定図	1/200		33	既存改修部分 建具キープラン	1/200		03	増築部分 火災報知設備図	1/100				
16	増築部分 仕上表	NS		34	既存改修部分 建具リスト	1/100		04	既存改修部分 自動閉鎖設備図	1/200				
17	申請建物 平面図	1/200		35	申請建物 既存部分 法チェック図	1/200		05	既存改修部分 非常照明設備図	1/200				
18	申請建物 立面図・断面図	1/200		36	増築部分 法チェック図	1/100								



2. 改質アスファルトシート防水	<p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材 G</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水 G</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="2">標準仕様書9.2.2(9) (種類)</td> <td rowspan="2">※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様</td> <td rowspan="2">※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td></td> <td rowspan="2">(厚さ) (mm)</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ( ) mm以上</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ・ ( ) 個</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示による ) ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・</p> <p>防水層の下地の立上り ※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 ・</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・</p> <p>防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 ※図示による ) ・適用しない</p> <p>屋上排水溝 ※図示による</p>	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料		高日射反射率防水 G	種類	使用量	・D-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類)	※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様	※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様	・適用する	・D-2		・適用する	・D1-1		(厚さ) (mm)	・	・	・適用する	・D1-2		・適用する	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2		<p>3. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">可塑性移行防止シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材 G</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水 G</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td rowspan="2">※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td rowspan="2">※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td rowspan="2">標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm</td> <td rowspan="2">※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td rowspan="2">標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm</td> <td rowspan="2">※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> <td rowspan="2">標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm</td> <td rowspan="2">※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>※ルーフ シートの 製造所 の仕様</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様</p> <p>SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-G1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 ・</p> <p>目地の種類 ※押し目地 ・</p> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上とする場合の厚さ ・</p> <p>絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9.4.1から表9.4.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ( ) mm以上</p> <p>固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ ( ) 個</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地目地処理 ・行う (※図示による ) ・</p> <p>プレキャストコンクリート部材の隅部増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う (※図示による ) ・行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>	種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材 G	仕上塗料		高日射反射率防水 G	種類	使用量	・S-F1		※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する	・S-F2		・適用する	・S-M1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する	・S-M2		・適用する	・SI-F1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する	・SI-F2		・適用する	・SI-M1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する	・SI-M2		・適用する	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・S-G1				<p>5. ケイ酸質系塗布防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の下地 (9.6.4) (表9.6.1) 壁 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種) ・ 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種) ・</p> <p>下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ・図示による ・</p> <p>標準仕様書9.6.4(2)の(i)、(j)以外の下地処理 ・図示による</p> <p>下地以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2、3、5) (表9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻き上げ巾木</td> <td>SR-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 (※図示による ) シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1) (7)~(9)による ・図示による ・</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所					施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	巻き上げ巾木	SR-1	<p>4. 内壁空積工法 (10.2.2) (10.4.2、3)</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・</p> <p>アンカーの材質及び寸法 材質 ※SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 ・</p> <p>石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書 表9.7.11による</p> <p>目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p>
	種別				施工箇所	断熱材 G		仕上塗料		高日射反射率防水 G																																																																																																	
種類		使用量																																																																																																									
・D-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類)	※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様	※アスファルトフィ ン製の製造所 の仕様	・適用する																																																																																																						
・D-2					・適用する																																																																																																						
・D1-1		(厚さ) (mm)	・	・	・適用する																																																																																																						
・D1-2					・適用する																																																																																																						
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																								
・E-1		・E-2																																																																																																									
種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材 G	仕上塗料		高日射反射率防水 G																																																																																																					
				種類	使用量																																																																																																						
・S-F1		※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する																																																																																																					
・S-F2				・適用する																																																																																																							
・S-M1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する																																																																																																					
・S-M2				・適用する																																																																																																							
・SI-F1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する																																																																																																					
・SI-F2				・適用する																																																																																																							
・SI-M1		標準仕様書9.4.2(3) (a) (b) (種類) (厚さ) ・25mm	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	※ルーフ シートの 製造所 の仕様	・適用する																																																																																																					
・SI-M2				・適用する																																																																																																							
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																								
・S-G1																																																																																																											
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																								
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																										
巻き上げ巾木	SR-1																																																																																																										
10 石工事	<p>1. 施工 (10.1.3)</p> <p>石材の割付け ※図示 粗面仕上の場合のみ込み部分の仕上 ※図示 屋内の床を本階とす場合のワックスがけ ・行う (適用箇所 ・すべて ・行わない)</p> <p>天然石 (10.2.1、3) (表10.2.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>形状及び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・床石</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ジェットバーナー仕上げの場合のパフ仕上げの有無 ・あり ・なし</p> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上げ面による区分</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>テラゾタイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ (mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の材料 (10.2.3) 取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>浸透性吸水防水剤 ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>石裏面処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・</p> <p>金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品 ・</p> <p>3. 外壁湿式工法 (10.2.2、3) (10.3.2、3)</p> <p>受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・</p> <p>ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p>	施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類	備考	・床石		・図示による				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型			<p>5. 外壁乾式工法 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4)</p> <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準仕様書 表10.2.4による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による</p> <p>アンカーの材質及び寸法 材質 ※SS400 寸法 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 ・</p> <p>だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2) (7)による ・図示による</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>シーリング材 種類 ※標準仕様書 表9.7.11による ・図示</p> <p>目地幅及び深さ ※10mm以上 ・</p>																																																																	
施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																						
・床石		・図示による																																																																																																									
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																				
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																							
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考																																																																																																						
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																								



<p>② 折板葺</p> <p>(13.2.2)(13.3.2.) (表 13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山びつによる区分</th> <th>山高、山びつによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・重ね形 ○はげ締め形 ・かな合形</td> <td></td> <td></td> <td>( ) 種</td> <td>※鋼板製 ・7M2M 合金板製</td> <td></td> <td>○有り ・無し</td> <td>○0分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 鋼板の種類 (※JIS G 3322の屋根用 (着色 ・有 ) ) コイルの種類 ( ) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 ( ・5類(AZ150) ) 断熱材張り ○行う (断熱材の種類 : 7M2M 厚さ (mm) : 4.0 耐火性能 : ) ・行わない</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法の適用 ・適用する ・適用しない 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法 雪止め ○設置する (形状及び施工箇所 ○図示による ) ・設置しない</p> <p>※長野県板金工業組合認定の施工により施工したものは、同組合及び工事受注者連名の保証書 (10年) を提出すること。また、当該組合認定以外の施工により施工したものは、メーカー、屋根施工業者及び工事受注者連名の保証書 (10年) を提出すること。</p> <p>(1及び2についての保証)</p> <p>3. 粘土瓦葺 (13.4.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="3">種類</th> <th rowspan="2">産地</th> <th rowspan="2">役物瓦の種類</th> <th rowspan="2">雪止め瓦</th> </tr> <tr> <th>製法による区分</th> <th>形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>棟瓦の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない JIS A5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない</p> <p>瓦棟木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15 (mm) 以上</p> <p>棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30 (mm)</p> <p>瓦緊結用釘及びねじ 種類 ( ) 径 ( ) 長さ ( ) 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ※図示による</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による</p> <p>瓦棟木の留付け工法 ※図示による</p> <p>棟の工法 ・7寸丸せき様又はF形用瓦伏せ様 ・のし積み様</p> <p>面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺き用しっくい</p> <p>④ とい (13.5.2.3) (表 13.5.4)</p> <p>といその他の材種 (13.5.2.3) (表 13.5.4) ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフレン ○表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)</p> <p>とい受金物 材質 ※標準仕様書 表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品 (とい径 100 以下) ・25×4.5 (mm) 以上 (とい径 100 を超えるもの)</p> <p>取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による</p> <p>足金物 材質 ※標準仕様書 表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品 取付け間隔 ※標準仕様書 表13.5.2による</p>	施工箇所	形式	山高、山びつによる区分	山高、山びつによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ○はげ締め形 ・かな合形			( ) 種	※鋼板製 ・7M2M 合金板製		○有り ・無し	○0分 ・無し	施工箇所	種類			産地	役物瓦の種類	雪止め瓦	製法による区分	形状による区分	寸法による区分							・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	<p>多雪地域 ○適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 鋼管製といの防露巻き ※標準仕様書 表13.5.4による</p> <p>ルーフレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 -100 ・125 -150</td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 -100 ・125 -150</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>・ねじ込み式 ・差し込み式</td> <td>・50 -80 -100 ・50 -75 -100</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>・ねじ込み式 ・差し込み式</td> <td>・50 -80 -100 ・50 -75 -100</td> </tr> </table> <p>(14.2.1) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・AB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AB-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>色合い等 (シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色 ( )) 陽極酸化皮膜の着色方法 ・二次電解着色 ・三次電解着色</p> <p>(14.2.2) (表 14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table> <p>野縁等の種類 (14.4.2~4) (表14.4.1)</p> <p>屋外 ※25形 ・19形</p> <p>屋内 ※19形 ・25形</p> <p>屋外の形式及び寸法 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 ・図示による 周辺部の端からの間隔 ・図示による 野縁の間隔 ・図示による</p> <p>・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 (補強方法 ※標準仕様書 表14.4.4(8) (7) (4)による ・図示による ) ・天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ・図示による ) (補強方法 ※図示による )</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1章 適用区分による風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>(14.5.3.4) (表 14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書 表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4.(5)による</p> <p>(14.6.2.3) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム</td> <td>・押し ・ロール ・プレス</td> <td>・Zn<sup>+</sup>メッキ形 ・パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示による</p> <p>伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示による ) ・設けない</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1章 適用区分による風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 -100 ・125 -150	・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 -100 ・125 -150	・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 -80 -100 ・50 -75 -100	・バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 -80 -100 ・50 -75 -100	種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・AB-1種			・AB-2種			・AC-1種			・AC-2種			・BA-1種			・BA-2種			・BB-1種			・BB-2種			・BC-1種			・BC-2種			・C種			表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		・電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種		種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミニウム	・押し ・ロール ・プレス	・Zn <sup>+</sup> メッキ形 ・パネル形					<p>・アルミニウム製笠木</p> <p>(14.7.2.3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)</p> <p>種類 ・250形 ・300形 ・350形</p> <p>表面処理 種別 ( ) 種 色合い等 ・標準色 ( ) ・特注色 ( ) 笠木の固定金具の工法等 1章 適用区分による風圧力の ( ・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>15 左官工事</p> <p>① モルタル塗り (15.3.2.5)</p> <p>モルタル ○現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示による ) ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3㎡程度) ・目地の種類 ※押し目地 ・設けない 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない 防水剤 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>(15.2.5)</p> <p>② セッコウボード その他のボード下地</p> <p>セッコウボード及びセッコウラスボードの種類及び厚さ 種類 ( ・GB-R ・GB-L ) 厚さ ( mm) 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 ( ) 厚さ ( mm)</p> <p>(15.6.2)</p> <p>③ 仕上塗材仕上げ</p> <p>内装仕上りに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状 工法</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>仕上げの形状及び工法 ・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td></td> <td>・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td></td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 L</td> <td></td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 S i</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td></td> <td>吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状 工法</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 C</td> <td></td> <td>仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 L</td> <td></td> <td>吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td></td> <td>上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 S i</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材 C E</td> <td></td> <td>仕上げの形状及び工法 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S i</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材 E</td> <td></td> <td>耐震性 ※耐震形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 R E</td> <td></td> <td>上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・軽量骨材仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・吹付用軽量塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td></td> </tr> </table> <p>4. マステック塗材塗り (15.7.2)</p> <p>種別 ・A種 ・B種</p> <p>5. ロックウール吹付け (15.12.2.3)</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ ・図示による ・25mm</p>	種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状 工法	・外装薄塗材 S i		仕上げの形状及び工法 ・砂壁状	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り)	・外装薄塗材 E		・さざ波状	・可とう形外装薄塗材 E		・平たん状	・防水形外装薄塗材 E		・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り)	・外装薄塗材 S		・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り)	・内装薄塗材 C		・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材 L		・京壁状じゅらく	・内装薄塗材 S i			・内装薄塗材 E		吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装薄塗材 W			種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状 工法	・外装厚塗材 C		仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材 S i			・外装厚塗材 E			・内装厚塗材 C			・内装厚塗材 L		吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材 G		上塗材 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材 S i			・内装厚塗材 E			種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・複層塗材 C E		仕上げの形状及び工法 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状	・可とう形複層塗材 C E			・複層塗材 S i			○複層塗材 E		耐震性 ※耐震形3種	・複層塗材 R E		上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック	・防水形複層塗材 C E			・防水形複層塗材 E			・防水形複層塗材 R E			種類 (呼び名)	防火材料	・吹付用軽量塗材		・こて塗用軽量塗材		<p>6. しっくい塗り (15.10.2~4)</p> <p>しっくい ・既調合材料 色しっくい ・適用する ・適用しない ・現場調合材料 下地 ・セッコウボード ・セッコウラスボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい ・下塗りをセッコウプラスターとし上塗りに使用する場合 既調合しっくいの調合 ・セッコウボード下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・モルタル塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2 ・セッコウラスボード下地 ※製造所の仕様による 現場調合しっくいの調合及び各層の厚さ ・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3 ・セッコウプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ</p> <p>16 建具工事</p> <p>1. 防火戸 (16.1.3)</p> <p>2. 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号 : ) ・行わない 建具見本製作の目的等 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号 : ) ・行わない</p> <p>3. 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>④ アルミニウム製建具 (16.2.2~5) (表14.2.1) (表16.2.1.2)</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・建具表による ) 気密性の等級 ( ) (建具符号 ・建具表による ) 水密性の等級 ( ) (建具符号 ・建具表による ) 外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="2">A-3</td> <td rowspan="2">W-4</td> <td>○70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>○100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>S-2</td> <td>A-3</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td>S-3</td> <td>・</td> <td>W-3</td> <td>・</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( H-2 ) (建具符号 ○建具表による ○外壁加工)</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による )</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1 ・BB-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BC-1 ・BC-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する</p> <p>(16.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	○A種	S-4	A-3	W-4	○70	※図示による	・B種	S-5	○100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による	・D種	S-2	A-3	・	・	※図示による	・E種	S-3	・	W-3	・	※図示による	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
	施工箇所	形式	山高、山びつによる区分	山高、山びつによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																															
	・重ね形 ○はげ締め形 ・かな合形			( ) 種	※鋼板製 ・7M2M 合金板製		○有り ・無し	○0分 ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	種類			産地	役物瓦の種類	雪止め瓦																																																																																																																																																																																																																																																																		
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分																																																																																																																																																																																																																																																																					
						・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 -100 ・125 -150																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 -100 ・125 -150																																																																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 -80 -100 ・50 -75 -100																																																																																																																																																																																																																																																																						
・バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・50 -80 -100 ・50 -75 -100																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・AB-1種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・AB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・AC-1種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・AC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BA-1種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BA-2種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BB-1種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BC-1種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・BC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																								
・C種																																																																																																																																																																																																																																																																								
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・C種																																																																																																																																																																																																																																																																							
・電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・E種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・F種																																																																																																																																																																																																																																																																							
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																			
					種別	色合い等																																																																																																																																																																																																																																																																		
・アルミニウム	・押し ・ロール ・プレス	・Zn <sup>+</sup> メッキ形 ・パネル形																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状 工法																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外装薄塗材 S i		仕上げの形状及び工法 ・砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																																						
・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外装薄塗材 E		・さざ波状																																																																																																																																																																																																																																																																						
・可とう形外装薄塗材 E		・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																						
・防水形外装薄塗材 E		・凹凸状 ( ・吹付け ・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外装薄塗材 S		・着色骨材砂壁状 ( ・吹付け ・こて塗り)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装薄塗材 C		・砂壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装薄塗材 L		・京壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装薄塗材 S i																																																																																																																																																																																																																																																																								
・内装薄塗材 E		吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装薄塗材 W																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状 工法																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外装厚塗材 C		仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外装厚塗材 S i																																																																																																																																																																																																																																																																								
・外装厚塗材 E																																																																																																																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材 C																																																																																																																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材 L		吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装厚塗材 G		上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																						
・内装厚塗材 S i																																																																																																																																																																																																																																																																								
・内装厚塗材 E																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																						
・複層塗材 C E		仕上げの形状及び工法 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状																																																																																																																																																																																																																																																																						
・可とう形複層塗材 C E																																																																																																																																																																																																																																																																								
・複層塗材 S i																																																																																																																																																																																																																																																																								
○複層塗材 E		耐震性 ※耐震形3種																																																																																																																																																																																																																																																																						
・複層塗材 R E		上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック																																																																																																																																																																																																																																																																						
・防水形複層塗材 C E																																																																																																																																																																																																																																																																								
・防水形複層塗材 E																																																																																																																																																																																																																																																																								
・防水形複層塗材 R E																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類 (呼び名)	防火材料																																																																																																																																																																																																																																																																							
・吹付用軽量塗材																																																																																																																																																																																																																																																																								
・こて塗用軽量塗材																																																																																																																																																																																																																																																																								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																			
○A種	S-4	A-3	W-4	○70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																			
・B種	S-5			○100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																			
・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																			
・D種	S-2	A-3	・	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																			
・E種	S-3	・	W-3	・	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																																					
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																																					
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>14 金属工事</p> <p>1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表 14.2.1)</p> <p>2. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表 14.2.2)</p> <p>③ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)</p> <p>④ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3.4) (表 14.5.1)</p> <p>5. 金属成形板張り (14.6.2.3) (表 14.2.1)</p>	<p>15 左官工事</p> <p>① モルタル塗り (15.3.2.5)</p> <p>② セッコウボード その他のボード下地 (15.2.5)</p> <p>③ 仕上塗材仕上げ (15.6.2)</p> <p>4. マステック塗材塗り (15.7.2)</p> <p>5. ロックウール吹付け (15.12.2.3)</p>	<p>16 建具工事</p> <p>1. 防火戸 (16.1.3)</p> <p>2. 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>3. 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>④ アルミニウム製建具 (16.2.2~5) (表14.2.1) (表16.2.1.2)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																						

<p>6. 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1~3)</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="5">A-4</td> <td rowspan="2">W-4</td> <td rowspan="2">・</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td rowspan="3">W-5</td> <td rowspan="3">・</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>S-2</td> <td>※ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td>S-3</td> <td>※ 図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・ 建具表による</p> <p>材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による)</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>7. 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (16.4.6) (表16.4.2)</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による ) ・ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※標準仕様書 表16.4.2Iによる 使用箇所 ( )</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>めっき付着量</th> </tr> <tr> <td>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12又はF12</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td> <td>※Y08</td> </tr> </table> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p> <p>8. 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4) (16.5.6) (表16.5.1)</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による ) ・ 適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ○亜鉛めっき鋼板 ・ 亜鉛被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ (mm) ※標準仕様書 表16.5.1Iによる 使用箇所 ( )</p> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による 召合せ、縦小口包み材の材質 ※鋼板</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4	・	※ 図示による	・B種	S-5	※ 図示による	・C種	S-6	W-5	・	※ 図示による	・D種	S-2	※ 図示による	・E種	S-3	※ 図示による	材料	めっき付着量	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	<p>9. ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (建具符号 ・ 建具表による ) ・ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>断熱ドア・断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (建具符号 ・ 建具表による )</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・ 鏡面仕上げ</p> <p>工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2~4) ※A種 ・ B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書16.7.2(2)(f)(a)による 表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板 [G]</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工 化粧合板 [G]</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※表16.7.6Iによる ・ 建具表による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・角の子 ・新角の子又はビニル紙程度</p> <p>縁仕上げ ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による</p> <p>・戸ふすま 表面板の仕上 ・ 建具表による 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料 ・ 建具表による</p> <p>11. 建具用金物 (16.8.2、3) (表16.8.1~5)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※標準仕様書 表16.8.1Iにより適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表16.8.2Iによる ・ 建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表16.8.3Iによる ・ 建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表16.8.4Iによる ・ 建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16.8.5Iによる ・ 建具表による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による</p> <p>シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 [G]	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木 化粧合板 [G]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・特殊加工 化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)		・MDF [G]			<p>12. 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー ○製作する ・ 製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ※有り ・ 無し</p> <p>13. 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)</p> <p>戸の開閉方式 ・ 建具による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表16.9.1 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( )</p> <p>・ 車椅子使用者用便用入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表16.9.2 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( )</p> <p>・ 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.3 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 電源 ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類 標準仕様書 表16.9.4 ・ 建具による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便用スイッチの種類 ・ 大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>性能値等 (16.10.3) (表16.10.1) ※標準仕様書表16.10.1 ・ 以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 開閉繰返し ( ) 耐衝撃性 ( )</p> <p>15. 重量シャッター (16.11.2、3)</p> <p>シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12</p> <p>ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>16. 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉方式の種類 ※手動式 ・ 電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06 ) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290 )</p> <p>スラットの形状 ・ インターロックング形 ・ オーバーラッピング形</p>	<p>17. オーバーヘッドドア (16.13.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による強さの区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125</td> <td>※バランス式 ・ ロード式 ・ 電動式</td> <td>・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは (9.7) (16.14.2~4) 建具表及び図面による。 (図16.14.1)</p> <p>○フロート板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類</th> <th>※建具表による</th> </tr> </table> <p>○型板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>型板ガラスの厚さによる種類</th> <th>※建具表による</th> </tr> </table> <p>・ 網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・ 平面合わせガラス ・ 曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類</p> <p>○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類</p> <p>・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種</p> <p>○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ○ T-4 ・ T-5 ・ T-6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ○ S 乾燥気体の種類 ○ 空気 ・ アルゴン</p> <p>・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性が2種の場合) ・ A種 ・ B種</p> <p>反射被覆面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2) (9.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材の種類</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・ シーリング材 ・ グレージングチャンネル</td> <td>・ 図示による ※建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・ シーリング材</td> <td>・ 図示による ※建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>・ 図示による ※建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ グレージングチャンネル</td> <td>・ 図示による ※建具製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p> <p>19. ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・ 160×160</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 200×200</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・白 ・ グレー)</p>	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※バランス式 ・ ロード式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による	型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による	建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレージングチャンネル	・ 図示による ※建具製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 図示による ※建具製造所の仕様による	ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示による ※建具製造所の仕様による	樹脂製	・ グレージングチャンネル	・ 図示による ※建具製造所の仕様による	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 160×160	・ 95					・ 200×200	・ 95					<p>18. 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー ○製作する ・ 製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ※有り ・ 無し</p> <p>13. 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)</p> <p>戸の開閉方式 ・ 建具による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表16.9.1 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( )</p> <p>・ 車椅子使用者用便用入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表16.9.2 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 電源 ( )</p> <p>・ 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書表16.9.3 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・ 以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 電源 ( )</p> <p>引き戸用検出装置の種類 標準仕様書 表16.9.4 ・ 建具による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便用スイッチの種類 ・ 大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>性能値等 (16.10.3) (表16.10.1) ※標準仕様書表16.10.1 ・ 以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 開閉繰返し ( ) 耐衝撃性 ( )</p> <p>15. 重量シャッター (16.11.2、3)</p> <p>シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12</p> <p>ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>16. 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉方式の種類 ※手動式 ・ 電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による )</p> <p>スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06 ) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290 )</p> <p>スラットの形状 ・ インターロックング形 ・ オーバーラッピング形</p>
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																													
・A種	S-4	A-4	W-4	・	※ 図示による																																																																																													
・B種	S-5				※ 図示による																																																																																													
・C種	S-6		W-5	・	※ 図示による																																																																																													
・D種	S-2				※ 図示による																																																																																													
・E種	S-3				※ 図示による																																																																																													
材料	めっき付着量																																																																																																	
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12																																																																																																	
・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08																																																																																																	
合板の種類	規格等	備考																																																																																																
・普通合板 [G]	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																	
・天然木 化粧合板 [G]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																	
・特殊加工 化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																																	
・MDF [G]																																																																																																		
セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																														
※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※バランス式 ・ ロード式 ・ 電動式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板																																																																																														
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による																																																																																																	
型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による																																																																																																	
建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレージングチャンネル	・ 図示による ※建具製造所の仕様による																																																																																																
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 図示による ※建具製造所の仕様による																																																																																																
ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示による ※建具製造所の仕様による																																																																																																
樹脂製	・ グレージングチャンネル	・ 図示による ※建具製造所の仕様による																																																																																																
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																													
・ 160×160	・ 95																																																																																																	
・ 200×200	・ 95																																																																																																	

17 カーテンウォール工事

1. 取付け形態、性能等 (17.1.3)

シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)  
 金属化粧材  
 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製  
 寸法 ※図示による  
 形状 ※図示による  
 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔  
 ・図示による  
 目地部の横力骨の納まり  
 ※ガラスブロック製造所の仕様による  
 ・図示による  
 工法  
 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

取付け形態による分類 (17.1.3)  
 ・層間方式  
 ・柱・梁方式  
 ・方立方式  
 ・スバンドレル方式  
 ・

性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
				・80 ・70 ・60	

耐風圧性  
 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法  
 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)

支間距離 (h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h か絶対量20mm以下であること
4mを超える	・

部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。

耐震性能  
 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による  
 性能の確認方法及び判定方法  
 ※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

シーリング材  
 下表以外は標準仕様書表 9.7.1 による

被覆体の組合せ	シーリング材の種類	
	記号	主成分による区分
金属	ガラス	
	石、タイル	
ガラス	ガラス	
カーテンウォール板間目地		

構造用ガスケット  
 ・適用する (施工箇所・図示)  
 材質 ・クロロプレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系  
 形状 ・H型 ・Y型 ・C型  
 寸法 (mm) ガラス厚 ( )、支持棒の厚さ ( )、ウェブの寸法 ( )  
 ・適用しない

断熱材  
 種類 ( )  
 厚さ (mm) ( )  
 施工箇所 ・図示

耐火材料

施工部位	種別	規格帯
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

2. メタルカーテンウォール (17.2.2、3、5、6)

金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6)  
 ・アルミニウム材  
 ・鋼材  
 ・ステンレス鋼材  
 シーリング材の種類 (目地等)  
 種類及び寸法等 ※図示による  
 ガラスの取付け材料  
 ・シーリング  
 種類 (・SR-2 ・SR-1)  
 ・構造ガスケット  
 形状、寸法等 ※図示による  
 断熱材 (図)  
 種類及び範囲 ※図示による  
 形状及び仕上げ  
 製品の寸法許容差  
 ※標準仕様書表17.2.1による  
 見え掛かり部の仕上げ  
 (アルミニウム材の場合)  
 規格等 標準仕様書16.2.3による  
 種別 (標準仕様書表14.2.1)  
 着色 ・標準色 ・特注色  
 (鋼材及びステンレス鋼材の場合)  
 ガラス溝の寸法、形状等  
 ※カーテンウォールの製造所の仕様

3. PCカーテンウォール (17.3.2~6) (表17.3.1、2)

取付け  
 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差  
 鉛直方向  
 ※±10mm  
 水平方向  
 ※±25mm  
 カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差  
 目地の幅  
 ※±3mm  
 目地の心の通り  
 ※0~2mm  
 目地両側の段差  
 ※0~2mm  
 各階の基準量から各部位までの距離  
 ※±3mm  
 耐火処理  
 適用部位、材料等 ※図示による  
 ガラスの取付け材料  
 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法  
 ※4辺支持

材料  
 コンクリート  
 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 )  
 品質  
 設計基準強度 (F<sub>c</sub>) ※30N/mm<sup>2</sup>  
 スランプ ※12cm  
 気乾単位容積質量  
 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m<sup>3</sup> ~ 2.5t/m<sup>3</sup>以下  
 ・軽量コンクリートの場合 1.8t/m<sup>3</sup> ~ 2.1t/m<sup>3</sup>  
 単位水量の最大値  
 ※185kg/m<sup>3</sup>  
 鉄筋  
 種類の記号 ※SD295  
 補強鉄線  
 径 (mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0  
 綱目寸法  
 シーリング材の種類 (目地等)  
 種類及び寸法等 ※図示による  
 ガラスの取付け材料  
 ・構造ガスケット  
 形状、寸法等 ※図示による  
 耐火処理  
 適用部位、材料等 ※図示による  
 断熱材 (図) 種類 ( )  
 種類及び範囲 ※図示による  
 先付けの材料  
 ・表面仕上げ  
 ・セラミックタイル  
 ・石材  
 ・建具枠  
 ・ゴンドラ用ガイドレール  
 ・図示による  
 形状及び仕上げ  
 製品の見え掛り部の寸法許容差  
 辺長  
 ※±3mm  
 対角線長の差  
 ※0~5mm  
 版厚  
 ※±2mm  
 開口部内寸法  
 ※±2mm  
 ねじれ、反り  
 ※0~5mm  
 曲がり  
 ※0~3mm  
 面の凸凹  
 ※0~3mm  
 先付け金物の位置  
 ※0~5mm  
 PCカーテンウォールの仕上げ  
 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)  
 ※h1=1~2、W1及びW2=±1  
 ・図示による  
 製作  
 PC版の配筋 ※図示による  
 取付け  
 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差  
 鉛直方向  
 ※±10mm  
 水平方向  
 ※±25mm  
 カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差  
 目地の幅  
 ※±5mm  
 目地の心の通り  
 ※0~3mm  
 目地両側の段差  
 ※0~4mm  
 各階の基準量から各部位までの距離  
 ※±5mm  
 ガラスの取付け方法  
 ・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

① 材料  
 ② 塗装業者 (保証)  
 ③ 素地ごしらえ  
 ④ 錆止め塗料塗り  
 ⑤ 塗装

19 内装工事

① 接着剤  
 ② 下地の工法  
 ③ ビニル床シート (図)

① 材料 (18.1.3)  
 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆  
 防火材料  
 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
 ・以下の箇所を除き防火材料とする。  
 (箇所: )  
 ・日本塗装工業会の会員 ①監督職員の承諾する業者  
 ※塗装業者、工事受注者連名の保証書 (3年) を提出すること。

(18.2.2~7)

下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面 (DPのみ)	※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせつこうラスター面	※B種 ・A種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※B種 ・A種
押出成形セメント板面	※B種 ・A種
コンクリート面 (DPのみ)	※A種 ・B種
せつこうボード面及びその他ボード面	目地: 経目処理工法 ※A種 ・B種 目地: 経目処理工法以外 ※B種 ・A種

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え隠れ: A種 見え隠れ: B種 表18.3.4
	DP	C種及びD種	
	EP-G	・A種 ※B種	見え隠れ: A種 見え隠れ: B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等: C種 上記以外: B種

(18.4.1~18.12.2)

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料 (図)
①合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※A種 ・B種 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 -	- - - - ・適用する ・適用する
・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・A種	-
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	-
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	-	上塗り塗料の等級 ( ) 級 上塗り塗料の等級 ( ) 級
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面 押出成形セメント板面 コンクリート面 モルタル面 せつこうラスター面 せつこうボード面 その他ボード面等	・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種	- -
①合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種 ・A種	-
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・A種	-
・ステン塗り		・ピグメント ステン塗り ・オイルステン塗り (OS)	-
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・A種	-

高日射反射率塗装 (図) を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。  
 クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用  
 ①適用しない  
 ・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)  
 クレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色剤の適用  
 ・適用する  
 ・適用しない  
 オイルステン塗りの工程等  
 ※製造所の仕様による

(19.2.2、3)

種類の記号	施工箇所	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	床	・無地 ①マール柄 ・柄物	※2.0 ② 2.5	

接合部の処理  
 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所: )

4. ビニル床タイル (図) (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工箇所	備考
※KT (コホシタイルビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0		
・TT (単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5		
・FT (複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0		
・FOA (置敷きビニル床タイル)					
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)					

5. 特殊機能床材 (19.2.2)

シート種別	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類
・帯電防止床シート			
・帯電防止床タイル	×		
・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	×		

6. ビニル幅木 (19.2.2)

材質の種類  
 ①軟質 ・硬質  
 高さ (mm)  
 ※60  
 ⑦5 ・100  
 厚さ (mm)  
 ※1.5以上

7. ゴム床タイル (19.2.2)

種類  
 ・単層品 ・積層品  
 色柄 ( )  
 厚さ (mm)  
 ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0  
 寸法 (mm) ( × )

8. カーベツト敷き (図) (19.3.2、3) (表19.3.1) (表19.3.2)

織り方	バイル形状
・ウィルトンカーベツト ・ダブルフェースカーベツト ・アキスミンスターカーベツト	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル

色柄  
 ※模様のない無地 ・柄物 (標準品)  
 バイル糸の種類等  
 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・A種 ・B種 ・C種)

帯電性  
 ・適用する ・適用しない  
 織りじゅうたんの接合方法  
 ※ヒートボンド工法  
 ・つづり縫い

下敷き材  
 ・反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm  
 ・タフテッドカーベツト

バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する	
・ループバイル	・4~6	・ドリフト工法	・適用しない	
・カット、ループ併用				
・レベルループバイル	・4			

下敷き材 (グリッパ工法の場合)  
 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

タフテッドカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放数量  
 ※F☆☆☆☆  
 ・タイルカーベツト

バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5

・ニードルパンチカーベツト  
 厚さ (mm) ( ) 帯電性 ・適用する (性能: ※人体帯電圧3kV以下) ・適用しない

備考 ( )  
 ・タイルカーベツト  
 タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放数量  
 ※F☆☆☆☆  
 タイルカーベツトの敷き方  
 平場  
 ※市松敷き  
 ・模様流し  
 階段部分  
 ※模様流し  
 ・市松敷き  
 見切り、押え金物  
 材質 ( )  
 種類 ( )  
 形状等  
 ※図示による

9. 合成樹脂塗床	(19.4.2、3) (表19.4.4、5)			
	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性力付樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材 珪砂樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂砂り工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	
・薄膜型塗床材 珪砂樹脂系塗床			※平滑仕上げ	
・珪砂樹脂塗床材 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ) ※0.25kg/m <sup>2</sup> 以上 表面仕上げ ※平滑 ・ 防汚 溶剤 ※水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ※標準色	
塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
10. フローリング張り	(19.5.2~5) (表19.5.1~6)			
	フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書19.5.2(2)による			
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
単層フローリング				
・フローリングボード1等				
工法 ・ 釘留め工法 ( ・ 根太張り ・ 直張り ) ・ 接着工法 樹種 ※ なら				
厚さ、大きさ ※標準仕様書 表19.5.11による				
仕上げ ※ 塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない				
・フローリングブロック1等				
工法 ※接着工法 樹種 ※ なら				
厚さ、大きさ ※標準仕様書 表19.5.11による				
仕上げ ※ 塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない				
複合フローリング				
・天然木化粧複合フローリング				
工法 ・ 釘留め工法 ( ・ 根太張り ・ 直張り ) ・ 接着工法 樹種 ※ なら				
種別 (表19.5.2) ・ A種 ・ B種 ・ C種				
仕上げ ※ 塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない				
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所 ) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワニス塗り ・ 生地そのまま塗り ・ 行わない				
11. 畳敷き	(19.6.2) (表 19.6.1)			
	種別	A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)		
下地の種類				
・標準仕様書 表12.6.1による床組				
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロング)				
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。				
衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2)				
12. せっこうボード その他のボード張り	(19.7.2、3) (表 19.7.1)			
	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			
合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2) (イ)の(a)~(d)のいずれか				
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
木質系セメント板				
種別				
・硬質(HH)				
・中質(MH)				
・普通(NH)				
木片セメント板				
種別				
・硬質(HF)				
・普通(NF)				
繊維強化セメント板				
種別				
・けい酸カルシウム板				
・化粧けい酸カルシウム板				
表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系焼付け				
火山性ガラス質複層板				
種別				
・火山性ガラス質複層板				
・ 図示による				

繊維板	種類		厚さ(mm)、規格等	
	ハードボード (素地)	スタンダードボード (無処理)	・素地ハードボード ( ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ) ・内装用化粧ハードボード (D1) 厚さ ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
パーティクルボード	種類		厚さ(mm)、規格等	
	・単板張りパーティクルボード	・化粧パーティクルボード	・無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS) 厚さ ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・単板パーティクル (DV) ・パーティクルパーティクル (DO) ・塗装 (DC) ・10 (難燃) ・ 12 (難燃)
吸音材料	種類		厚さ(mm)、規格等	
	・ロックウール化粧吸音板 (DR)	・ロックウール吸音ボード1号 ・グラスウール吸音ボード32K	・フラットタイプ ( ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ) ・凹凸タイプ ( ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) )	・ 25 ・ 25 (ガラスクロス包)
せっこうボード製品				
種類				
・せっこうボード (GB-R)				
・不燃積層せっこうボード (GB-NC)				
・シージングせっこうボード (GB-S)				
・強化せっこうボード (GB-F)				
・せっこうラスボード (GB-L)				
・化粧せっこうボード (GB-D)				
合板				
種類				
・普通合板				
・天然木化粧合板				
・特殊加工化粧合板				
化粧板				
・メラミン樹脂化粧板				
・ポリエステル樹脂化粧板				
天井のボード類 (ロックウール吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※図示による				
遮音シール材 ・ 適用する ( ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド ) ・ 適用しない				
合板類の張付け ・ A種 ・ B種				
せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※仕上による				
突付け工法のエッジの種類				
目造かし工法のエッジの種類				
ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2、3) ※F☆☆☆☆				
壁紙の種類				
施工箇所				
紙				
繊維				
塩化ビニル				
プラスチック				
無機質				
その他				
防火性能				
備考				
モルタル及びせっこうラスター面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種				
コンクリート・ALC面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種				
せっこうボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種				
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆				
13. 壁紙張り	(19.9.2~4)			
	断熱材			

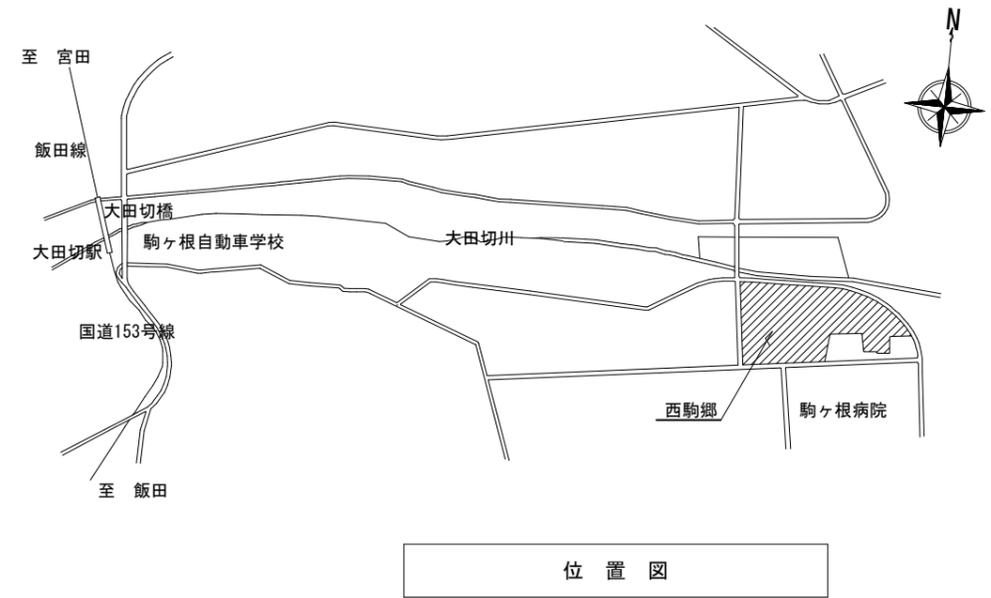
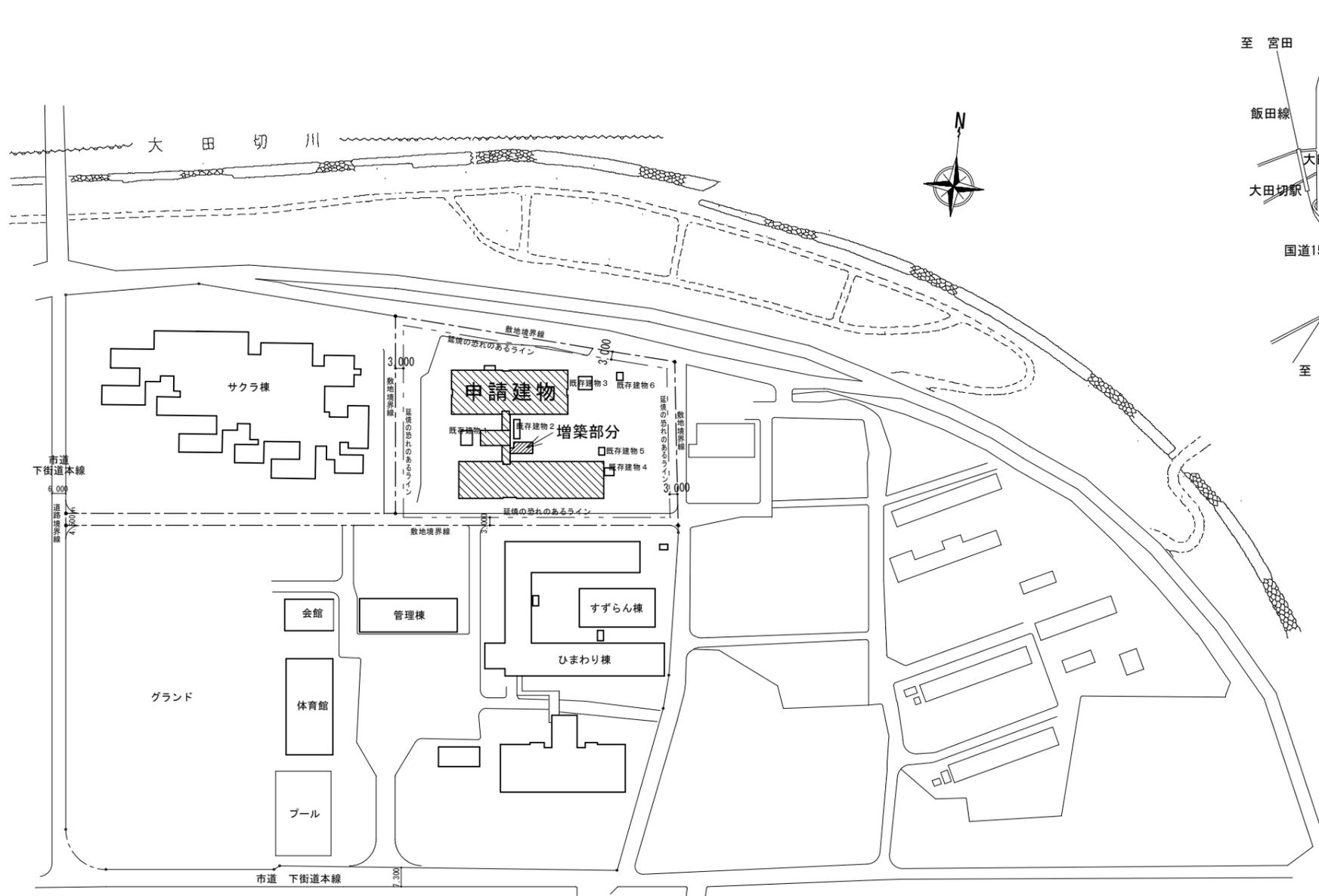
15. 単板羽目板張り	※断熱材打込み工法		
	種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 ( ・ ) ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ( スキン層なし ) ( ・ 2種a ・ 3種a ・ 3種bC ・ 3種bD ) ◎ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材			
断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm)			
施工箇所 ・ 図示による (品質・性能、試験方法は別表による)			
材質 ※信州産唐松 (信州木材認証製品又は同等品) ・ 信州産杉 (信州木材認証製品又は同等品)			
20. ユニット及びその他の工事	1. フリーアクセスフロア (20.2.2)		
	施工箇所	構法	寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上材 備考
寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (オ) (a)~(c)による ・ 以下による パネルの長さの寸法精度 ( ) パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ( ) フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ( )			
帯電防止性能 ・ 評価値 (U) ≥ 0.6以上 ・ 評価値 (U) ≥ 1.2以上			
感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥ 1×10 <sup>10</sup> Ω 裏面仕上材の品質、性能は標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製 (仕上げ: ) スロープ及びボーダー ・ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・ 20~30% 配線取り出し開口 ・ パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 図示			
空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所: 図示) (品質・性能、試験方法は別表による)			
2. 可動間仕切 (20.2.3)			
構造形式による種類			
・ スタッド式 (内蔵)			
・ スタッド式 (露出)			
・ スタッドパネル式			
・ パネル式			
材質 ・ 鋼板 厚さ ・ 0.6mm ・ 0.8mm (総厚さ: mm)			
パネル内に取付ける建具 ・ 無し (※図示による) ・ 無し パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			
3. 移動間仕切 (20.2.4)			
走行方向			
操作方式			
パネル圧接装置			
パネル表面材			
遮音性 (dB/500Hz) 防火性能			
・ 平行方向 移動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式			
・ 手動式			
・ フック式			
・ ハンド式			
・ 鋼板			
・ 焼付塗装			
・ 壁紙張り			
・ 36未満			
・ 36以上			
パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・ 図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの (品質・性能は別表による)			
4. トイレブース (20.2.5)			
表面材の材料			
脚部			
ドアエッジ			
・メラミン樹脂系化粧板			
・ポリエステル樹脂系化粧板			
※幅木タイプ			
※製造所の仕様による			
・標準			
・Rタイプ			
・表面材と同材			
(品質・性能、試験方法は別表による)			

5. 視覚障害者用 床タイル	(11.2.2) (19.2.2)			
	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内				
・ステンレス製 ・ 塩化ビニル製				
・ 300×300				
・ 7.0				
・磁器質タイル ・ せっ器質タイル				
・ 300×300				
・ レジコンクリート製 ・ コンクリート製				
・ 300×300				
・ 300×300				
・ 塩化ビニル製 ・ 磁器質タイル ・ せっ器質タイル				
・ 300×300				
・ レジコンクリート製 ・ コンクリート製				
・ 300×300				
ブロックパターンは JIS T 9251 による				
6. 手すり	(20.2.6)			
	材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL程度 ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表14.2.21による種別 (種) ) ・ アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.1による種別 (種) ) 色合等 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )			
手すりの握り部分				
材質				
表面仕上げ				
直径 (mm)				
取付箇所				
備考				
・ 集成材 (材質: )				
・ クリアラッカー				
・ 30程度				
・ 35程度				
・ 45程度				
・ ビニル製ハンドレール				
・ 30程度				
・ 35程度				
・ 45程度				
7. 階段滑り止め	(20.2.7)			
	材質 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製押出型材 ・ アルミニウム製押出型材			
形状 ※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等) ・ タイプレス型				
端部の形状及び材質 ・ フラットエンドあり (材質: ・ ビニル製 ・ ステンレス製) ・ フラットエンドなし				
寸法 (幅) ・ 35mm程度 ・ 40mm程度 ・ 50mm程度				
取付け工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法				
8. 黒板及び ホワイトボード	(20.2.9)			
	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 色 ※ 黒 形式 ・ 平面 ・ 曲面 ( ・ スクリーン付別分 ) ・ ホワイトボード 形式 ・ 平面 ・ 曲面 ( ・ スクリーン付別分 )			
9. 鏡	(20.2.10)			
	取付け箇所 ( ) 寸法 (mm) ・ 図示による 厚さ (mm) ※5			
10. 表示	(20.2.11)			
	衝突防止表示 ・ 設置場所 ※図示による 形状 ・ 寸法 ( ・ 30φ ) 材質 ( ・ ステンレス製 ・ 塩ビシート ) ・ 設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラム、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号は JIS Z 8210 による) ※図示による			
11. タラップ	(20.2.12)			
	材質及び仕上げ ・ SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ・ なし) ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.21による種別 (※C種 ・ 種) )			
12. 煙突ライニング	(20.2.13)			
	適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)			
13. ブラインド	(20.2.14)			
	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類
スラット幅				
ガラス・レールの材質				
幅 ・ 高さ				
取付箇所				
・ 横形				
※ギヤ式				
・ コード式				
・ 操作棒式				
※7&Mに合金鋼製				
※25				
※鋼製				
・ 図示による				
・ 電動				
※2本操作コード式				
・ 1本操作コード式				
・ 7&Mスラット				
・ 80				
※7&Mに合金鋼製				
・ 図示による				
・ 電動				
縦型ブラインドのスラットの材質 ・ アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はとする				

<p>14. ロールスクリーン (20. 2. 15)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は☑とする</p> <p>15. カーテン (20. 2. 16)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、 品質、特殊加工等</th> <th>取付け 箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ツグム ・ダブル</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は☑とする 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>16. カーテンレール (20. 2. 16)</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>17. ブラインドボックス 及び カーテンボックス</p> <p>溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示による</p> <p>材質 ・集成材 (仕上げ: ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14. 2. 1による種別 ・BC-1 ・BC-2 色合い ・標準色 ( ) ・特注色 ( ) ・鋼製 (仕上げ:  )</p> <p>18. 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・気密形</td> <td>・屋内外用 ○埋内用</td> <td>・隠線タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>19. 床点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・結露防止型</td> <td>・鍵付き ・屋内用</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>20. 耐震スリット</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>幅 (mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直</td> <td>・25</td> <td>・完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>・25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部のみ)</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書 表9. 7. 11による</p> <p>21. 止水板</p> <p>形式 ・差込式 ・掘置き ・壁張り式</p> <p>施工箇所 ・図示による</p> <p>22. エキスパンション ジョイント金物</p> <p>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。</p> <p>23. くつふきマット</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・強化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製	※製造所の仕様	・図示による	・	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付け 箇所	備考	・ツグム ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ		・図示による		材質	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ○埋内用	・隠線タイプ ○目地タイプ	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止型	・鍵付き ・屋内用	方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し		・水平	・25					目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ)	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	材質	受け枠	備考	・強化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製	・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金		<p>24. 流し台ユニット</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・800 ・850</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670 ・800</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・500</td> <td>・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市販品 ・1段式</td> </tr> </table> <p>品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。 形状 ※図示による</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ペース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>25. 旗竿</p> <p>26. 旗竿受金物</p> <p>27. 車止めさく</p> <p>28. フェンス</p> <p>フェンスの種類 ・ビル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による</p> <p>29. ブレキャスト コンクリート</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (20. 3. 3, 4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>3</sup>を満足する鋼合強度 ・図示による</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による</p> <p>取付け方法 ※図示による</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・A ・B</td> </tr> </table> <p>30. 間知石及び コンクリート間知 ブロック積み (20. 4. 2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table> <p>31. 鋼製書架及び物品棚</p> <p>32. 屋内掲示板</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p> <p>33. 洗面カウンター</p> <p>材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石</p> <p>奥行き (mm) ・約450 ・約600</p>	材質	寸法 (mm)			備考	W	D	H	・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670 ・800	市販品	・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500	・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ・1段式	材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ペース式 ・バンド式		材質	種類	質量区分	備考	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	・A ・B	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	<p>34. 防煙垂れ壁</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 納入り磨き板ガラス ・ 縁入り磨き板ガラス</td> <td>※6. 8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p> <p>35. 屋外掲示板</p> <p>照明器具 ※有り 無し 施設 ※有り 無し 製造所</p> <p>36. 収納家具</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による</p> <p>37. 消火器</p> <p>・ABC5型 ｽｽﾞﾝﾄﾞ 2箇所 (ｽｯﾌﾟｰﾑ、職員用通路)</p> <p>21. 排水工事</p> <p>1. 屋外雨水排水 (21. 2. 1, 2) (表 21. 2. 1, 2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・速心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外任管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・RF-VP ・RS-VU ・VP ・VU</td> <td></td> <td>・図示による ・図示による ・図示による ・図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示による 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪 側溝の形状及び寸法 ・図示による 排水溝、ふたの種類 ・図示による 砂地裏に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地裏に用いる材料 ・再生クラッシュヤラン ・切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) ※18 スランプ (cm) ※15又は18 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 排水桁が現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21. 2. 2 (3) (4)</p> <p>材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層の厚さ ・図示による 凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>2. 鋼鉄製ふた (21. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (n<sup>2</sup>方式) ・密閉形 (n<sup>2</sup>・n<sup>2</sup>方式) ・中ふた付き密閉形 (n<sup>2</sup>・n<sup>2</sup>方式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生 工学会SHASE-S209に よる。</td> </tr> </table> <p>3. グレーチング (21. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メソバッチ</th> <th>重鉛めつき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・普通目 ・細目</td> <td>・溶融亜鉛付 ( )</td> <td>・平形</td> </tr> <tr> <td>・ｽﾃﾝﾚｽ製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td></td> <td></td> <td>・凹凸形 ・菜形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※ 納入り磨き板ガラス ・ 縁入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り	材質	種類・記号	形状	呼び径	備考	・速心力鉄筋コンクリート管	外任管 (1種)	・B形管	・図示による		・硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP ・RS-VU ・VP ・VU		・図示による ・図示による ・図示による ・図示による		名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋼鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (n <sup>2</sup> 方式) ・密閉形 (n <sup>2</sup> ・n <sup>2</sup> 方式) ・中ふた付き密閉形 (n <sup>2</sup> ・n <sup>2</sup> 方式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生 工学会SHASE-S209に よる。	材質	形式	用途	適用荷重	メソバッチ	重鉛めつき (付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・溶融亜鉛付 ( )	・平形	・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用			・凹凸形 ・菜形	<p>4. 街きよ、緑石 及び側溝 (21. 3. 1, 2) (表21. 3. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた</td> <td>・図示による ・図示による ・図示による ・図示による</td> </tr> </table> <p>砂地裏に用いる材料 ○シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地裏に用いる材料 ○再生クラッシュヤラン ・切込砂利又は切込砕石 砂利地裏の厚さ (mm) ※100 ・図示による</p> <p>現場打ちの場合のコンクリート材料 種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>) ※18 スランプ (cm) ※15又は18</p> <p>現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>5. 埋戻し (21. 2. 1) (表 21. 2. 1)</p> <p>22. 舗装工事</p> <p>1. 路床 (22. 2. 2, 3, 5) (表22. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・標準仕様書22. 2. 3. (3)による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ( ) ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号)</p> <p>添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (CBR ※3以上 ) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) ・0. 5~1. 0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1. 5×10<sup>-3</sup> cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 現場CBR試験 安定処理土のCBR試験 路床締固め度の試験 六価クロム溶出試験 ・行う (箇所) ・行う (箇所) ・行う ・行う (箇所) ・行う (現場説明書による) ・行わない ・行わない ・行わない</p> <p>2. 路盤 (22. 3. 2, 3) (表 22. 3. 1)</p> <p>路盤及び厚さ ○図示による 路盤材料 (標準仕様書 表22. 3. 1による種別)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>・砕石</td> <td>・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>・再生材</td> <td>・再生クラッシュヤラン ・再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>・鉄鋼スラグ</td> <td>・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </table> <p>路盤締固め度の試験 ・行う (箇所) ・行わない</p>	種類	形状・寸法	・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示による ・図示による ・図示による ・図示による	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・図示による	・フィルター層	・標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・図示による	種別	材料	・砕石	・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石	・再生材	・再生クラッシュヤラン ・再生粒度調整砕石	・鉄鋼スラグ	・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																								
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製	※製造所の仕様	・図示による	・																																																																																																																																																																																																																								
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付け 箇所	備考																																																																																																																																																																																																																							
・ツグム ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ		・図示による																																																																																																																																																																																																																								
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																								
※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ○埋内用	・隠線タイプ ○目地タイプ																																																																																																																																																																																																																								
材質	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・結露防止型	・鍵付き ・屋内用																																																																																																																																																																																																																									
方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																																																																																																																							
・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し																																																																																																																																																																																																																								
・水平	・25																																																																																																																																																																																																																											
目地	内壁	外壁																																																																																																																																																																																																																										
目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ)	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)																																																																																																																																																																																																																										
目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																																																																																																																																																																										
材質	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																																										
・強化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製	・ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																																											
材質	寸法 (mm)			備考																																																																																																																																																																																																																								
	W	D	H																																																																																																																																																																																																																									
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品																																																																																																																																																																																																																								
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670 ・800	市販品																																																																																																																																																																																																																								
・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500	・500 ・700	市販品																																																																																																																																																																																																																								
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ・1段式																																																																																																																																																																																																																								
材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ペース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																								
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																																									
・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	・A ・B																																																																																																																																																																																																																									
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																										
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																																										
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																									
※ 納入り磨き板ガラス ・ 縁入り磨き板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																									
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																									
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																																																									
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																																																																																																																																																																																																																									
材質	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																								
・速心力鉄筋コンクリート管	外任管 (1種)	・B形管	・図示による																																																																																																																																																																																																																									
・硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP ・RS-VU ・VP ・VU		・図示による ・図示による ・図示による ・図示による																																																																																																																																																																																																																									
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																																																								
鋼鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (n <sup>2</sup> 方式) ・密閉形 (n <sup>2</sup> ・n <sup>2</sup> 方式) ・中ふた付き密閉形 (n <sup>2</sup> ・n <sup>2</sup> 方式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生 工学会SHASE-S209に よる。																																																																																																																																																																																																																								
材質	形式	用途	適用荷重	メソバッチ	重鉛めつき (付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																																																						
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・溶融亜鉛付 ( )	・平形																																																																																																																																																																																																																						
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用			・凹凸形 ・菜形																																																																																																																																																																																																																						
種類	形状・寸法																																																																																																																																																																																																																											
・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示による ・図示による ・図示による ・図示による																																																																																																																																																																																																																											
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																										
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による																																																																																																																																																																																																																										
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・図示による																																																																																																																																																																																																																										
・フィルター層	・標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・図示による																																																																																																																																																																																																																										
種別	材料																																																																																																																																																																																																																											
・砕石	・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																											
・再生材	・再生クラッシュヤラン ・再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																											
・鉄鋼スラグ	・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																																											

<p>3. アスファルト舗装</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2~6) (表 22.4.4)</p> <p>※図示による</p> <p>材料</p> <p>アスファルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生アスファルト (標準仕様書 表22.4.11による種類: ・60~80 ・80~100)</li> <li>ストレートアスファルト</li> </ul> <p>骨材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路用砕石</li> <li>アスファルトコンクリート再生骨材 (加熱アスファルト混合物等の種類)</li> <li>密粒度アスファルト混合物(13)</li> <li>細粒度アスファルト混合物(13)</li> <li>密粒度アスファルト混合物(13F)</li> </ul> <p>舗装の平坦性</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う</li> <li>行わない</li> </ul>	<p>4. コンクリート舗装</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2~4, 6) (表22.5.1, 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示による</td> <td>・図示 ・150</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示による</td> <td>・図示 ・70</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・図示による</td> <td>・図示 ・150</td> </tr> </tbody> </table> <p>縁部立下り寸法等</p> <p>・図示</p> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <p>※普通コンクリート、標準仕様書 表22.5.11による</p> <p>以下による</p> <p>コンクリートの種類 ( )</p> <p>設計基準強度 (N/?) ( )</p> <p>所定のスランプ (cm) (※8 )</p> <p>粗骨材の最大寸法 (mm) ( )</p> <p>早強ポルトランドセメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する</li> <li>使用しない</li> </ul> <p>注入地材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低弾性タイプ</li> <li>高弾性タイプ</li> </ul> <p>目地</p> <p>※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.11による</p> <p>以下による</p> <p>種類</p> <p>間隔 ( )=程度ごと</p> <p>構造</p> <p>・図示による</p> <p>舗装の平坦性</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>コンクリート版厚さの試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う</li> <li>行わない</li> </ul>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示による	・図示 ・150	歩行者用通路	・図示による	・図示 ・70	転圧コンクリート	車路及び駐車場	・図示による	・図示 ・150	<p>7. 半たわみ性舗装</p> <p>・不織布 (ジオテキスタイル)</p> <p>敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設</p> <p>・図示</p> <p>・透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2.3)</p> <p>透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による。</p> <p>・透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2.3)</p> <p>透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>半たわみ性舗装用アスファルト混合物 I 型(13)</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>再生粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験</p> <p>半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う</li> <li>行わない</li> </ul> <p>材料</p> <p>浸透用セメントミルクの標準的な性状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性状</th> <th>試験方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フロー値 (P-ポート) 砂</td> <td>10~14</td> <td>舗装調査・試験法便覧 (C041)</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度 (7日養生) MPa</td> <td>9.8~29.4</td> <td>JIS R 5201</td> </tr> <tr> <td>曲げ強度 (7日養生) MPa</td> <td>2.0以上</td> <td>舗装調査・試験法便覧 (C042)</td> </tr> </tbody> </table> <p>配合</p> <p>半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ふるいの呼び名</th> <th>ふるい通過質量百分率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19mm</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>95~100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>10~35</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>5~22</td> </tr> <tr> <td>600μm</td> <td>4~15</td> </tr> <tr> <td>300μm</td> <td>3~12</td> </tr> <tr> <td>75μm</td> <td>1~6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量 (%)</td> <td>3.0~4.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマッシュ安定度試験に対する基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>密度 (g/cm<sup>3</sup>)</td> <td>1.90以上</td> </tr> <tr> <td>安定度 (kN)</td> <td>2.94以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値 (1/100cm)</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>20~28</td> </tr> <tr> <td>突固め回数 (回)</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工</p> <p>半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。</p> <p>浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。</li> <li>浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ロー等により行う。</li> <li>セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗係を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、粒砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットプラスト等で表面を粗くすることが必要である。</li> <li>交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。</li> </ol> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セメントミルクの種類</th> <th>養生期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通タイプ</td> <td>約 3 日</td> </tr> <tr> <td>早強タイプ</td> <td>約 1 日</td> </tr> <tr> <td>超速硬タイプ</td> <td>約 3 時間</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> <li>浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的に注入前に交通開放を行わないようにする。</li> </ol> <p>締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による</p> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(3)による</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>弾性舗装 (歩行者用通路) の構成及び厚さ ※図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>弾性舗装材</td> <td>15~20</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>再生密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による</p> <p>9. ブロック系舗装 (22.8.2.3)</p> <p>・コンクリート平板舗装 ( )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>・砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・砂</td> <td>・研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※砂</li> <li>空練りモルタル</li> </ul> <p>普通平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は (透水性コンクリート) とする。</p> <p>仕上り面の平坦性</p> <p>※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・インターロッキングブロック舗装 ( )</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>横断面勾配</th> <th>曲げ強度 (N/?)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">車路、駐車場</td> <td rowspan="3">・図示による</td> <td rowspan="3">※80</td> <td rowspan="3">2%</td> <td rowspan="3">※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td rowspan="3">歩行者用通路</td> <td rowspan="3">・図示による</td> <td rowspan="3">※60</td> <td rowspan="3">1.5~2%</td> <td rowspan="3">※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	区分	種類	厚さ (mm)	表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物 I 型(13)	40	基層	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	40	項目	性状	試験方法	フロー値 (P-ポート) 砂	10~14	舗装調査・試験法便覧 (C041)	圧縮強度 (7日養生) MPa	9.8~29.4	JIS R 5201	曲げ強度 (7日養生) MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧 (C042)	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率 (%)	19mm	100	13.2mm	95~100	4.75mm	10~35	2.36mm	5~22	600μm	4~15	300μm	3~12	75μm	1~6	アスファルト量 (%)	3.0~4.5	項目	基準値	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.90以上	安定度 (kN)	2.94以上	フロー値 (1/100cm)	20~40	空隙率 (%)	20~28	突固め回数 (回)	50	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約 3 日	早強タイプ	約 1 日	超速硬タイプ	約 3 時間	区分	種類	厚さ (mm)	表層	弾性舗装材	15~20	基層	再生密粒度アスファルト混合物 (13)	30	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	※60	・砂	表面加工	・透水平板 (P)	・	・	・砂	・研ぎ出し	・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し					・たたき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	横断面勾配	曲げ強度 (N/?)	備考	※普通ブロック (N)	車路、駐車場	・図示による	※80	2%	※5.0	表面加工	・透水性ブロック (P)	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	1.5~2%	※3.0	・	・透水性ブロック (P)	・	・	・	・保水性ブロック (M)	・	・	・	<p>10. 砂利敷き</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種 (施工範囲: ・図示による ・通路)</li> <li>・B種 (施工範囲: ・図示による ・建物周囲その他)</li> </ul> <p>11. 路面標示用塗料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示用塗料 ( )</p> <p>23. 舗装及び屋上緑化工事</p> <p>1. 植栽地の確認等 (23.1.3)</p> <p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>電気伝導率 (EC) の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>2. 植栽基盤の整備 (23.2.2, 4)</p> <p>樹木の植栽基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する</li> <li>・適用しない</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td rowspan="4">※A種</td> <td>樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)</td> <td rowspan="4">・葉張り部分</td> <td rowspan="4">・適用する</td> </tr> <tr> <td>樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)</td> <td>・植栽帯部分</td> </tr> <tr> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>樹高3m未満 (※50 ・60)</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤の排水設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設ける (※図示による)</li> <li>・設けない</li> </ul> <p>3. 植込み用土 (23.2.3)</p> <p>・現場発生土の良質土</p> <p>・客土</p> <p>4. 土壌改良材 (23.2.3)</p> <p>種類及び指定量等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーク堆肥 ( )</li> <li>施工箇所</li> <li>※植栽範囲</li> <li>・図示による</li> <li>使用量</li> <li>植栽基盤面積1㎡あたり (・50L )</li> <li>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) ( )</li> <li>施工箇所</li> <li>※植栽範囲</li> <li>・図示による</li> <li>使用量</li> <li>植栽基盤面積1㎡あたり (・10L )</li> </ul> <p>材料</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。</p>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	※3種1号	熔融	粉体状	・白	・150	・1.0	・1種	常温	・	・	・	・	・2種	加熱	液状	・	・100	・	植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・葉張り部分	・適用する	樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)	・植栽帯部分	樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)	・図示による	樹高3m未満 (※50 ・60)	・適用しない	※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分	・適用する				・図示による	・適用しない	<p>5. 樹木 (23.3.2)</p> <p>樹種、寸法、株立数等</p> <p>※図示による</p> <p>6. 支柱 (23.3.2, 3)</p> <p>支柱材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※丸太 (間伐材)</li> <li>・真竹</li> </ul> <p>防蟻処理方法</p> <p>※加圧式防蟻処理丸太材</p> <p>形式</p> <p>・図示による</p> <p>7. 幹巻き用材料 (23.3.2)</p> <p>材料</p> <p>※幹巻き用テープ</p> <p>・わら及びこも</p> <p>8. 芝 (23.4.2, 3)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※コウライシバ</li> <li>・ノシバ</li> </ul> <p>芝張りの工法</p> <p>平地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※目地張り</li> <li>・べた張り</li> </ul> <p>法面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※べた張り法面</li> <li>・目地張り</li> </ul> <p>9. 吹付けは種 (23.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/㎡)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td>・15~20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>10. 地被類 (23.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>11. 新植、芝等の植栽、移植樹木の枯損処置 (23.3.4, 6) (23.4.7) (23.5.5)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の</p> <p>枯損処置の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※引渡しの日から1年</li> <li>・無し</li> </ul> <p>移植樹木の枯損処置を行う期間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※引渡しの日から1年</li> <li>・無し</li> </ul> <p>12. 屋上緑化 (23.5.2~4)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上緑化システム</li> <li>土壌層の厚さ</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>排水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽量骨材 (層の厚さ: )</li> <li>・板状成形品</li> </ul> <p>植込み用土</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※改良土</li> <li>・人工軽量土</li> </ul> <p>樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等</p> <p>※図示による</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <p>※図示による</p> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>・屋上緑化軽量システム</p> <p>芝及び地被類の樹種並びに種類等</p> <p>※図示による</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <p>※図示による</p> <p>支柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置する</li> <li>・設置しない</li> </ul> <p>形式</p> <p>・図示による</p> <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置する</li> <li>・設置しない</li> </ul> <p>種類</p> <p>・図示による</p> <p>工法</p> <p>「屋根ふき材及び屋外に面する構造物の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法</p> <p>・図示による</p> <p>24. その他</p> <p>1. 工事現場の環境改善</p> <p>工事現場のイメージアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮囲い周辺の美化</li> <li>・長野県看板 (アルクマ等) の設置</li> </ul> <p>地域住民への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成予定図の設置</li> <li>・情報掲示板の設置</li> <li>・パンフレットの作成</li> </ul> <p>地域住民とのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場見学会の開催</li> <li>・住民に対する災害防止関係</li> <li>・現場出入口周辺への誘導員の配備</li> </ul> <p>2. 不具合の確認</p> <p>工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で施設課長へ報告する。</p> <p>(施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。)</p>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上	・15~20		樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数				
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示による	・図示 ・150																																																																																																																																																																																																																				
歩行者用通路	・図示による	・図示 ・70																																																																																																																																																																																																																					
転圧コンクリート	車路及び駐車場	・図示による	・図示 ・150																																																																																																																																																																																																																				
区分	種類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																					
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物 I 型(13)	40																																																																																																																																																																																																																					
基層	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)	40																																																																																																																																																																																																																					
項目	性状	試験方法																																																																																																																																																																																																																					
フロー値 (P-ポート) 砂	10~14	舗装調査・試験法便覧 (C041)																																																																																																																																																																																																																					
圧縮強度 (7日養生) MPa	9.8~29.4	JIS R 5201																																																																																																																																																																																																																					
曲げ強度 (7日養生) MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧 (C042)																																																																																																																																																																																																																					
ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率 (%)																																																																																																																																																																																																																						
19mm	100																																																																																																																																																																																																																						
13.2mm	95~100																																																																																																																																																																																																																						
4.75mm	10~35																																																																																																																																																																																																																						
2.36mm	5~22																																																																																																																																																																																																																						
600μm	4~15																																																																																																																																																																																																																						
300μm	3~12																																																																																																																																																																																																																						
75μm	1~6																																																																																																																																																																																																																						
アスファルト量 (%)	3.0~4.5																																																																																																																																																																																																																						
項目	基準値																																																																																																																																																																																																																						
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.90以上																																																																																																																																																																																																																						
安定度 (kN)	2.94以上																																																																																																																																																																																																																						
フロー値 (1/100cm)	20~40																																																																																																																																																																																																																						
空隙率 (%)	20~28																																																																																																																																																																																																																						
突固め回数 (回)	50																																																																																																																																																																																																																						
セメントミルクの種類	養生期間																																																																																																																																																																																																																						
普通タイプ	約 3 日																																																																																																																																																																																																																						
早強タイプ	約 1 日																																																																																																																																																																																																																						
超速硬タイプ	約 3 時間																																																																																																																																																																																																																						
区分	種類	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																					
表層	弾性舗装材	15~20																																																																																																																																																																																																																					
基層	再生密粒度アスファルト混合物 (13)	30																																																																																																																																																																																																																					
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																																																			
・普通平板 (N)	・300角	※60	・砂	表面加工																																																																																																																																																																																																																			
・透水平板 (P)	・	・	・砂	・研ぎ出し																																																																																																																																																																																																																			
・保水性平板 (M)	・	・	・	・洗い出し																																																																																																																																																																																																																			
				・たたき出し																																																																																																																																																																																																																			
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	横断面勾配	曲げ強度 (N/?)	備考																																																																																																																																																																																																																	
※普通ブロック (N)	車路、駐車場	・図示による	※80	2%	※5.0	表面加工																																																																																																																																																																																																																	
・透水性ブロック (P)						・	・	・																																																																																																																																																																																																															
・保水性ブロック (M)						・	・	・																																																																																																																																																																																																															
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	1.5~2%	※3.0	・																																																																																																																																																																																																																	
・透水性ブロック (P)						・	・	・																																																																																																																																																																																																															
・保水性ブロック (M)						・	・	・																																																																																																																																																																																																															
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																		
※3種1号	熔融	粉体状	・白	・150	・1.0																																																																																																																																																																																																																		
・1種	常温	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																		
・2種	加熱	液状	・	・100	・																																																																																																																																																																																																																		
植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																																																			
・樹木	※A種	樹高12m以上 (※100 ・120 ・150)	・葉張り部分	・適用する																																																																																																																																																																																																																			
		樹高7m以上~12m未満 (※80 ・100)			・植栽帯部分																																																																																																																																																																																																																		
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80)			・図示による																																																																																																																																																																																																																		
		樹高3m未満 (※50 ・60)			・適用しない																																																																																																																																																																																																																		
※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分	・適用する																																																																																																																																																																																																																			
			・図示による	・適用しない																																																																																																																																																																																																																			
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考																																																																																																																																																																																																																				
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上	・15~20																																																																																																																																																																																																																					
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																																																																																																				

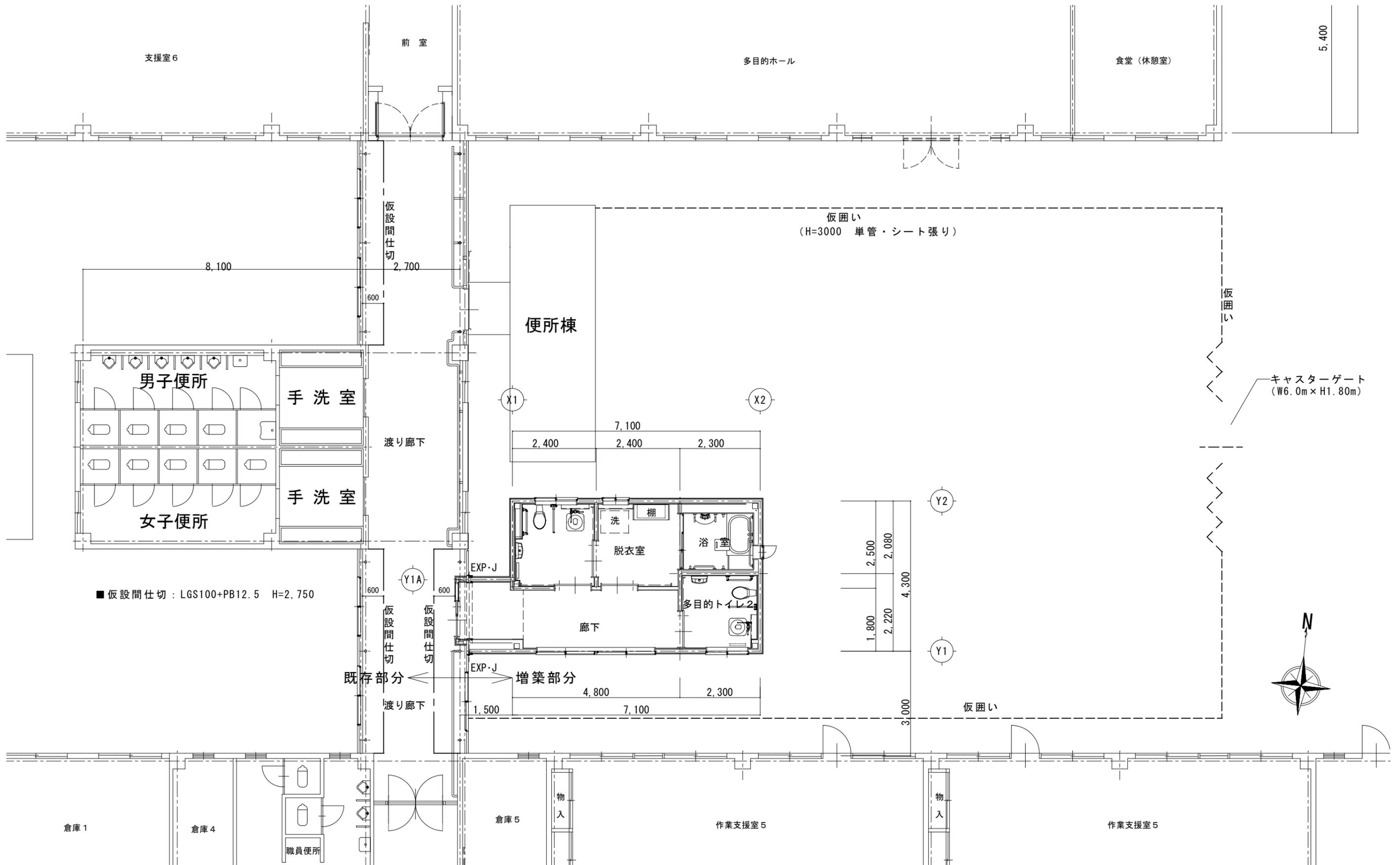




配置図 S=1:2000

建築概要書

1. 工事名称	西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟便所他増築工事									
2. 工事場所	長野県駒ヶ根市下平2901-7の一部									
3. 主要用途	児童福祉施設等 障害者支援施設									
4. 工事種別	増築									
5. 敷地面積										
6. 構造	申請建物 (訓練棟)			既存建物1 (ボイラー室)	既存建物2 (便所棟)	既存建物3 (ポンプ室)	既存建物4 (物置)	既存建物5~6 (物置)		
	増築部分: S造	既存部分: RC造・一部S造	計	RC造	RC造	RC造	軽量S造 (ﾌﾞﾘｯｸ)	軽量S造 (ﾌﾞﾘｯｸ)	合計	
7. 規模	平屋建て	平屋建て (S42年8月建設)		平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て	平屋建て		
	延床面積	33.62m <sup>2</sup>	1,569.86m <sup>2</sup>	1,603.48m <sup>2</sup>	24.08m <sup>2</sup>	16.56m <sup>2</sup>	31.36m <sup>2</sup>	10.22m <sup>2</sup>	13.09m <sup>2</sup>	1,698.79m <sup>2</sup>
	建築面積	33.62m <sup>2</sup>	1,686.39m <sup>2</sup>	1,720.01m <sup>2</sup>	24.08m <sup>2</sup>	16.56m <sup>2</sup>	31.36m <sup>2</sup>	10.22m <sup>2</sup>	13.09m <sup>2</sup>	1,815.32m <sup>2</sup>
8. 地域・地区	都市計画区域 無指定									
	許容容積率 200% 許容建ぺい率 60% 計画容積率 22.98% 計画建ぺい率 21.50%									
9. 防火地域	なし									
10. 地区計画	なし									
11. 耐火性能	準耐火構造 (口準耐-2) : 申請建物									
12. 日影規制	なし									
13. 斜線制限	道路斜線	1.25	隣地斜線	1.25	+20m					



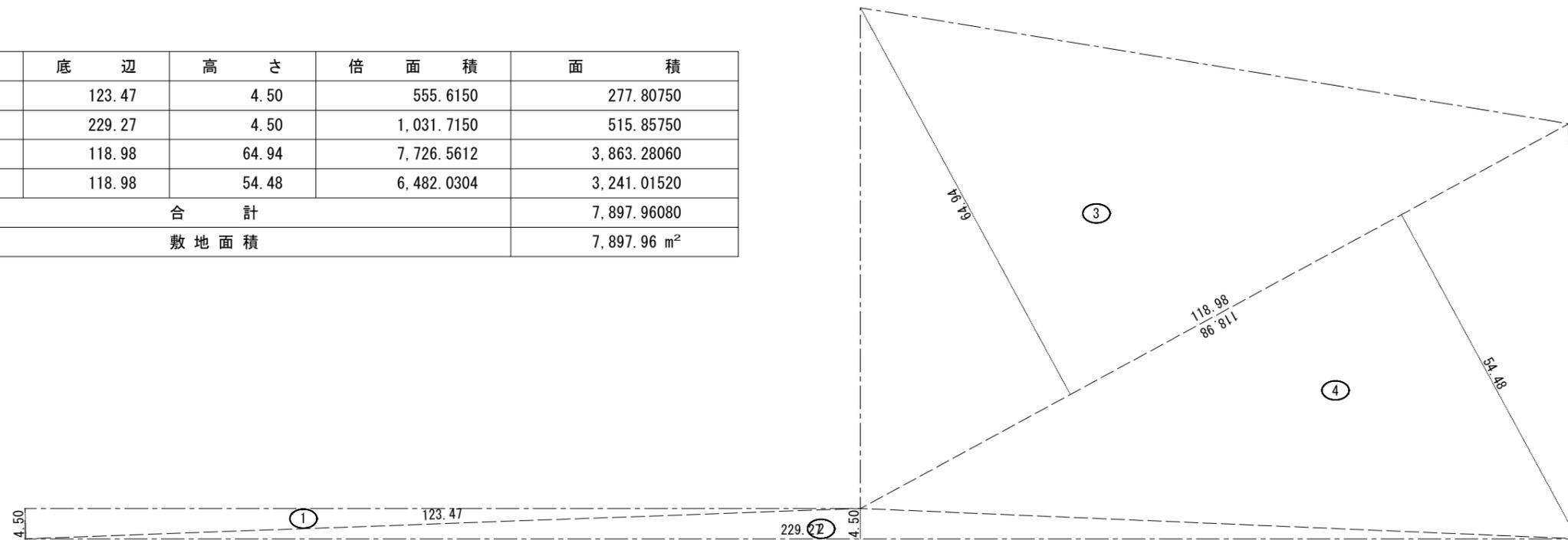
■ 仮設間仕切 : LGS100+PB12.5 H=2,750

仮囲い  
(H=3000 単管・シート張り)

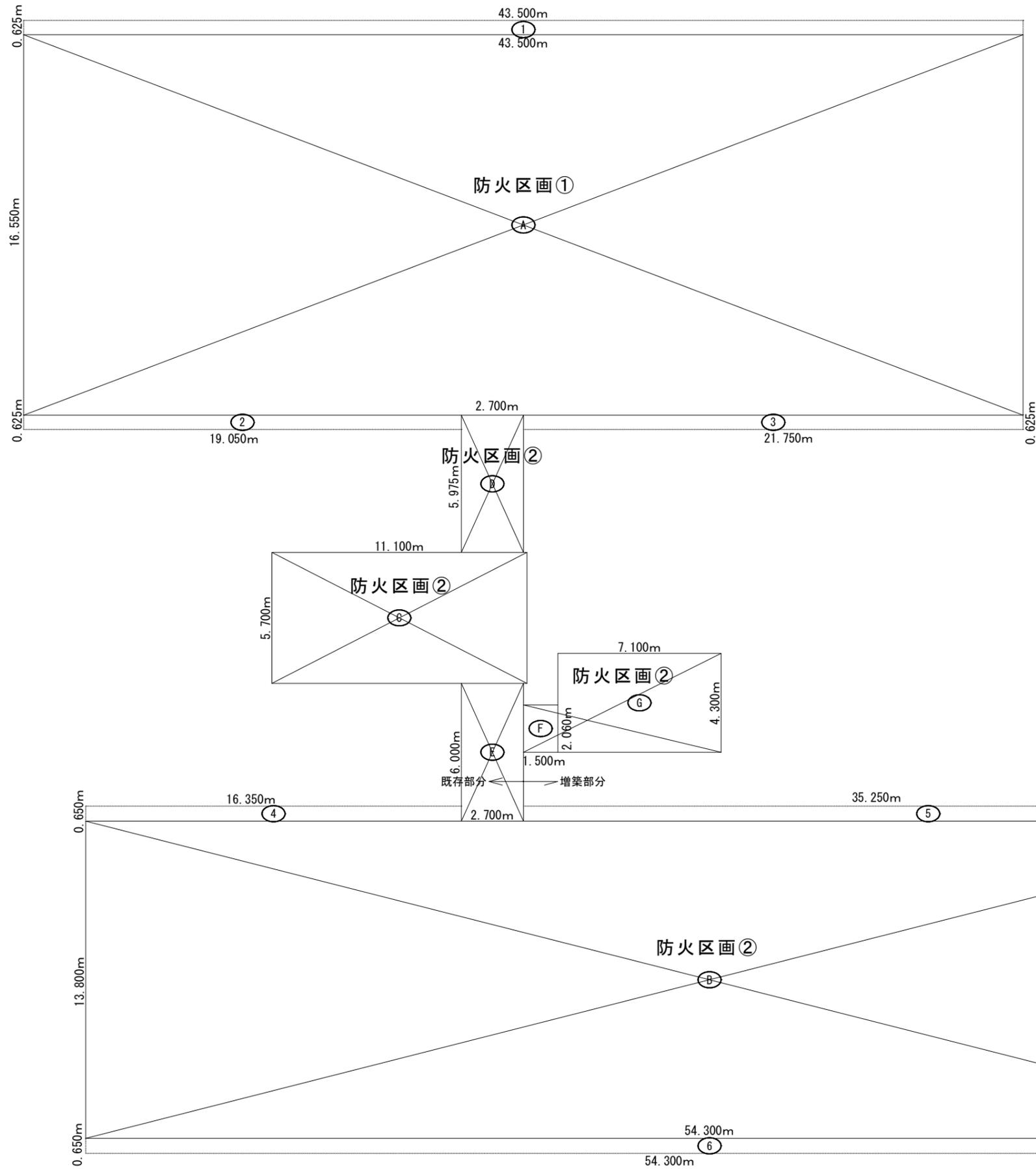
キャスターゲート  
(W6.0m×H1.80m)



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	123.47	4.50	555.6150	277.80750
2	229.27	4.50	1,031.7150	515.85750
3	118.98	64.94	7,726.5612	3,863.28060
4	118.98	54.48	6,482.0304	3,241.01520
合 計				7,897.96080
敷 地 面 積				7,897.96 m <sup>2</sup>



敷地面積算定図 S=1:800



床面積 計算表 (申請建物)				
番号	底 辺	高 さ	面 積	備 考
A	43.500	16.550	719.925	面積区画① : A=719.925㎡ ≤1,500㎡
B	54.300	13.800	749.340	
C	11.100	5.700	63.270	
D	2.700	5.975	16.133	
E	2.700	6.000	16.200	
計			1,564.868	
申請建物	既存部分	床面積	1,569.86㎡	
F	1.500	2.060	3.090	面積区画② : B~G=875.473㎡ ≤1,500㎡
G	7.100	4.300	30.530	
計			33.620	
申請建物	増築部分	床面積	33.62㎡	
申請建物	延べ床面積		1,603.48㎡	

床建築面積 計算表 (申請建物)				
番号	底 辺	高 さ	面 積	備 考
A	43.500	16.550	719.925	
B	54.300	13.800	749.340	
C	11.100	5.700	63.270	
D	2.700	5.975	16.133	
E	2.700	6.000	16.200	
1	43.500	0.625	27.188	
2	19.050	0.625	11.906	
3	21.750	0.625	13.594	
4	16.350	0.650	10.628	
5	35.250	0.650	22.913	
6	54.300	0.650	35.295	
計			1,686.392	
申請建物	既存部分	建築面積	1,686.39㎡	
F	1.500	2.060	3.090	
G	7.100	4.300	30.530	
計			33.620	
申請建物	増築部分	建築面積	33.62㎡	
申請建物	建築面積		1,720.01㎡	



外部仕上表				
部 位		備 考	部 位	備 考
屋 根	鉄骨下地 木毛セメント板 t=25 アスファルト-フィング 22kg敷き込み 大波スレート葺きの上 折板葺き (カバー-工法GL鋼板 t=0.6)		そ の 他	
軒 天	鉄骨表し OP塗装 木毛セメント板表し 一部 GL鋼板表し			
樋	軒樋: カ-鉄板 150φ/2 縦樋: VU100 OP塗装			
外 壁	コンクリート下地 モルタル刷毛引きリソウ吹付 一部: 鉄骨下地 木毛セメント板 t=25 アスファルト-フィング 22kg敷き込み 大波スレート張 一部 ALC版 t=50 (渡り廊下 延焼の恐れある部分) (PC30NE-9080) 吹付タイル (スタッコ) 一部 ALC版 t=35 (渡り廊下 延焼の恐れある部分以外) (不燃: 建設省告示第1400号) 吹付タイル (スタッコ)			
根 廻 り	コンクリート下地 モルタル刷毛引き			
建 具	7mmガラス (延焼の恐れある部分: 防火設備)			

内部仕上表											
階	室 名	床	床仕上げレベル (基準Fしよりのレベルを基準)	巾 木	壁	廻 り 縁	天 井		天井高	備 考	室 名
1 階	玄 関	モルタル金コシ仕上げ 長尺塩ビシート張 t=2.0 コンクリート打コシ 磁器質タイル貼り	±0	木製 OP塗装 h=100	モルタル金コシ EP塗装 コンクリート下地	木製 OP塗装	PB t=9.0張 EP塗装		2.700		玄 関
	廊 下	長尺塩ビシート張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 合板張 t=6 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	PB t=9.0張 EP塗装		2.700		廊 下
	職 員 室	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.700		職 員 室
	倉 庫 1・4・5	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 合板張 t=6 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	吸音テックス張		2.700		倉 庫 1・4・5
	倉 庫 2・3	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.700		倉 庫 2・3
	保 健 室	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.700		保 健 室
	静 養 室	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.700		静 養 室
	音 楽 室	塩ビタイル張 t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.700		音 楽 室
	職 員 便 所	タイル貼 モルタル下地	-15	タイル貼 h=100	上部 コンクリート下地 プラスター塗 腰 100口タイル貼	木製 OP塗装	耐水合板張 OP塗装		2.715		職 員 便 所
	湯 沸 室	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	-15	木製 OP塗装 h=100	一部 モルタル下地 EP塗装 一部 100口タイル貼	木製 OP塗装	石綿板 t=4.0 EP塗装		2.250		湯 沸 室
	作 業 支 援 室 1~5	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 合板張 t=6 OP塗装 一部 モルタル下地 EP塗装	木製 OP塗装	吸音テックス張		2.700		作 業 支 援 室 1~5
	食 堂 (休 憩 室)	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		食 堂 (休 憩 室)
	作 業 支 援 室 6	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		作 業 支 援 室 6
	美 術 準 備 室	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		美 術 準 備 室
	リラックスルーム	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		リラックスルーム
	倉 庫 5	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		倉 庫 5
	倉 庫 6	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.615		倉 庫 6
	前 室	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.615		前 室
	多 目 的 ホール	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		3.200		多 目 的 ホール
	食 堂 (休 憩 室)	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	±0	木製 OP塗装 h=100	一部 PBt=12.5 OP塗装 一部 コンクリート下地 モルタル金コシ EP塗装	木製 OP塗装	化粧PB t=9.5張		2.650		食 堂 (休 憩 室)
男子便所	タイル貼 モルタル下地	-45	タイル貼 h=100	上部 コンクリート下地 プラスター塗 腰 100口タイル貼	木製 OP塗装	ケイカル板 t=6.0張 OP塗装		2.500		男子便所	
女子便所	タイル貼 モルタル下地	-45	タイル貼 h=100	上部 コンクリート下地 プラスター塗 腰 100口タイル貼	木製 OP塗装	ケイカル板 t=6.0張 OP塗装		2.500		女子便所	
手 洗 室	タイル貼 モルタル下地	-30	タイル貼 h=100	上部 コンクリート下地 プラスター塗 腰 100口タイル貼	木製 OP塗装	ケイカル板 t=6.0張 OP塗装		2.485		手 洗 室	
渡り廊下	長尺塩ビシート t=2.0 モルタル金コシ仕上げ	-30	木製 OP塗装 h=100	一部 木下地 合板張 t=6 OP塗装 一部 モルタル下地 EP塗装	木製 OP塗装	一部 スレート表し 一部 コンクリート下地 プラスター塗		2.700		渡り廊下	

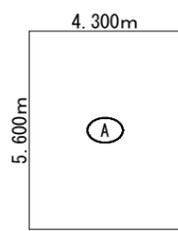
特 記 事 項	凡 例
■ 構造仕様 ・準耐火構造 (口準耐-2) ■ 内装制限材リスト ・PB t=12.5 (不燃)・・・NM-8619、PB t=9.5 (準不燃)・・・QM-9828 ・耐水PB (準不燃) t=9.5・12.5・・・QM-9826 ・化粧PB t=9.5 (不燃)・・・NM-0441、NM-0530、化粧PB t=9.5 (準不燃)・・・QM-9824、QM-0172 ・ロックウール吸音板 t=9.0・・・NM-8599、ケイカル板 t=6.0・・・NM-8578 ガラスクロス貼り t=50・・・NM-8606 ・塗装EP・・・(基材同等) 第0001号、Vクロス・・・(基材同等) 準不燃認定品以上 (一部: 不燃認定品) ・7mm吹付タイル (準不燃材料)・・・QM-9813	塗 装 - SOP・・・合成樹脂調合ペイント3回塗り EP・・・合成樹脂エマルジョンペイント3回塗り VE・・・塩化ビニル樹脂エナメル3回塗り FUE・・・フッ素樹脂エナメル3回塗り WPS・・・浸透性クリヤー2回塗り (拭取り共) オスモカラー同等品 UC・・・ウレタン樹脂ニス3回塗り CL・・・クリヤラッカー3回塗り (3分艶) OS・・・オイルステイン2回塗り OSO・・・キシラデコール3回塗り W・・・ワックス拭き

	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456 FAX (0265)-83-2383 E-mail : com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 既存部分 仕上表	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=NS	R6・9・※

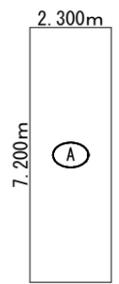
外部仕上表				
部 位		備 考	部 位	備 考
屋 根	折板 H90 h=300 GL鋼板 t=0.8同等 フォenixス貼りt=4 タイトフレーム・換気面戸・軒先見切り 化粧破風 h=300 コナ役物共 雪止金具(羽型 1段) 一部 折板 h=766h GL鋼板 t=0.6同等 フォenixス貼りt=4 タイトフレーム・換気面戸・エッジ面戸・止水面戸・軒先見切り 水上包み 水切り・雨押え GL鋼板t=0.4(片側EXP・J)	KBnt 300 キヤパ 4GH300同等	そ の 他	7MEXP・Jh= 50(外壁 壁-壁コナ、屋根 水切り) 小屋裏換気口:SUS製丸型パイプ付100φ がり付 2ヶ所 (延焼の恐れある部分:防火パイプ付 2ヶ所)
軒 天	GL鋼板表し			既存(渡り廊下) 一部外壁 ALC板t=50屋根裏迄(PC30NE-9080) 吹付タイル(スッコ)
樋	軒樋: GL鋼板 縦樋: VU75(カラー)	AZ超芯V200同等		建物廻り: 山砂敷き込み 建物廻りL=1.0m t=100 転圧共
外 壁	窯業系サイディング t=16 透湿・防風・防水シート 通気留付金物 付風水切り・付風通気見切縁・コナ・ジョイント役物	モリエータート16 ケラシハック60同等 (QM-0639) (PC030BE-9202)		
根 廻 り	塗装型枠コンクリート打放し仕上			
建 具	7Mサッシ住宅用(半外付)、網戸 一部防火設備			

内部仕上表												
階	室 名	区分	床	床仕上げレベル (基準F上りの レベルを示す)	巾 木	壁	廻り縁	天 井		天井高	備 考	室 名
								天 井	天 井			
1 階	廊 下	仕上	長尺塩ビシート t=2.5 耐湿工法	±0	ソト巾木 h=75	PB t=12.5 EP塗装 PB t=12.5+9.5両面張(建告第1358号) EP塗装 一部 Mn'-下地組 一部 LGS90	塩ビ製	化粧PB t=9.5 LGS地組	2.400	7MEXP・Jh= 50(壁-壁、天井-天井)	廊 下	
		下地	モルタル金コシ仕上げ						2.100	天井点検口 450φ		
	多目的 トイレ1	仕上	長尺塩ビシート t=2.5 耐湿工法	±0	床材巻上げ h=150	PB t=12.5(一部屋根裏迄)+化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0 LGS90 一部 Mn'-下地組 一部 PB t=12.5+9.5両面張 下地	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 (ジョイテ) t=6.0 EP LGS地組	2.400	ライニング: 壁共材 笠木: ストフォーム t=20 W=150	多目的 トイレ1	
		下地	モルタル金コシ仕上げ						2.400			
	多目的 トイレ2	仕上	長尺塩ビシート t=2.5 耐湿工法	±0	床材巻上げ h=150	PB t=12.5(一部屋根裏迄)+化粧ケイ酸カルシウム板t=6.0 LGS90 一部 Mn'-下地組 一部 PB t=12.5+9.5両面張 下地	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 (ジョイテ) t=6.0 EP LGS地組	2.400	ライニング: 壁共材 笠木: ストフォーム t=20 W=150	多目的 トイレ2	
		下地	モルタル金コシ仕上げ						2.400			
	脱衣室	仕上	長尺塩ビシート t=2.5 耐湿工法	±0	ソト巾木 h=75	耐水PB t=12.5 EP塗装 LGS90 一部 Mn'-下地組 一部 PB t=12.5+9.5両面張 下地	塩ビ製	ケイ酸カルシウム板 (ジョイテ) t=6.0 EP LGS地組	2.400	棚 ライニング: 壁共材 笠木: ストフォーム t=20 W=150 天井点検口 450φ	脱衣室	
浴室	仕上	タスクコート	±0	-	PB t=12.5(一部屋根裏迄) LGS90 一部 Mn'-下地組			-		浴室		
渡り廊下 (接続部分)	仕上	長尺塩ビシート t=2.5 耐湿工法	±0	ソト巾木 h=75	PB t=12.5+9.5 両面張(建告第1358号) EP塗装 一部: 強化PB t=21.0+21.0 片面張(FP-060NP-0497) EP塗装 LGS65 下地組	塩ビ製	既存のまま	2.700		渡り廊下		
	下地	モルタル金コシ仕上げ(一部補修)										

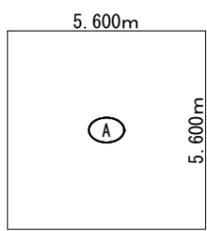
特 記 事 項			凡 例			
<b>■ 断熱材仕様</b> ・天井: 高性能グラスウール 14kg t=155 充填 壁: 高性能グラスウール 14kg t=90 ・床下: スチロフォーム t=30敷き込み ・高性能グラスウール 14kg t=155 (7列アット同等) ・高性能グラスウール 14kg t=105 (7列アット同等)	<b>■ 仕上材仕様</b> ・床: シート類 は全て防炎品としタイルを貼ること。 <b>■ 内部壁下地仕様</b> ・間仕切壁は木造 W=105とする。 <b>■ 内装制限材リスト</b> ・PB t=12.5(不燃)・・・NM-8619、PB t=9.5(準不燃)・・・QM-9828 ・耐水PB (準不燃) t=9.5・12.5・・・QM-9826 ・化粧PB t=9.5(不燃)・・・NM-0441、NM-0530、化粧PB t=9.5(準不燃)・・・QM-9824、QM-0172 ・ロックウール吸音板 t=9.0・・・NM-8599、ケイカル板 t=6.0・・・NM-8578 ガラスクロス貼りt=50・・・NM-8606 ・塗装EP・・・(基材同等) 第0001号、Vクロス・・・(基材同等) 準不燃認定品以上 (一部: 不燃認定品) ・タイル吹付タイル(準不燃材料)・・・QM-9813	<b>■ シックハウス対策について</b> ※下記の建築材料を使用すること 【建築材料】 【区分】 【備考】 ・ビニルタイル F☆☆☆☆ 接着剤共 ・合板類 F☆☆☆☆ 接着剤共 ・ホリ・マリン化粧合板 F☆☆☆☆ 接着剤共 ・塗装材 F☆☆☆☆ ・接着剤 F☆☆☆☆ ・シーリング材 F☆☆☆☆ ・接着剤 F☆☆☆☆ ・シーリング材 F☆☆☆☆	塗 装 - SOP・・・合成樹脂調合ペイント3回塗り EP・・・合成樹脂エマルジョンペイント3回塗り VE・・・塩化ビニル樹脂エナメル3回塗り FUE・・・フッ素樹脂エナメル3回塗り WPS・・・浸透性クリヤー2回塗り(拭取り共) オスモカラー同等品 UC・・・ウレタン樹脂ワニス3回塗り CL・・・クリヤラッカー3回塗り(3分艶) OS・・・オイルステイン2回塗り OSO・・・キシラデコール3回塗り W・・・ワックス拭き	<b>■ 構造仕様</b> ・準耐火構造(口準耐-2)	<b>■ 下地処理</b> ・塗装工事共下地処理を入念に行うこと。塗装工事はサドナー工程を入れること。メカ仕様のあるものは仕様による。	



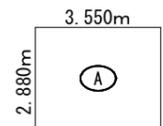
既存建物 1



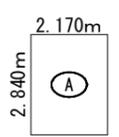
既存建物 2



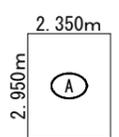
既存建物 3



既存建物 4



既存建物 5



既存建物 6

番号	底 辺	高 さ	面 積
A	3.550	2.880	10.224
計			10.224
既存建物 4 床・建築面積			10.22㎡

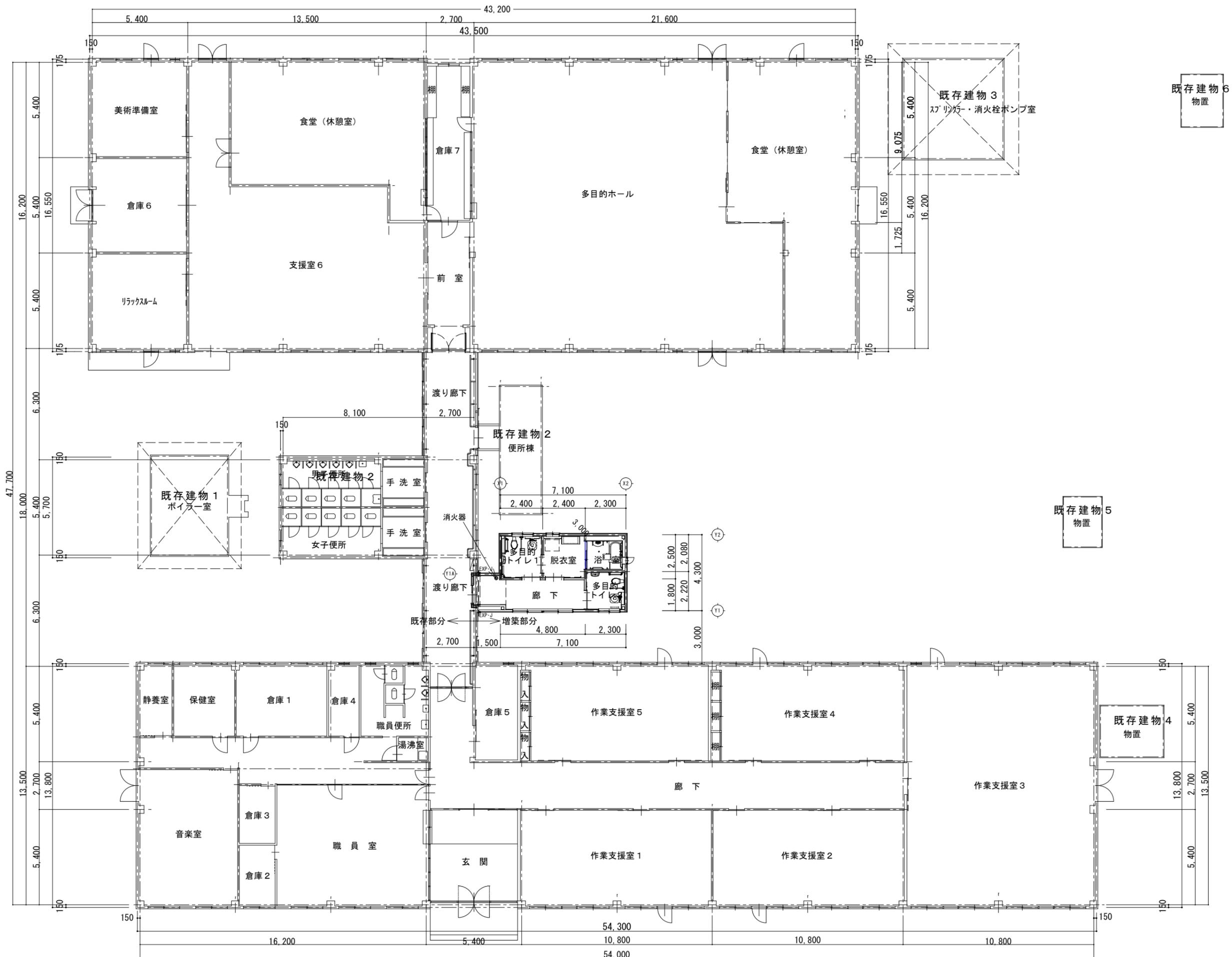
番号	底 辺	高 さ	面 積
A	2.170	2.840	6.163
計			6.163
既存建物 5 床・建築面積			6.16㎡

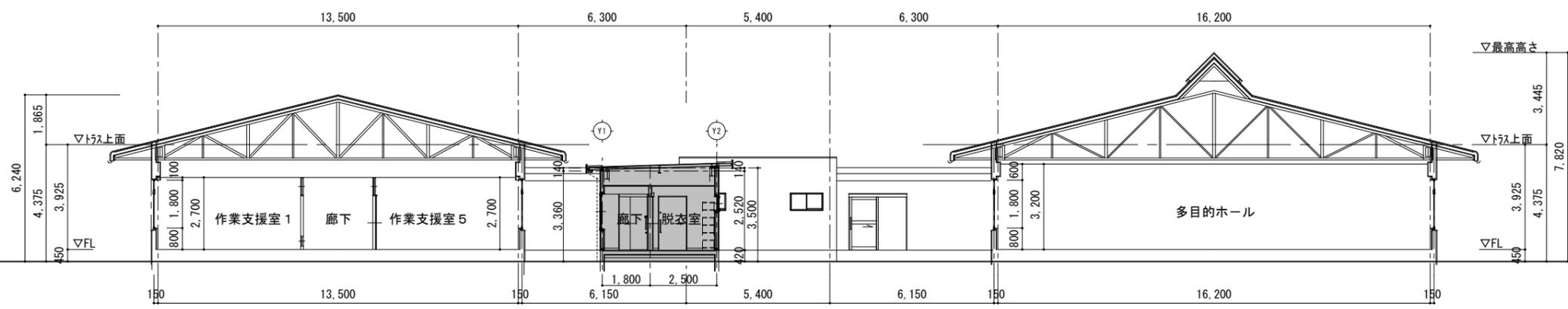
番号	底 辺	高 さ	面 積
A	4.300	5.600	24.080
計			24.080
既存建物 1 床・建築面積			24.08㎡

番号	底 辺	高 さ	面 積
A	2.300	7.200	16.560
計			16.560
既存建物 2 床・建築面積			16.56㎡

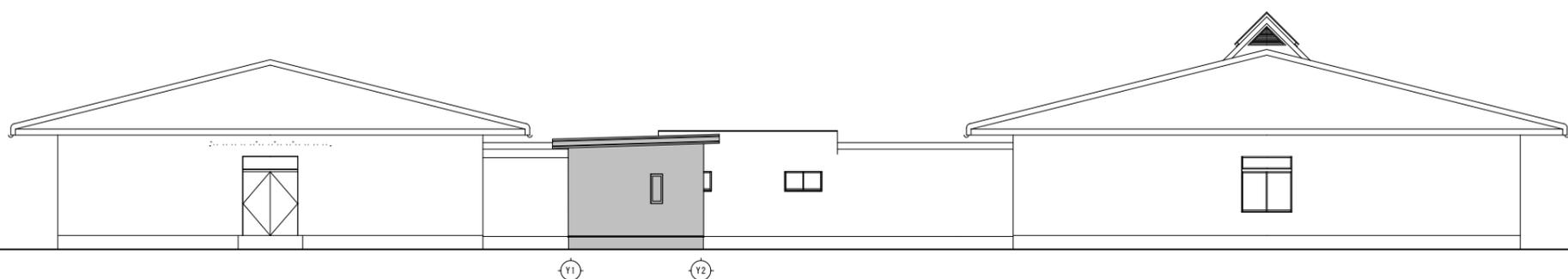
番号	底 辺	高 さ	面 積
A	5.600	5.600	31.360
計			31.360
既存建物 3 床・建築面積			31.36㎡

番号	底 辺	高 さ	面 積
A	2.350	2.950	6.933
計			6.933
既存建物 6 床・建築面積			6.93㎡

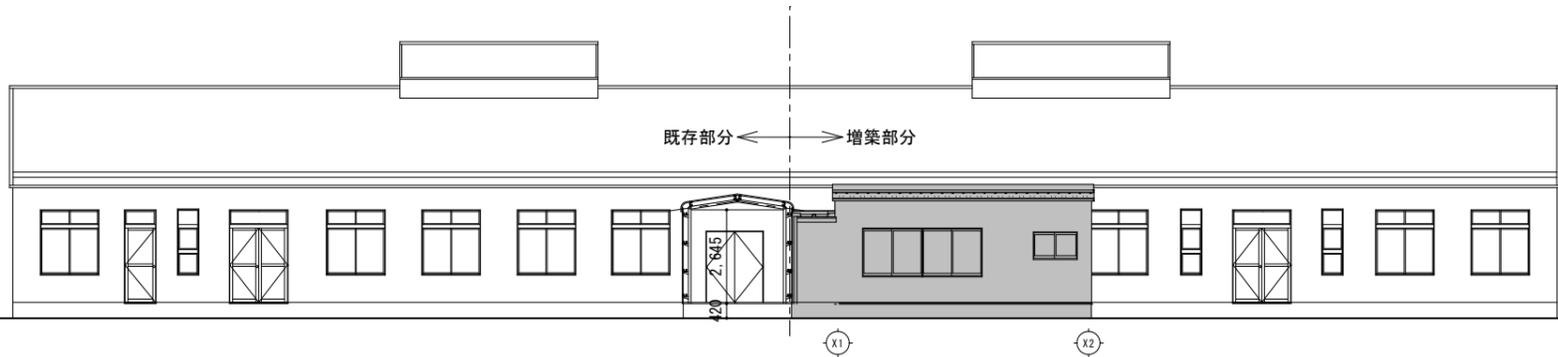




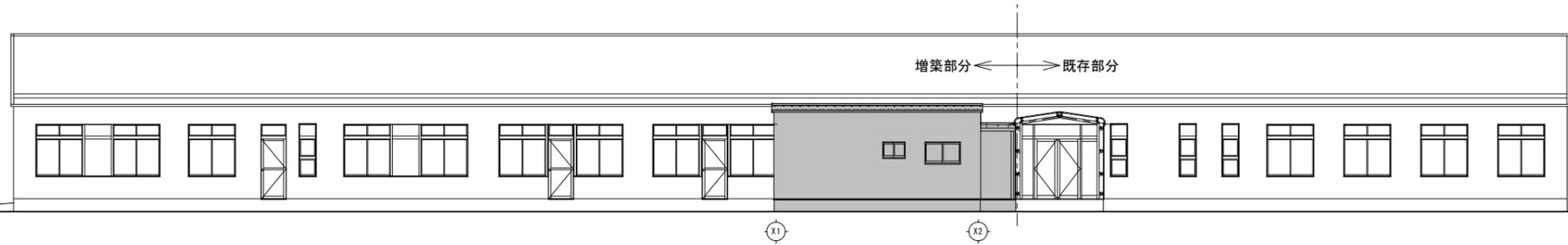
断面図 S=1:200



東側立面図 S=1:200

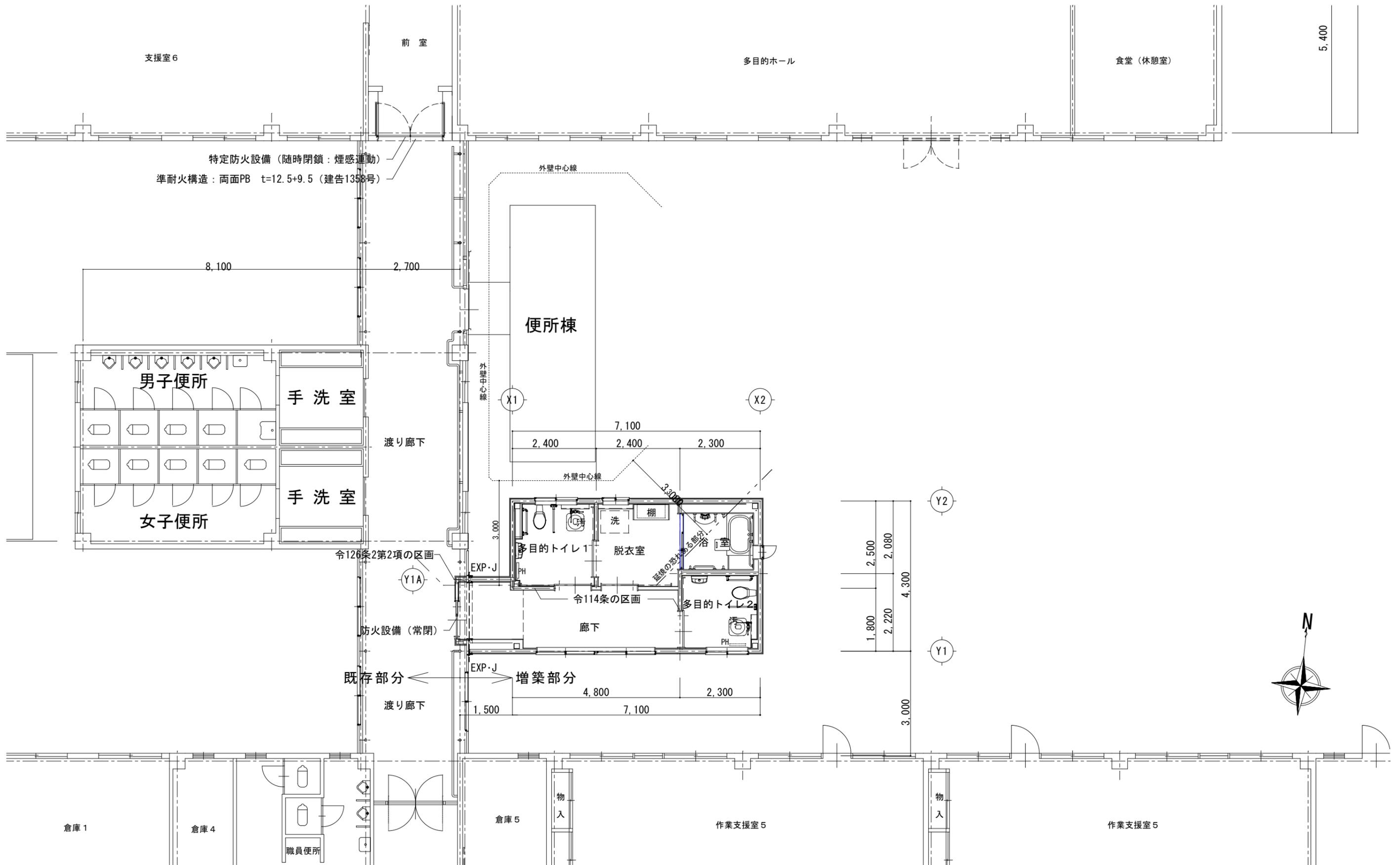


南側立面図 S=1:200



北側立面図 S=1:200

	長野県駒ヶ根市南田 6番30号 TEL (0265)-82-5456・FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 申請建物 立面図・断面図	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=1/200	R6.9.※



支援室6

前室

多目的ホール

食堂(休憩室)

5,400

特定防火設備(随時閉鎖:煙感運動)  
準耐火構造:両面PB t=12.5+9.5(建告1358号)

8,100

2,700

便所棟

男子便所

手洗室

渡り廊下

手洗室

女子便所

令126条第2項の区画

Y1A

防火設備(常閉)

既存部分

渡り廊下

増築部分

4,800

2,300

7,100

1,500

X1

X2

2,400

7,100

2,400

2,300

外壁中心線

外壁中心線

3,000

多目的トイレ1

洗

棚

脱衣室

令114条の区画

廊下

多目的トイレ2

Y2

2,500

2,080

4,300

Y1

1,800

2,220

3,000

倉庫1

倉庫4

職員便所

倉庫5

物入

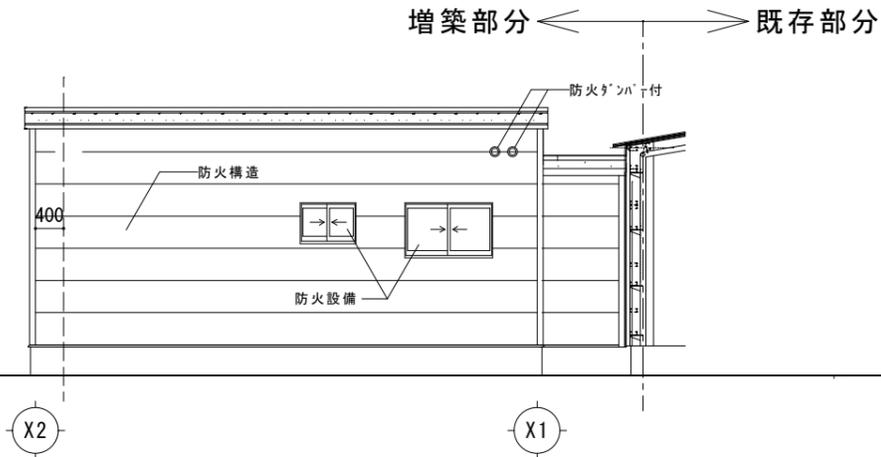
作業支援室5

物入

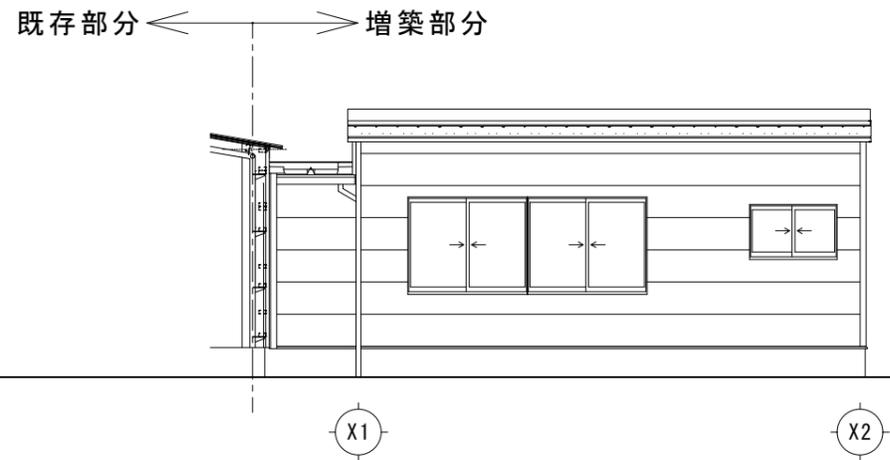
作業支援室5



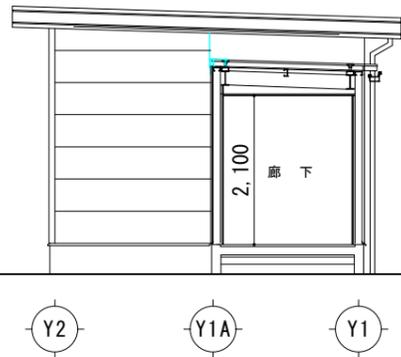
東側立面図 S=1:100



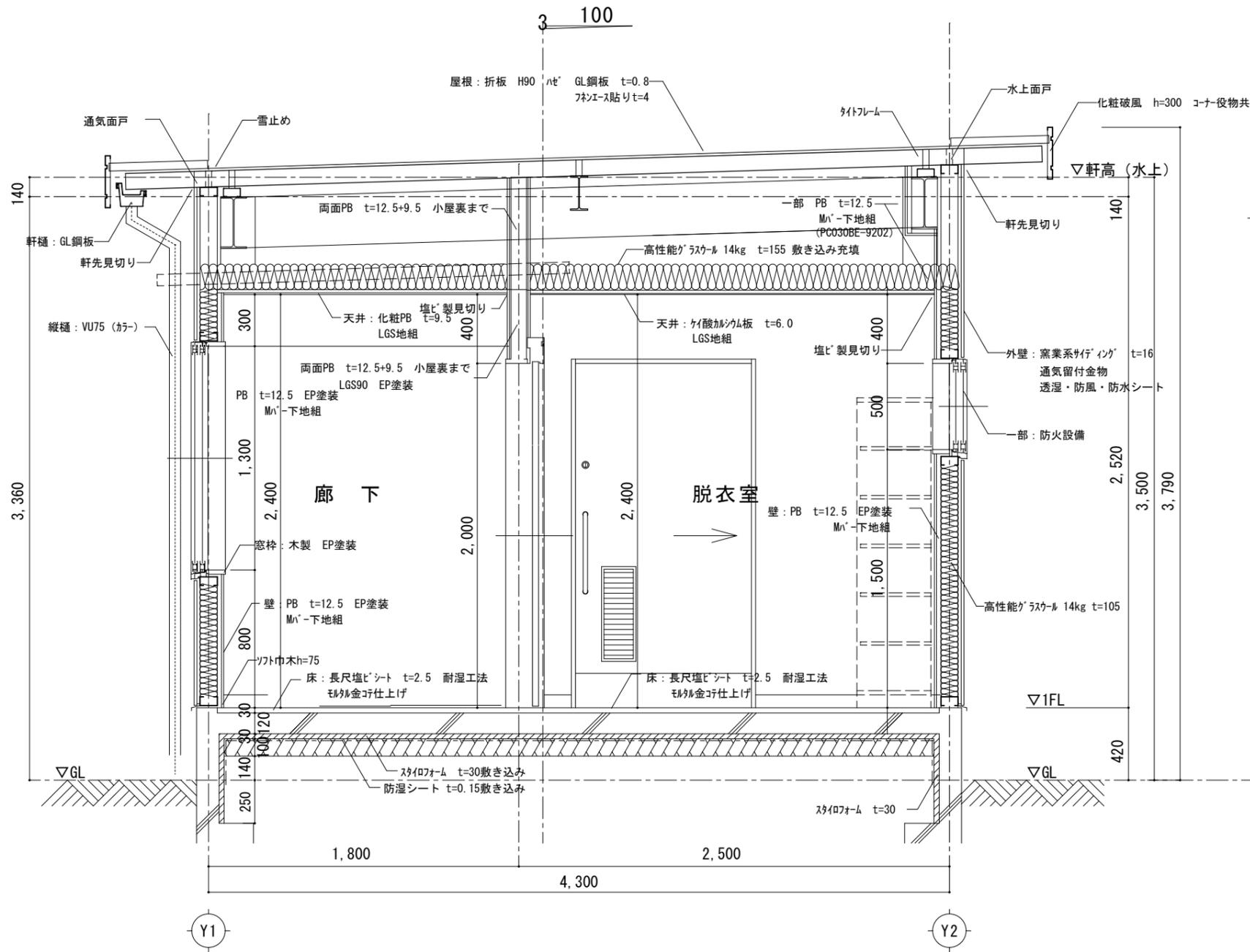
北側立面図 S=1:100



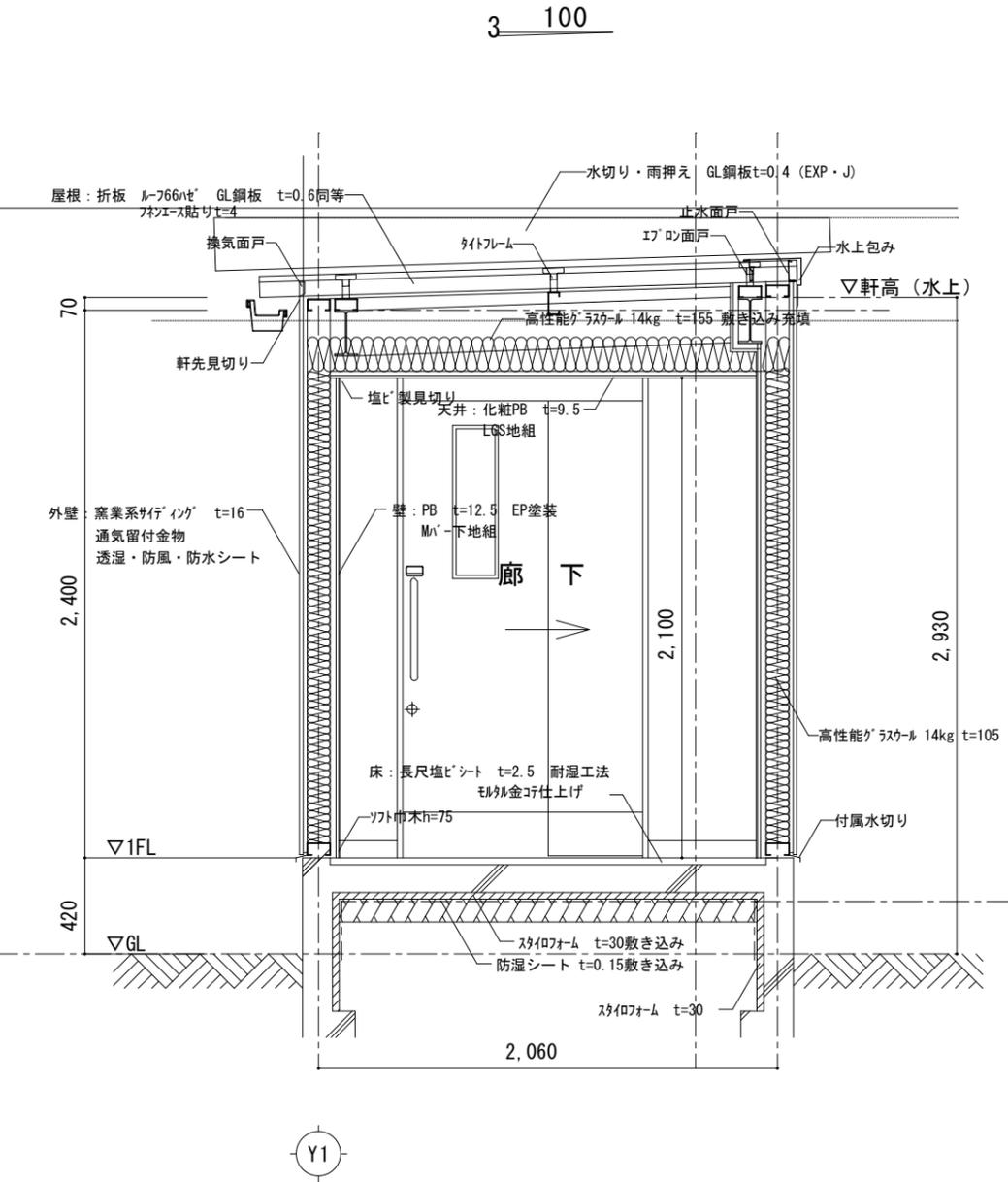
南側立面図 S=1:100



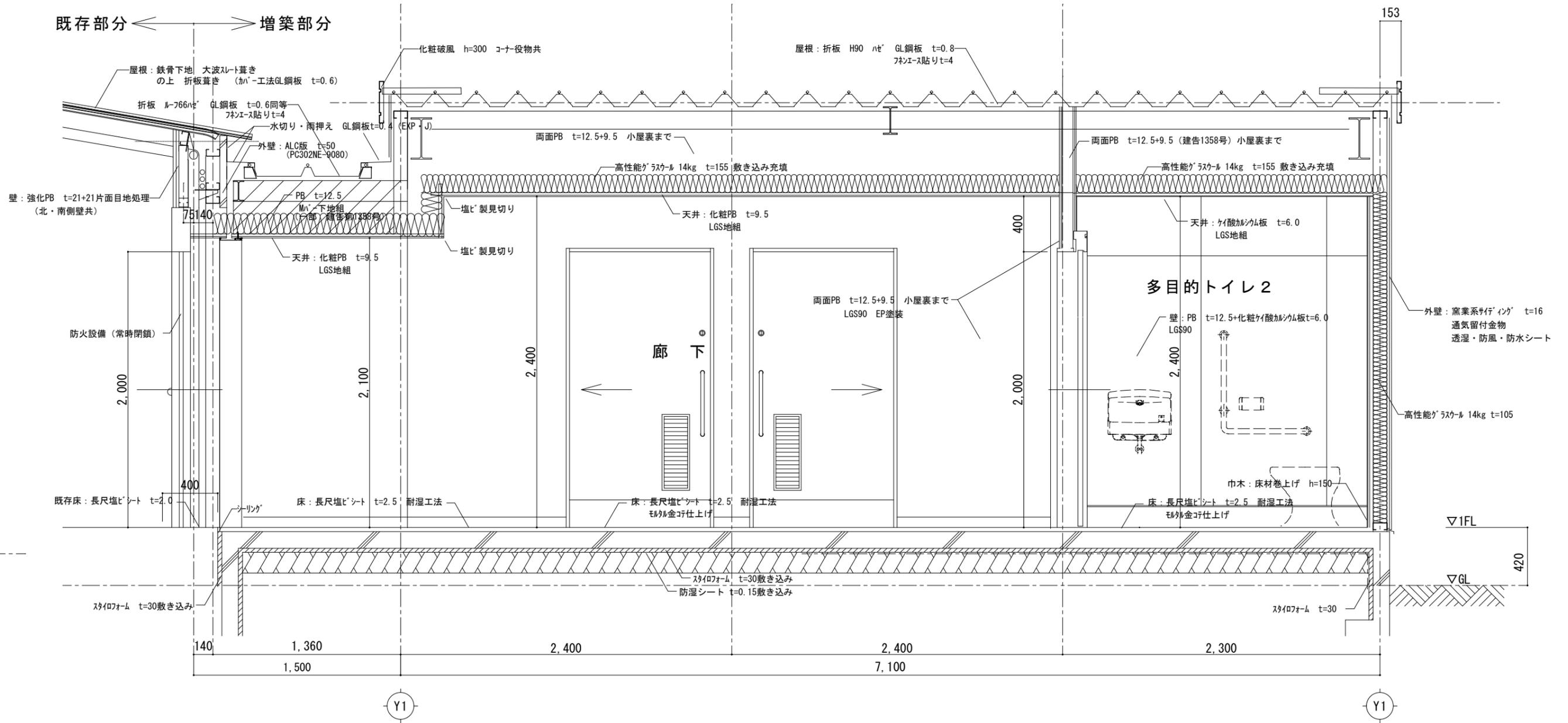
西側立面図 S=1:100



矩形図 1 S:1:30



矩形図 2 S:1:30

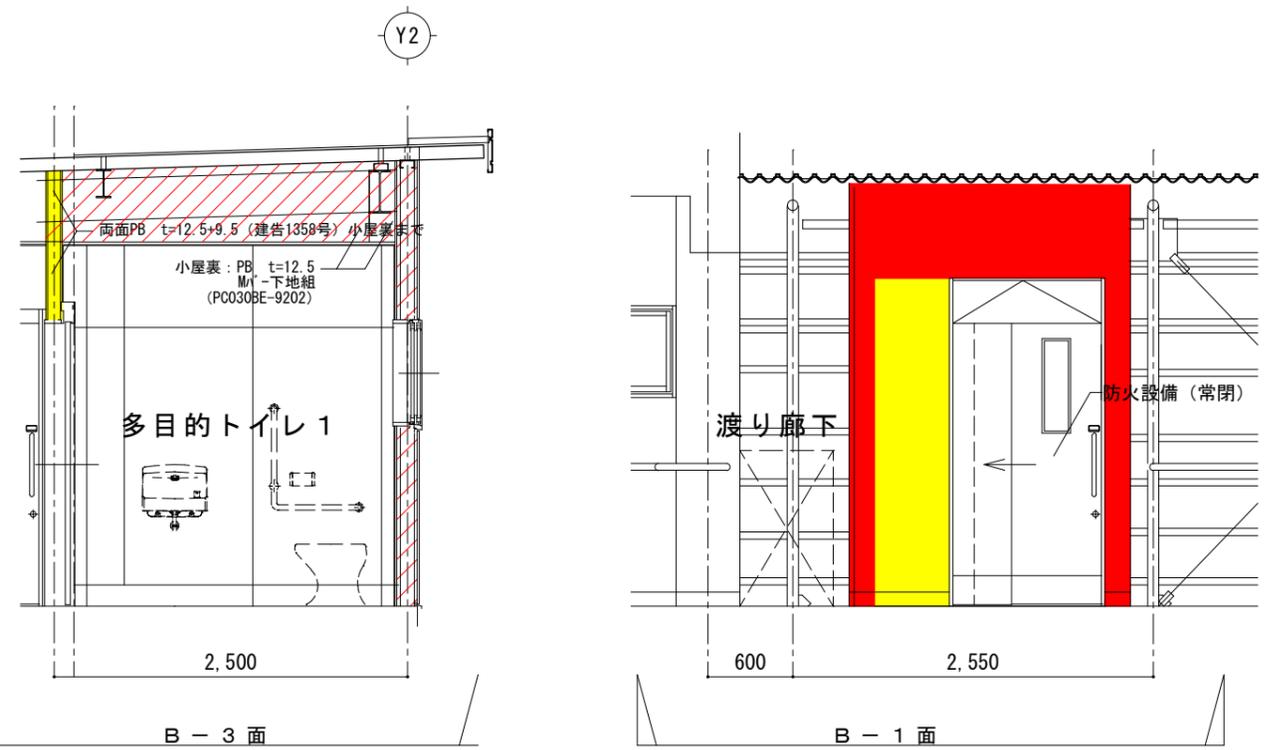
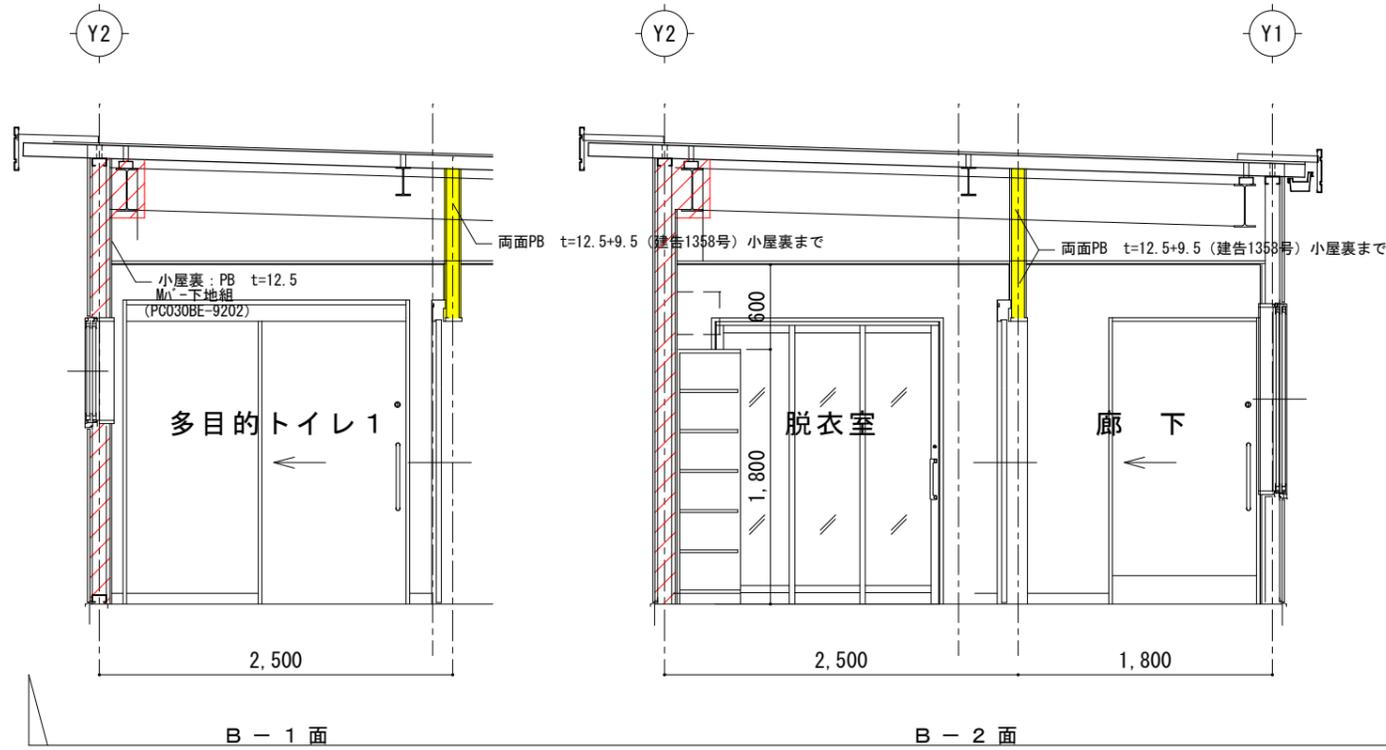
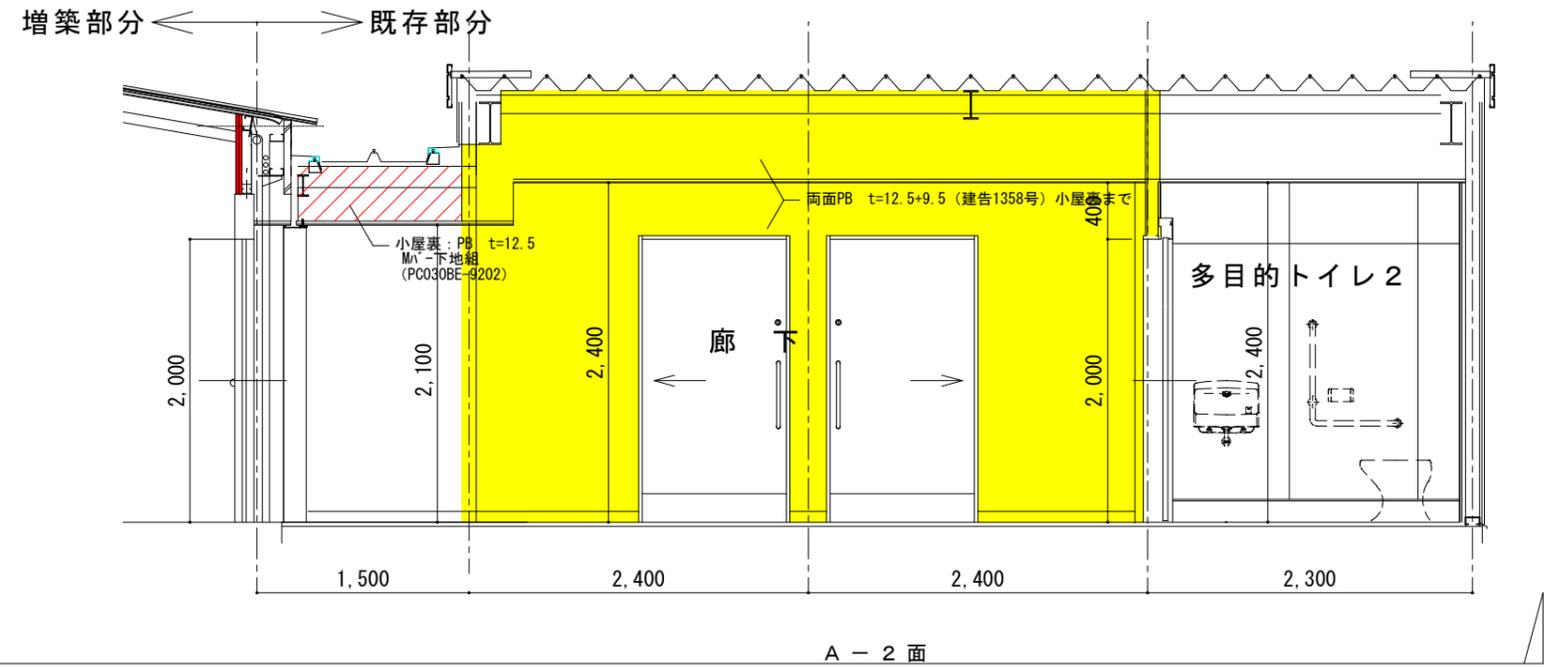
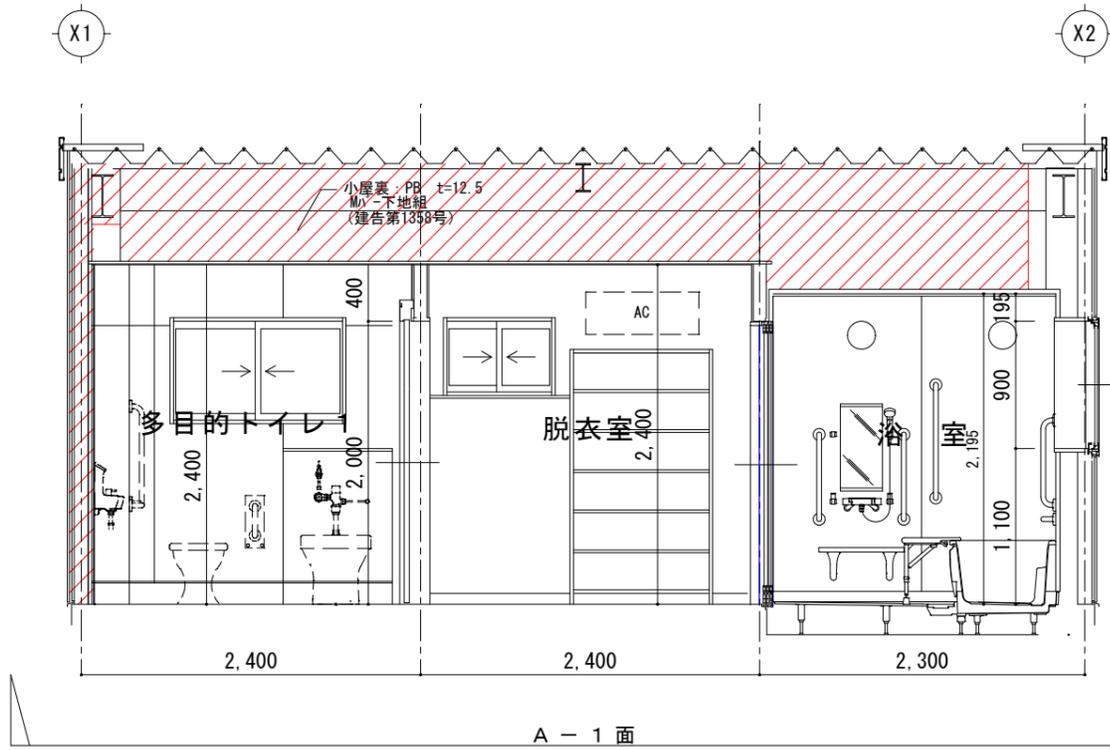


矩形図 3 S=1/30

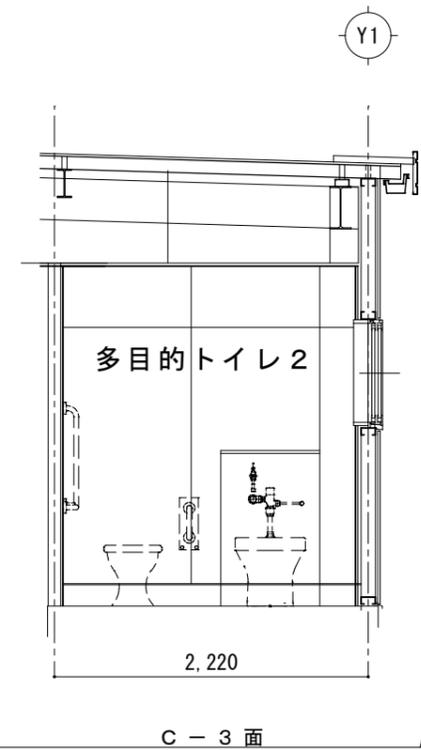
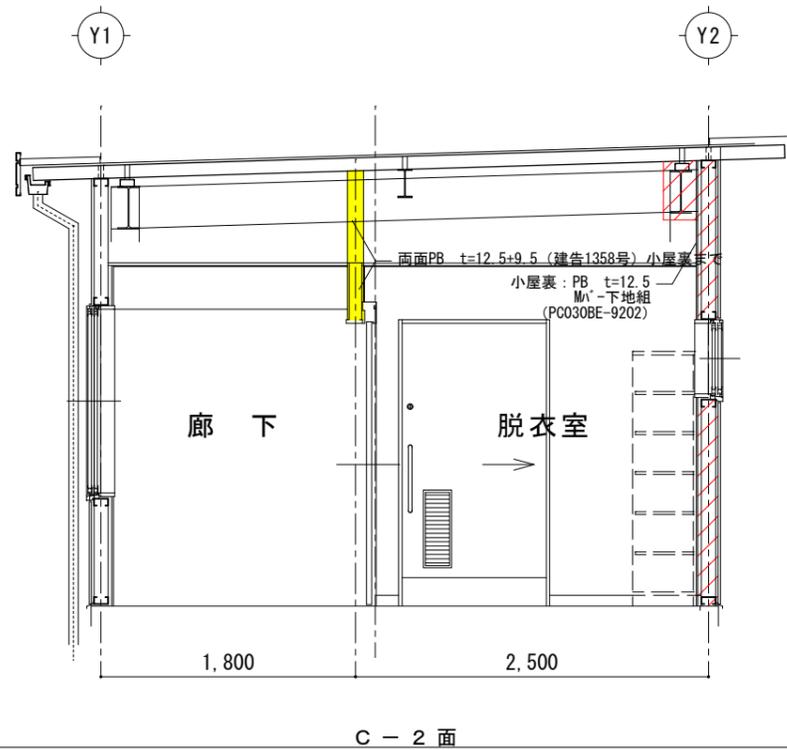
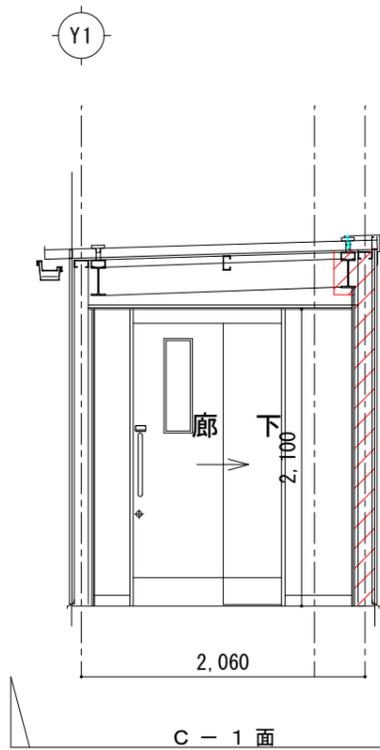
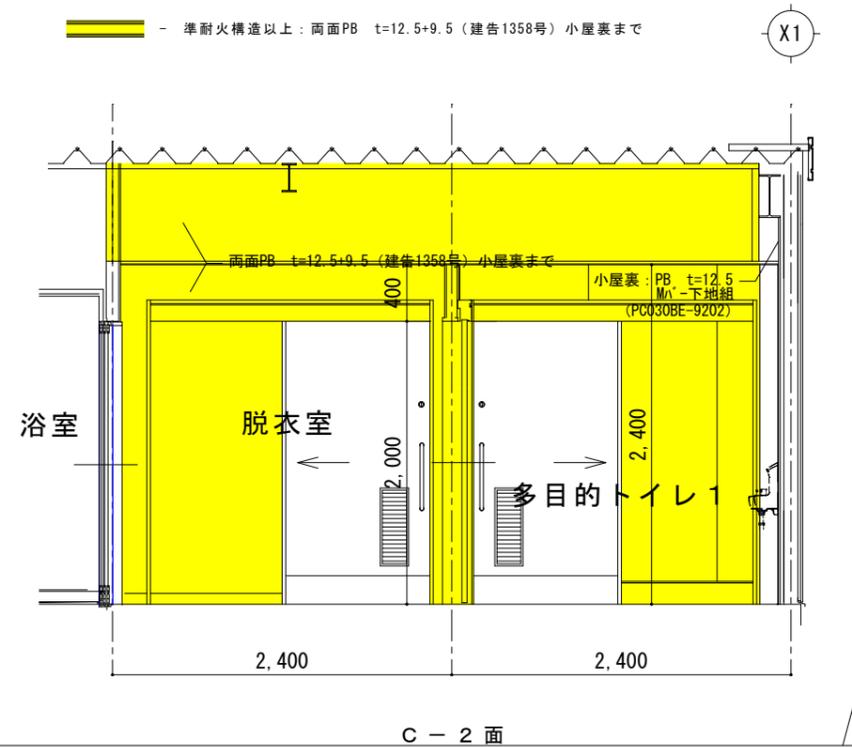
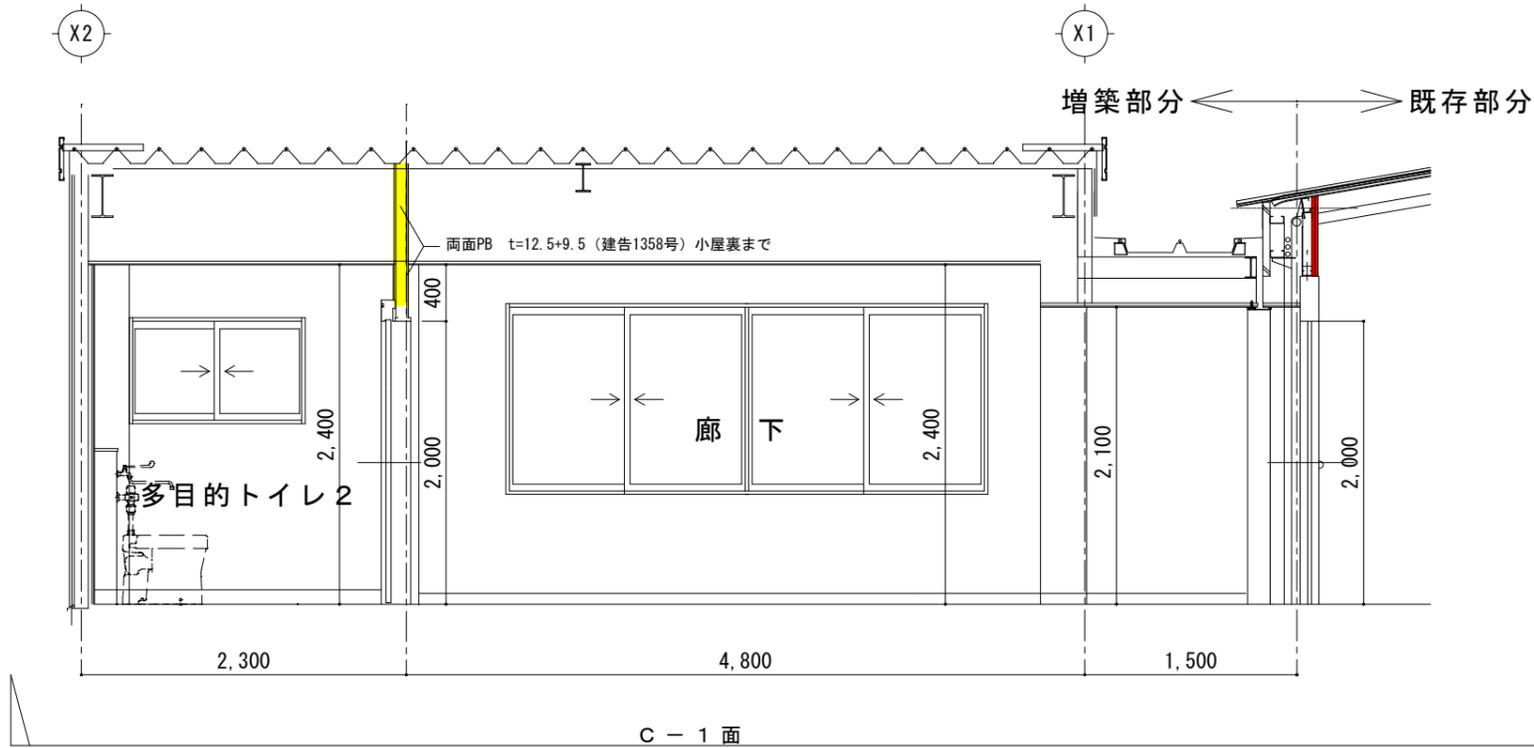
	長野県駒ヶ根市南田 6番30号 TEL (0265)-82-5456・FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 増築部分 矩計図 3	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=1/30	R6.9.※



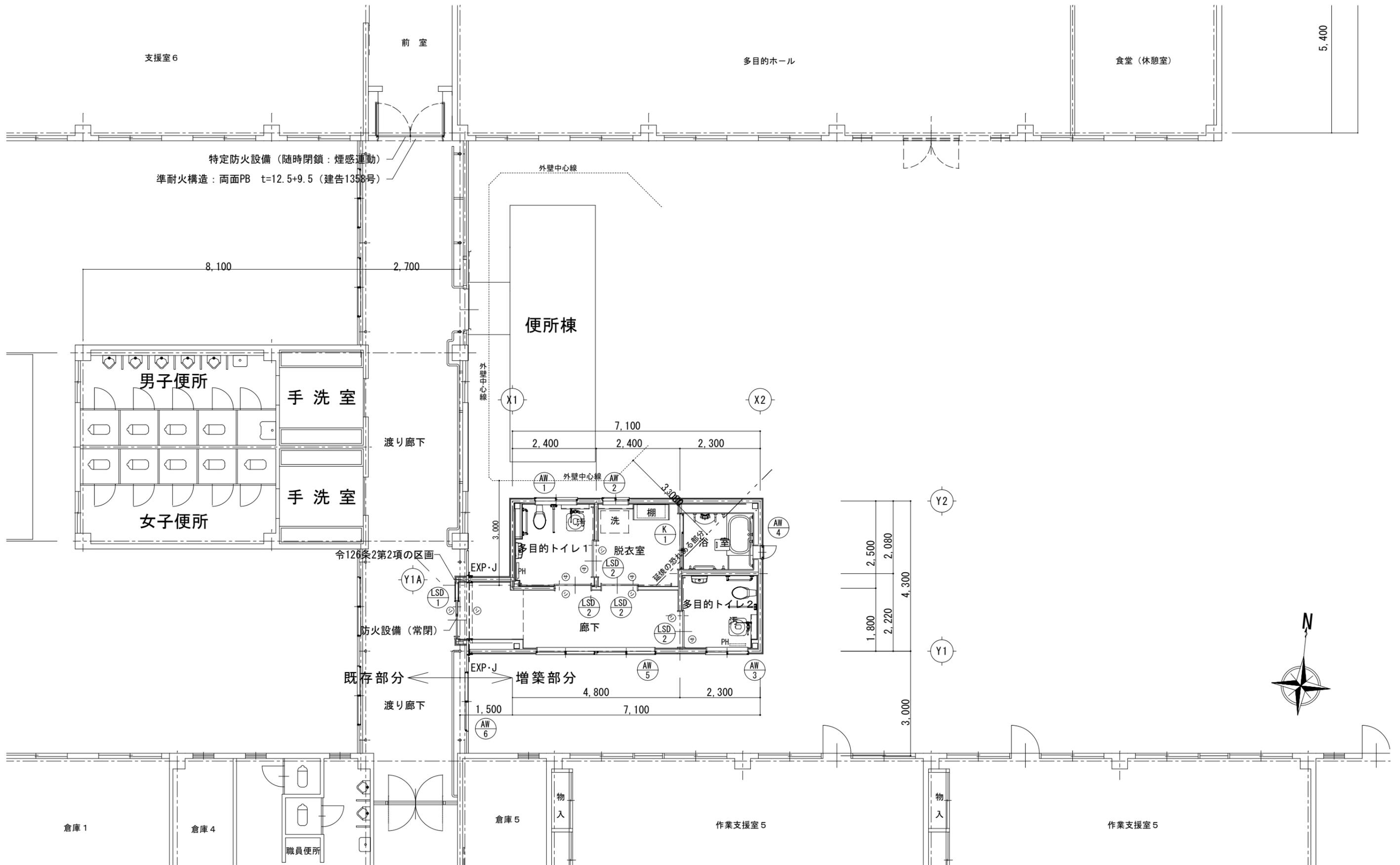
- 防火構造：窯業系サ行'インカ' t=16 (PC030BE-9202)  
屋内被覆：PB t=12.5 小屋裏まで
- 準耐火構造以上：強化PB t=21+21片面目地処理 (FP060NP-0497) 小屋裏まで
- 準耐火構造以上：両面PB t=12.5+9.5 (建告1358号) 小屋裏まで



- 防火構造：窯業系サイディング t=16 (PC030BE-9202)  
屋内被覆：PB t=12.5 小屋裏まで
- 準耐火構造以上：強化PB t=21+21片面目地処理 (FP060NP-0497) 小屋裏まで
- 準耐火構造以上：両面PB t=12.5+9.5 (建告1358号) 小屋裏まで



	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456・FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 増築部分 展開図2	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号				S=1/50	R6.9.※	A-25



支援室6

前室

多目的ホール

食堂(休憩室)

5,400

特定防火設備(随時閉鎖:煙感運動)  
準耐火構造:両面PB t=12.5+9.5(建告1358号)

便所棟

男子便所

手洗室

渡り廊下

手洗室

女子便所

令126条第2項の区画

防火設備(常閉)

既存部分

増築部分

渡り廊下

倉庫1

倉庫4

職員便所

倉庫5

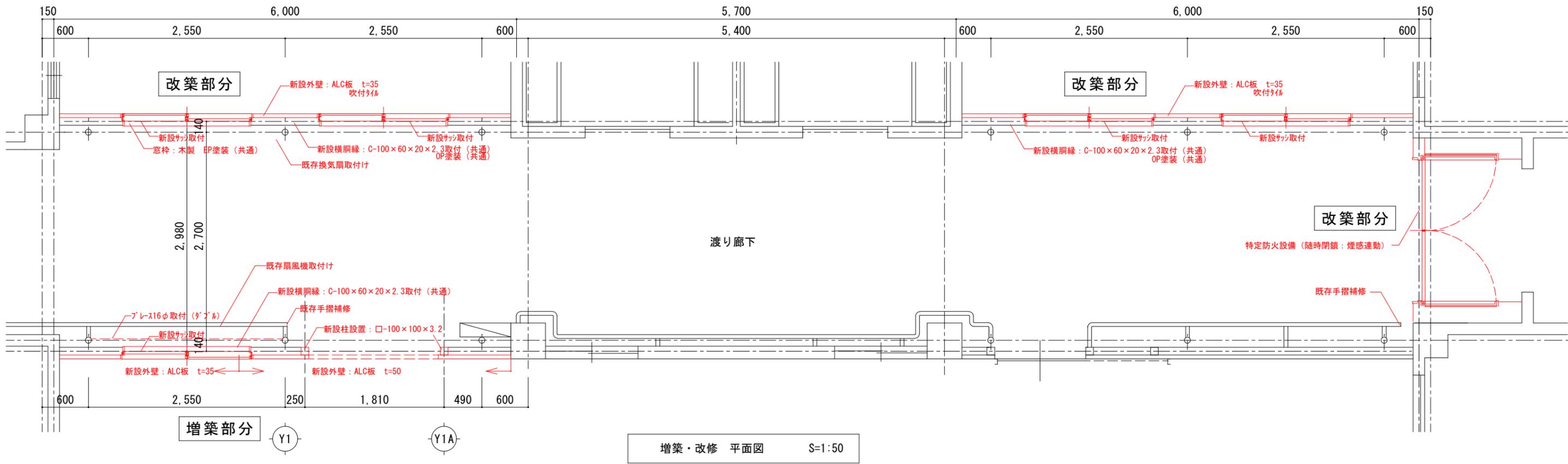
物入

作業支援室5

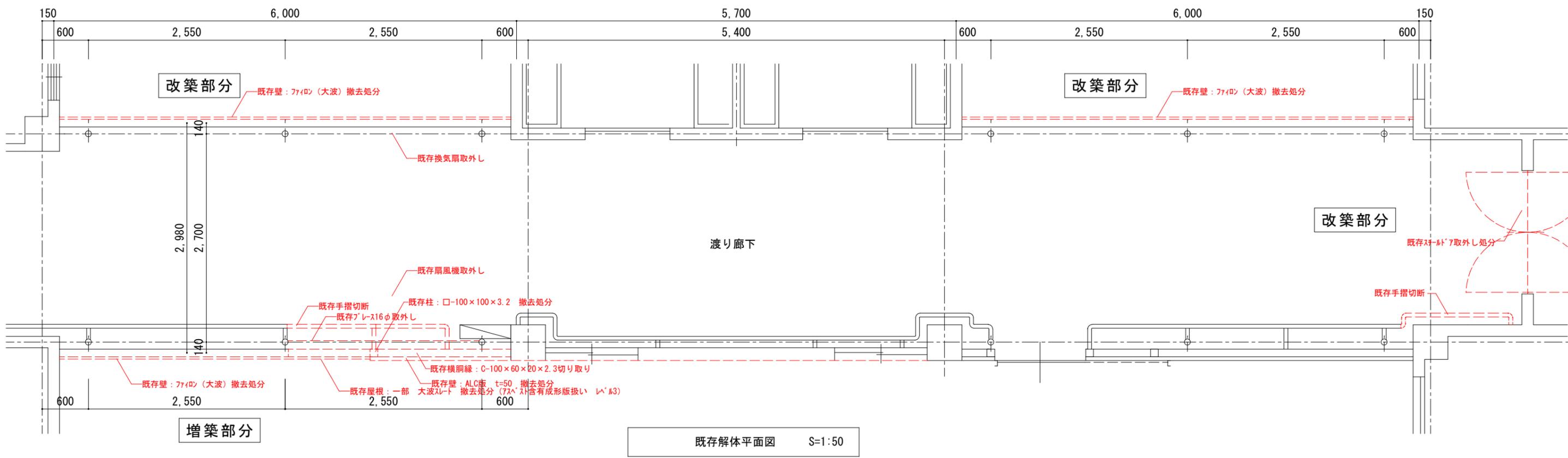
物入

作業支援室5

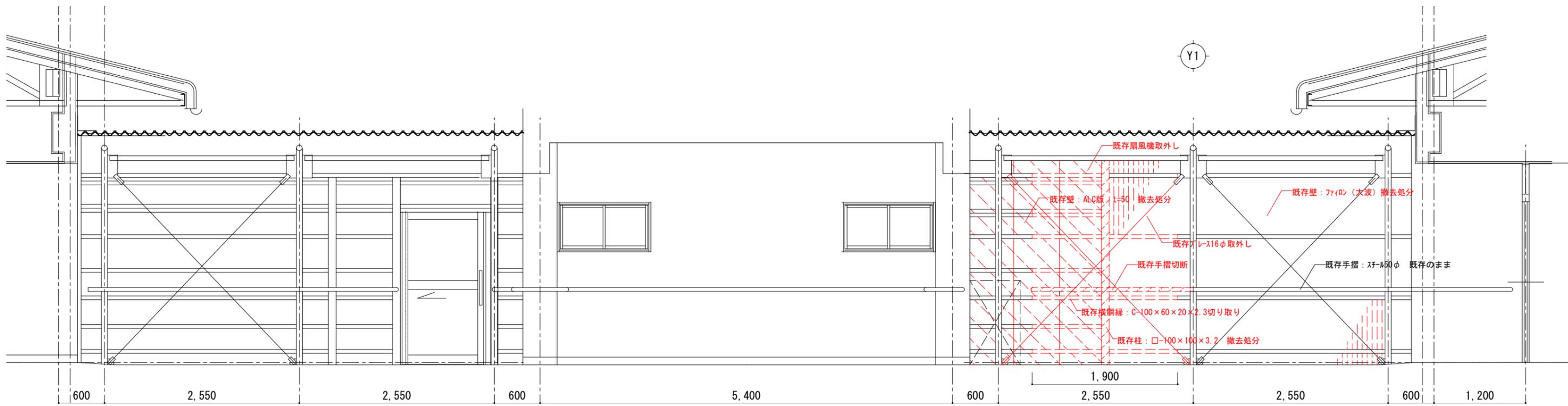
建具記号・名称	AW1 引違い窓	AW2 引違い窓	AW3 引違い窓	AW4 縦スバリ出し窓	AW5 引違い窓	AW6 引違い窓
取付場所・数量	多目的トイレ1 1	脱衣室 1	多目的トイレ2 1	浴室 1	廊下 1	渡り廊下 1
形状	 窯業系サイディング (S下地)	 窯業系サイディング (S下地)	 窯業系サイディング (S下地)	 窯業系サイディング (S下地)	 窯業系サイディング (S下地)	 ALC板35 (S下地)
仕上材料	アルミ カラー	アルミ カラー	アルミ カラー	アルミ カラー	アルミ カラー	アルミ カラー
見込	70	70	70	70	70	70
ガラス	FW6.8+A12+T5 (強化共通)	FW6.8+A12+T5	T5 (型) +A12+T5	T5 (型) +A12+T5	T5+A12+T5	ホリカーホネット板 t=6
付属金物等	網戸 (SUS) クレセント (FL+1500以下) 他標準金物	網戸 (SUS) クレセント 他標準金物	網戸 (SUS) クレセント (FL+1500以下) 他標準金物	オペレーターハンドル (FL+1500以下) 網戸 (SUS) フリ-枠 他標準金物	網戸 (SUS) クレセント (FL+1500以下) 連窓方立 他標準金物	網戸 クレセント 他標準金物
特記事項	住宅用半外付 (防火設備)	住宅用半外付 (防火設備)	住宅用半外付	住宅用半外付	住宅用半外付	住宅用半外付
建具記号・名称	LSD1 壁収納2連引込防火設備	LSD2 自閉式上吊片引きフラッシュ戸				K1 造り付家具
取付場所・数量	廊下 1	廊下・脱衣室 4				脱衣室 1
形状	 常時閉鎖式	 ガラリ				 天板: (ア) 25 ホリ合板フラッシュ 背板: (ア) 25 ホリ合板フラッシュ 棚板: (ア) 25 ホリ合板フラッシュ (可動: タホ付)
仕上材料	化粧鋼板 t0.6 (扉) 鋼板 t1.6 (枠)	化粧鋼板 t0.6 (扉) 鋼板 t1.6 (枠)				
見込	30~ (扉) 170 (枠)	36 (扉) 150 (枠)				
ガラス	PW6.8					
付属金物等	定トルク式 (ダイヤレット) ハンドル L=600、戸当 シリクター錠 キックプレートh=200 (両面) スチールガラリ、付属金物一式	自動閉止引戸金物 (傾斜式) 非常解錠装置付シリクター錠 大型サムターン錠 ハンドル L=600、戸当 スチールガラリ、キックプレートh=200 (両面)				
特記事項	錠は共通 (マスター合わせ)	錠は共通 (マスター合わせ)				



増築・改修 平面図 S=1:50

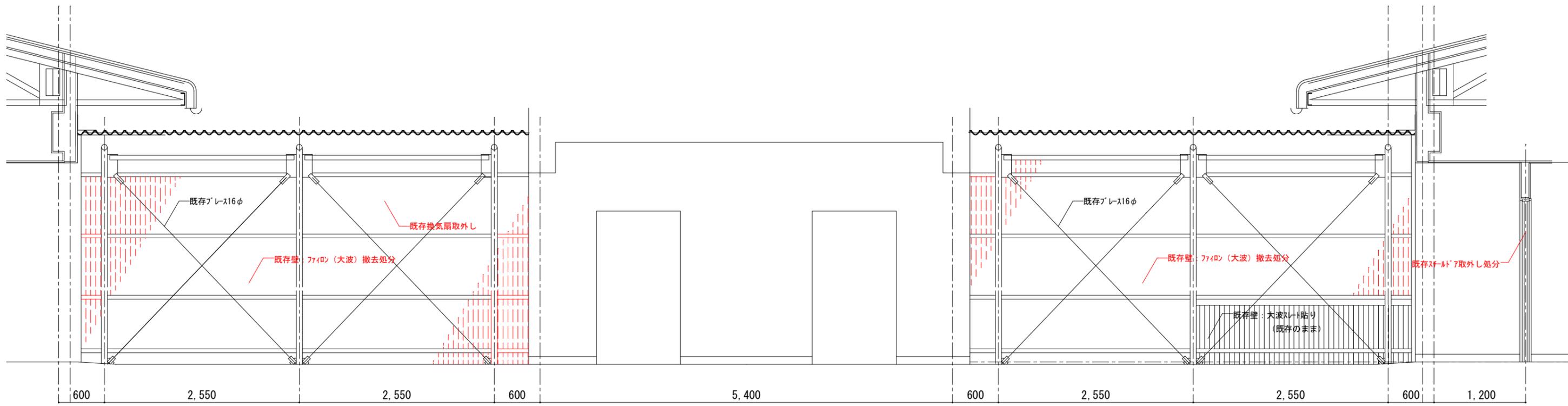


既存解体平面図 S=1:50



既存 東側 展開図 S=1:50

増築部分

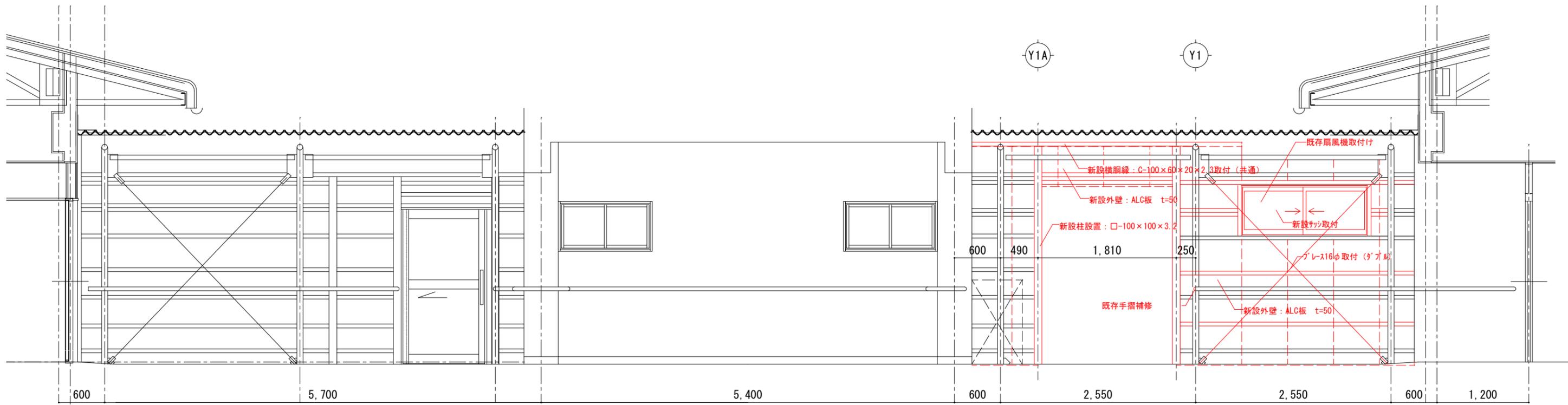


改築部分

既存 西側 展開図 S=1:50

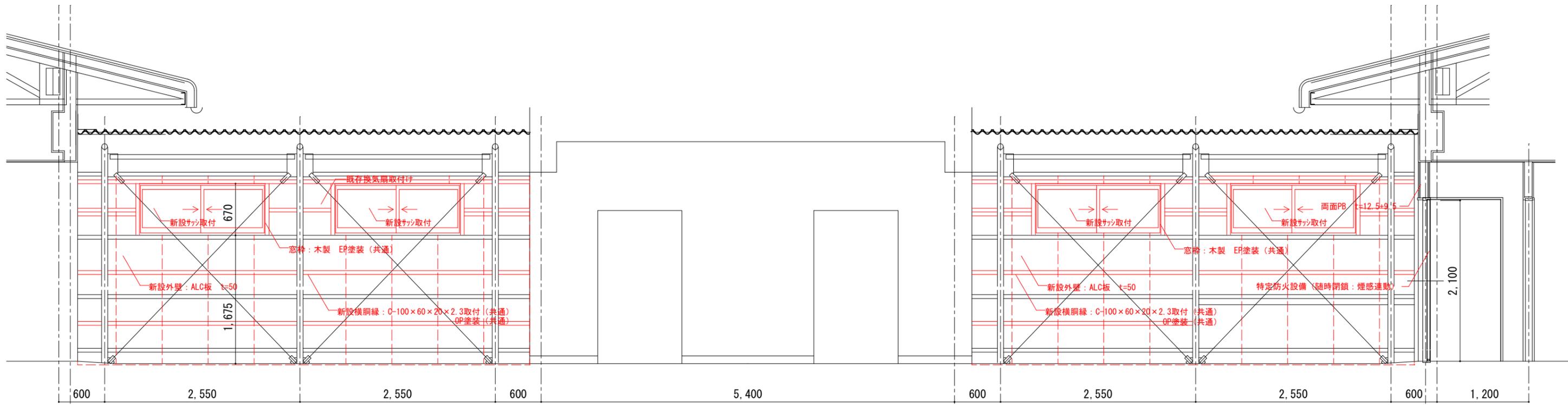
改築部分

	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456・FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 既存改修部分 撤去展開図	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=1/50	R6・9・※



増築 東側 展開図 S=1:50

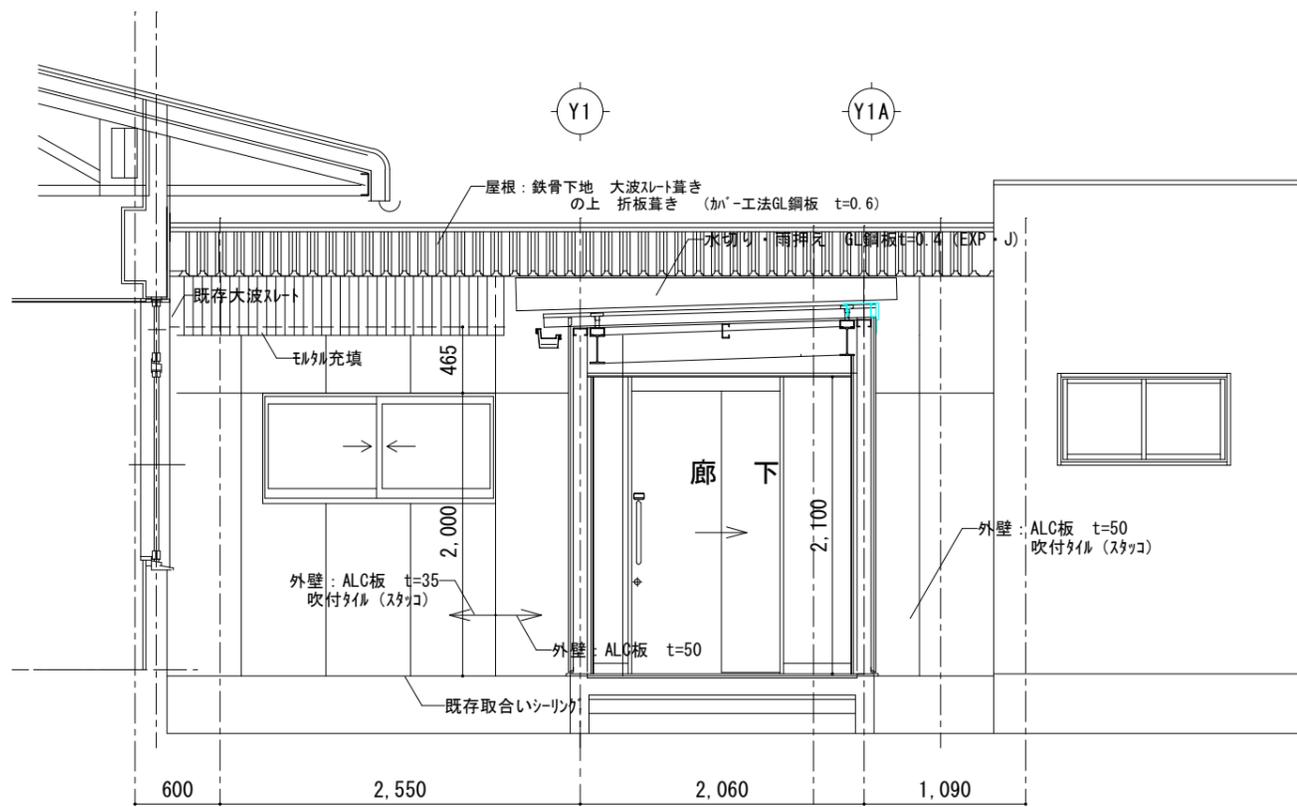
増築部分



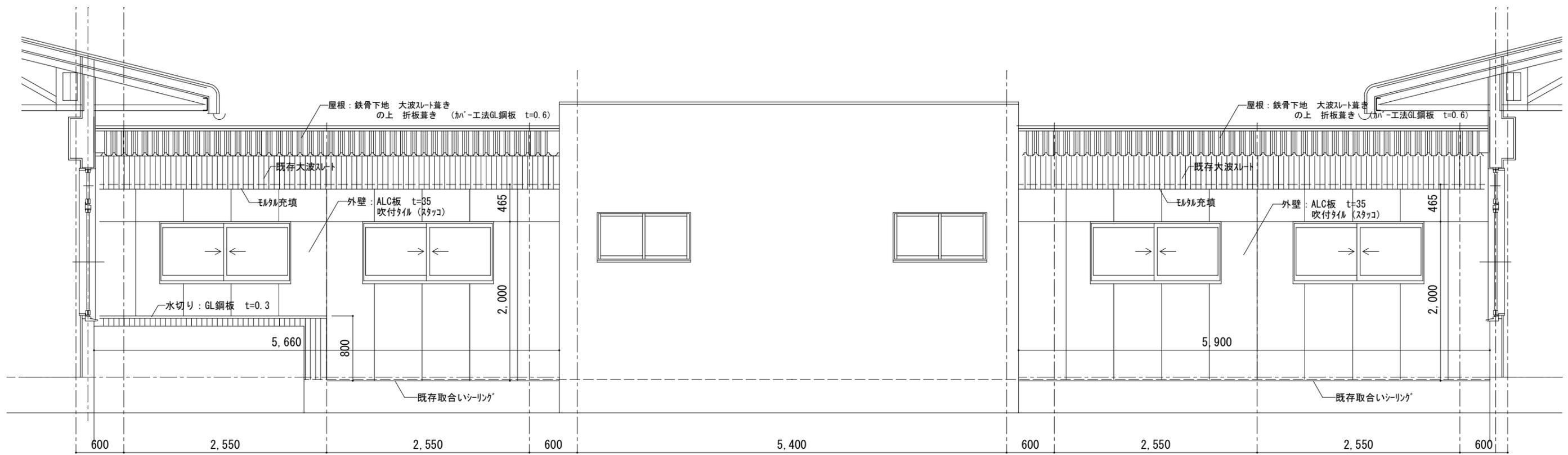
改築部分

改修 西側 展開図 S=1:50

改築部分



東側 立面図 S=1:50 増築部分

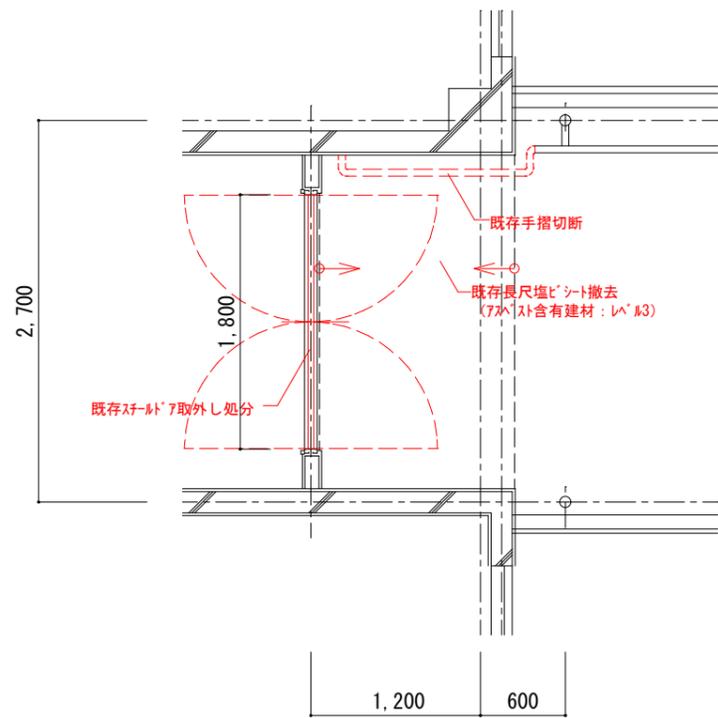


改築部分

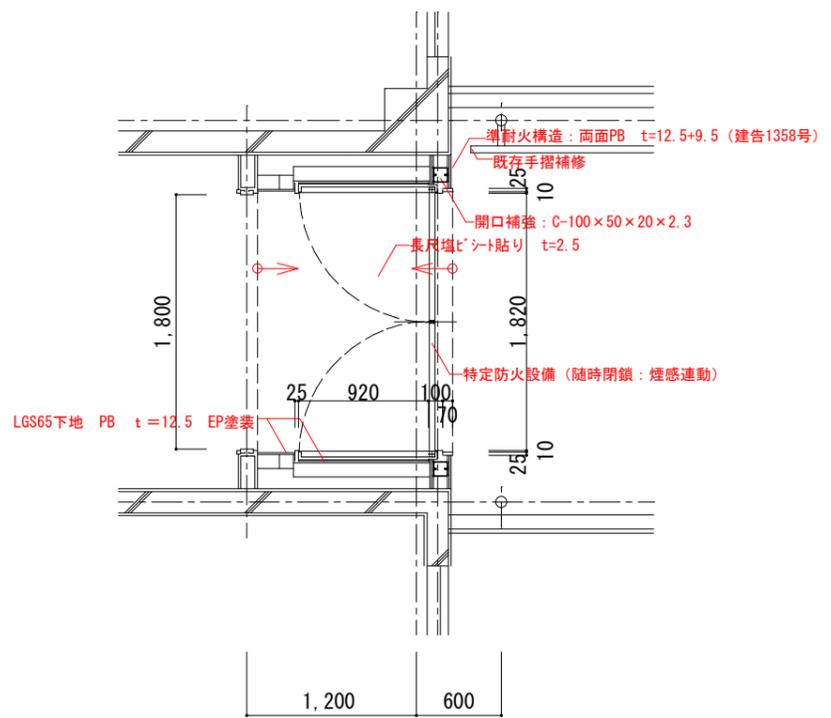
西側 立面図 S=1:50

改築部分

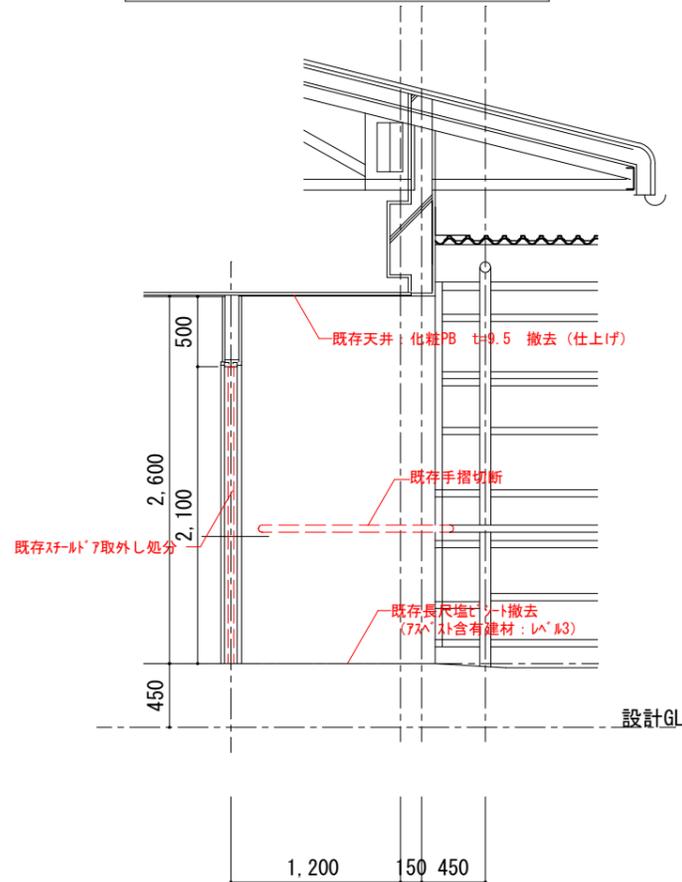
	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456 FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 既存改修部分 改修立面図	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=1/50	R6.9.※



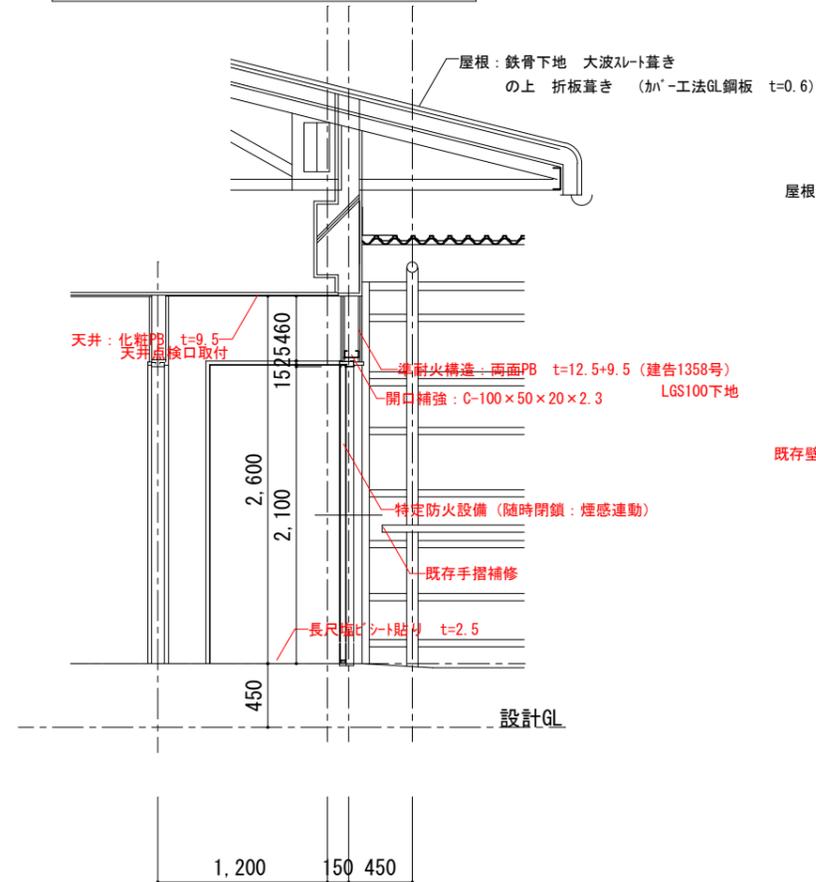
既存 平面詳細図 S=1:50



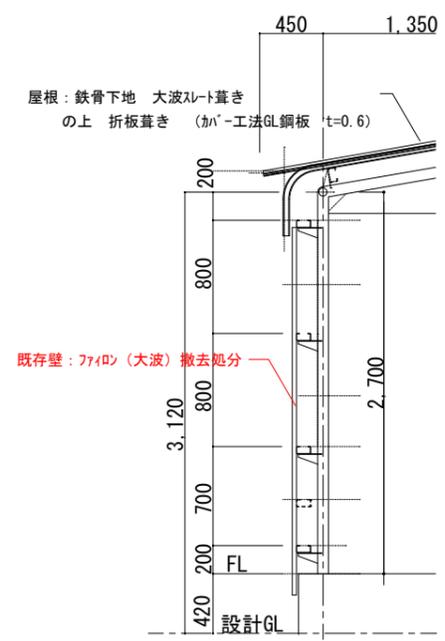
改修 平面詳細図 S=1:50



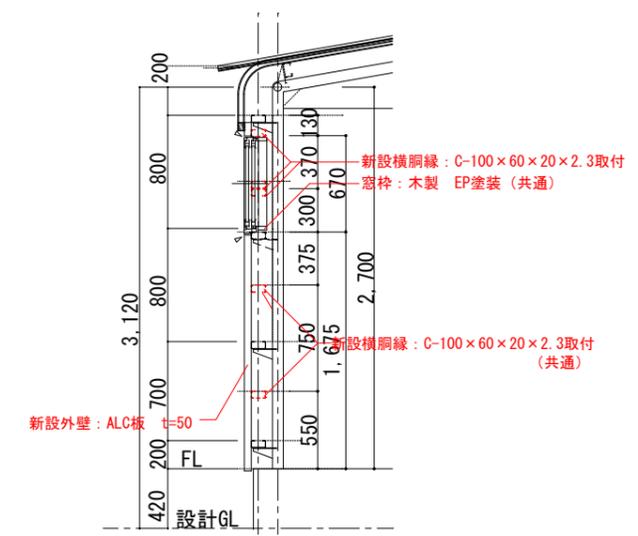
既存 断面図1 S=1:50



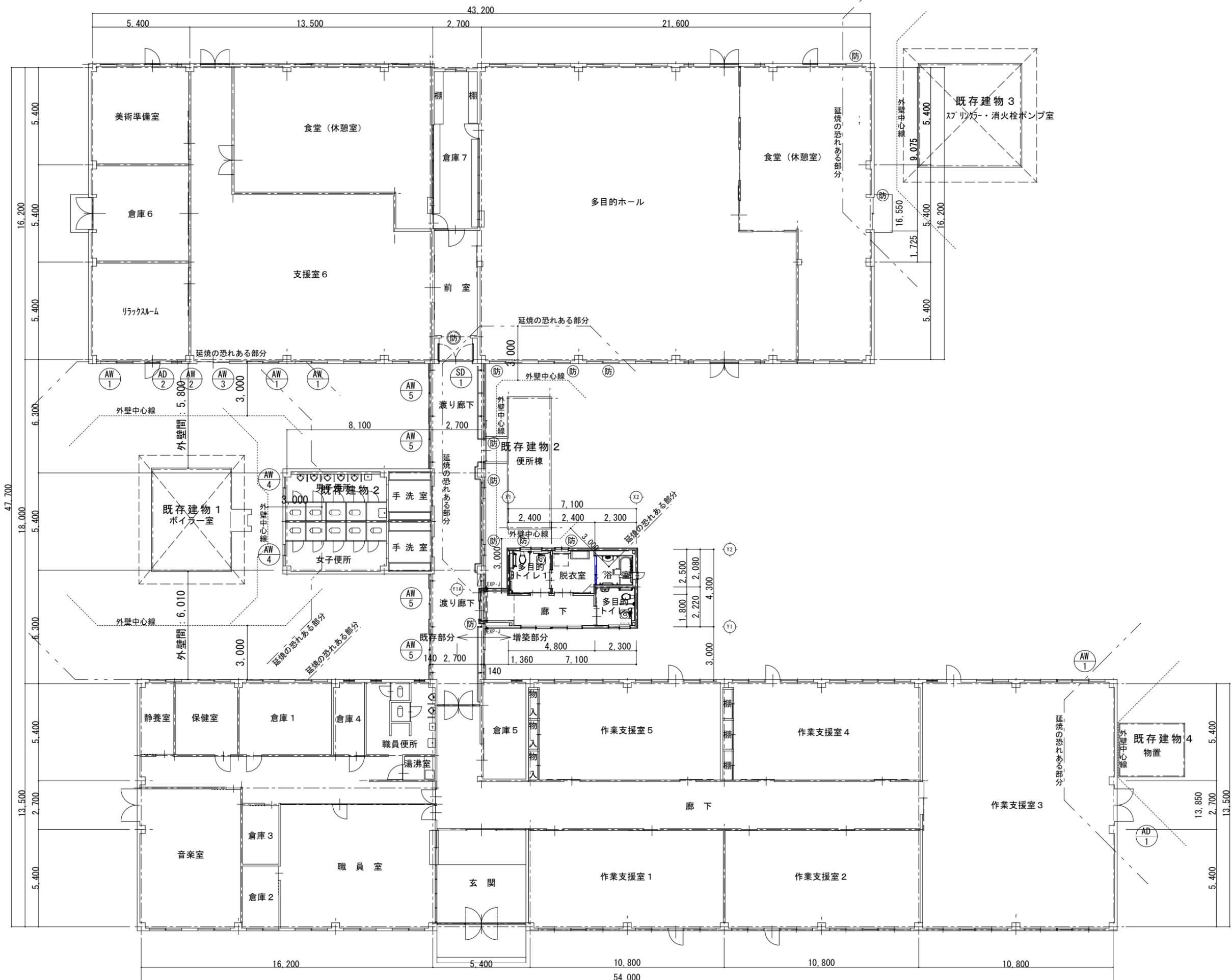
改修 断面図1 S=1:50



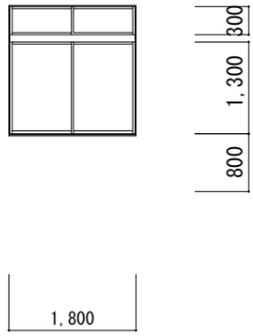
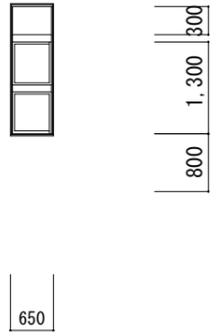
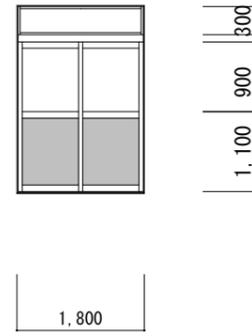
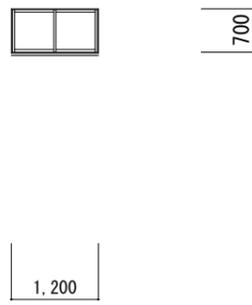
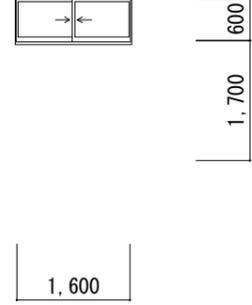
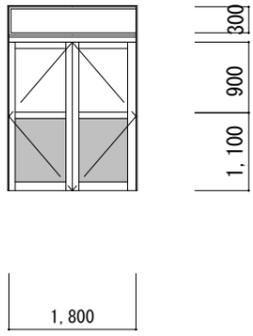
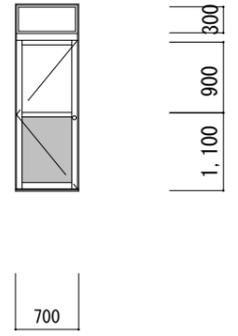
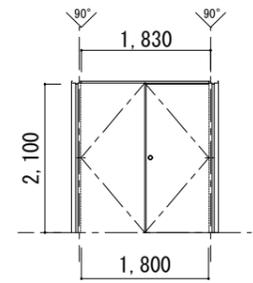
既存 断面図2 S=1:50



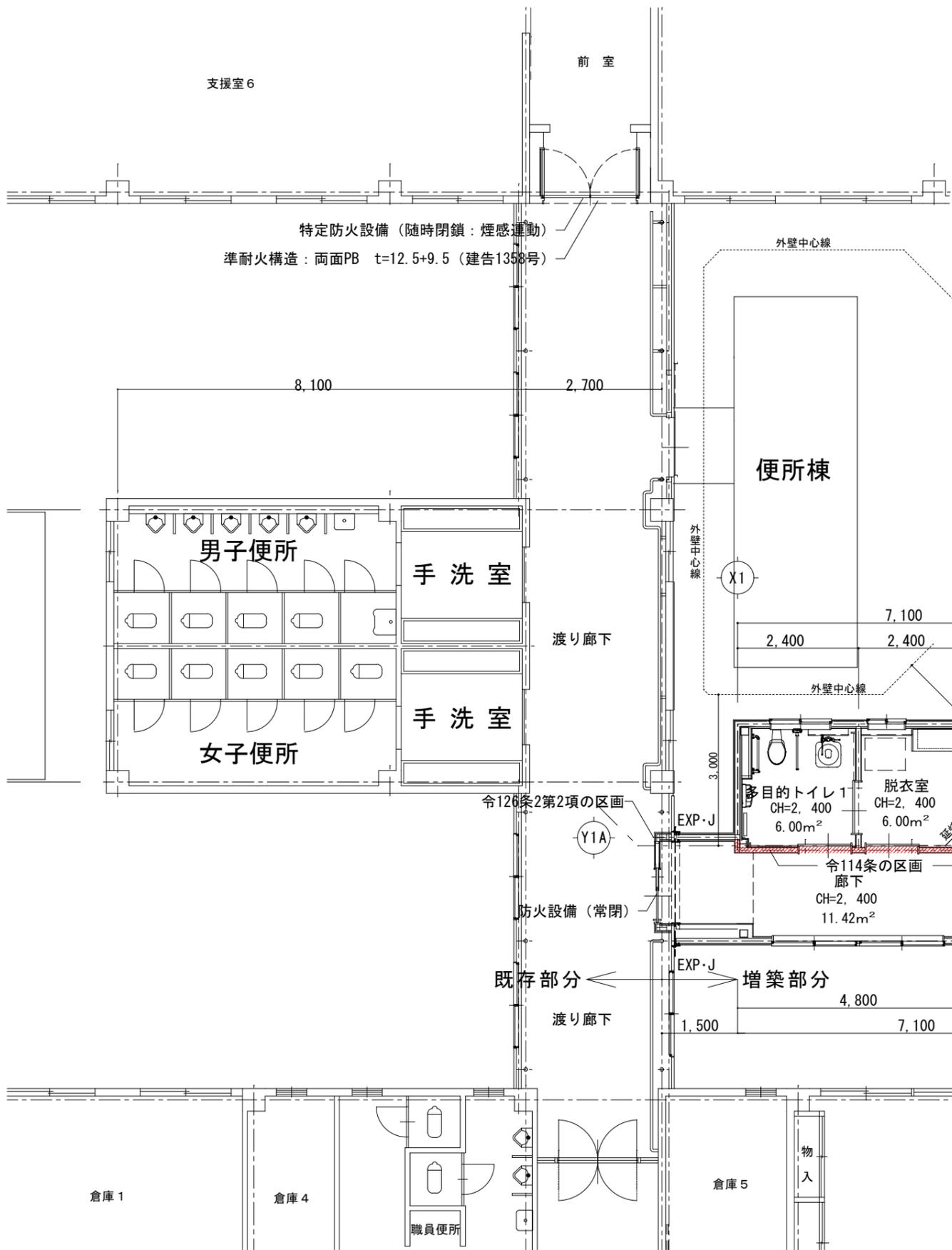
改修 断面図2 S=1:50



- Ⓜ 特定防火設備
- Ⓜ 防火設備

建具記号・名称	AW1 欄間付き引違い窓	AW2 欄間付横スハリ出し窓	AW3 欄間付引違い戸	AW4 引違い窓	AW5 引違い窓	
取付場所・数量	リラクスルーム・支援室3・6 4	リラクスルーム・支援室6 1	リラクスルーム・支援室6 1	男・女子便所 2	渡り廊下 4	
形状						
仕上材料	-	-	-	-	アルミ カラー	
見込	-	-	-	-	70	
ガラス	ホリカーホネット板6→PW6.8	ホリカーホネット板6→PW6.8	ホリカーホネット板6→PW6.8	ホリカーホネット板6→PW6.8	ホリカーホネット板 t=6	
付属金物等					網戸 クレセント 他標準金物	
特記事項	既存硝子入替（硝子押え共）	既存硝子入替（硝子押え共）	既存硝子入替（硝子押え共）	既存硝子入替（硝子押え共）	住宅用半外付	
建具記号・名称	AD1 欄間付き両開き戸	AD2 欄間付き片開き戸			SD1 特定防火設備	
取付場所・数量	支援室3 1	リラクスルーム 1			渡り廊下 1	
形状						
仕上材料	-	-			溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6、防錆塗装 S0P	
見込	-	-			枠：135 戸：40	
ガラス	ホリカーホネット板6→PW6.8	ホリカーホネット板6→PW6.8			ホリカーホネット板 t=6	
付属金物等					ケースハンドル、戸当りゴム ヒンジクローザー、ラッチ式マグネット 他標準金物	
特記事項	既存硝子入替（硝子押え共）	既存硝子入替（硝子押え共）			煙感知器連動式 戸袋付90° 片開きフラッシュドア	





増築部分の居室		第3種換気設備		シックハウス対策					
その他の居室		換気回数0.3回/h以上0.5回/h未満		有効換気量(m3/h)		使用材料は 天井裏等を含め全てF☆☆☆☆とする			
部屋名	床面積(m <sup>2</sup> )	天井高(m)	気積(m <sup>3</sup> )	給気機	排気機	内装仕上部分		建具部分	
脱衣室	6.00	2.40	14.400		VD-13ZAVC7	床・壁・天井	対象外	引込戸	対象外
浴室	3.20	2.195	7.024		75.00	床・壁・天井	対象外	引込戸	対象外
廊下	11.42	2.40	27.08		(三菱)	床・壁・天井	対象外	引込戸	対象外
対象面積計	20.62		48.504		75.00				
対象外	12.71								
増築部分面積	33.33								
【合計】									
対象床面積合計				20.62					
換気対象気積合計				48.50					
有効換気量合計				75.00					
必要換気回数(回/h)				0.30					
必要換気量(m <sup>3</sup> /h)		48.50 x 0.30=14.55		103.66					
有効換気回数(回/h)				48.50/75.00= 0.64					
[判定]				0.30 ≤ 0.64 ∴OK					



■ 建築基準法：開口部の検討 ■

階	室名	床面積(m <sup>2</sup> )	換気面積(1/20)			採光面積(1/20)			排煙面積(1/50):排煙設備			備考	
			必要面積	窓	有効面積	必要面積	窓	有効面積	(採光補正係数)	必要面積	窓		有効面積
1階	浴室	3.20	0.16	OK	0.365×0.90 =0.32	0.16	OK	0.365×0.90×3.0 =0.9855	A=(3.0)	0.01	AW-4	0.365×0.605 =0.22	(壁・天井: 不燃下地不燃仕上)
	脱衣室	6.00	0.30	OK	機械換気設備 5回/h×6.0×2.4=72m <sup>3</sup> /h	0.30	OK	0.74×0.50×3.0 =1.110	A=(3.0)	0.12	AW-2	建設第1436号四ハ(四)	
	多目的トイレ1	6.00			VD-13ZAVC7					0.12	AW-1	1.195×0.40×0.5 =0.23	
	多目的トイレ2	5.10			72m <sup>3</sup> /h≦75m <sup>3</sup> /h					0.10	AW-3	1.195×0.40×0.5 =0.23	
	廊下	11.42								0.22	AW-5	3.340×0.50×0.5 =0.83	

防火上主要間仕切を示す(114条区画)  
PB t=9.5+12.5両面2重張り(小屋裏まで)



構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと 適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 長野県駒ヶ根市
(2) 工事種別 新築
(3) 構造種別 鉄骨造
(4) 階数 増築棟 地下0階 地上1階 塔屋0階
(5) 主要用途 多目的トイレ
(6) 屋上付属物
(7) 特別な荷重
(8) 付帯工事
(9) 増築計画
(10) 構造計算ルート

2. 使用構造材料一覧表

Table with 5 columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質管理強度, スランプ, 備考. Includes sections for concrete, rebar, and steel.

Table with 5 columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, 備考. Lists steel beam and column types.

- (5) ボルト
高力ボルト
中ボルト
アンカーボルト
頭付スタッドボルト

- (6) 屋根、床、壁
ALC版
折版
デッキプレート
キーストンプレート
特殊デッキプレート
屋根:

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
(2) ボーリング標準貫入値、土質構成

Table for soil investigation data with columns for investigation item, material, and plan.

注) 上記表中の資料があるもの、調査計画があるものに○を記入する。

Large table for borehole data with columns for depth, soil type, N value, and test results.

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
(2) 杭基礎

Table for pile foundation details including pile type, material, construction method, and specifications.

Table for pile specifications including pile diameter, design capacity, and depth.

5. 鉄筋コンクリート工事

本標準仕様及びコンクリート構造配筋標準図は、コンクリートの設計基準強度 (Fc) が36N/mm2以下に適用する。

- (1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 型枠

- (3) 型枠
材料
施工
型枠置期間

Table for concrete curing conditions with columns for curing method, temperature, and curing time.

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
(3) 工事監理者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査

Table for joint inspection with columns for inspection location, method, and rate.

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。

- (6) 防錆塗装
(7) 耐火被覆の材料
(8) その他

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと

## 1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号  
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径  
 @...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ  
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

## 2. 鉄筋加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。 キャップタイ 8d以上 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d 以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上				

### (2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235 SD295A SD295B SD345	16φ以下 D16	3d以上
	上記以外の鉄筋	SR235 SD295A SD295B SD345	19φ以上 D19	4d以上
			16φ以下 D16	6d以上
			19φ~25φ D19~D25	
			28φ~32φ D29~D38	8d以上

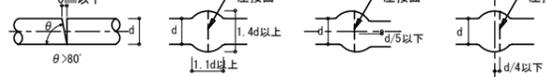
### (3) 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L <sub>1</sub> )
		一般(L <sub>2</sub> )	下ば筋(L <sub>3</sub> )		
SR235	2.1~3.6	35dフックつき	25dフックつき	150mmフックつき	35dフックつき
		1.8以下	45dフックつき		45dフックつき
SD295A SD295B SD345	2.1~3.6	40dまたは30dフックつき	25dまたは15dフックつき	10dかつ150mm以上	40dまたは30dフックつき
		1.8以下	35dフックつき		45dまたは35dフックつき

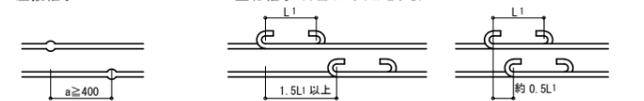
### 継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

### ガス圧接形状

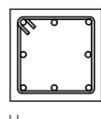


### 圧接継手



### (4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。



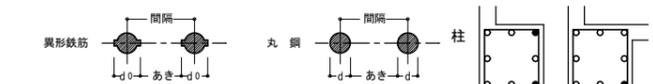
かぶり厚さ

部位	設計かぶり厚さ (mm)	最少かぶり厚さ (mm)	
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ・非耐力壁	40 <sup>(1)</sup>	30 <sup>(20)</sup>
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50 <sup>(2)</sup>	40 <sup>(3)</sup> (30)
	基礎・擁壁	70	60 <sup>(4)</sup>

- 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
- ( ) 内は仕上げがある場合。
- 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

## (5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上  
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



## (6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

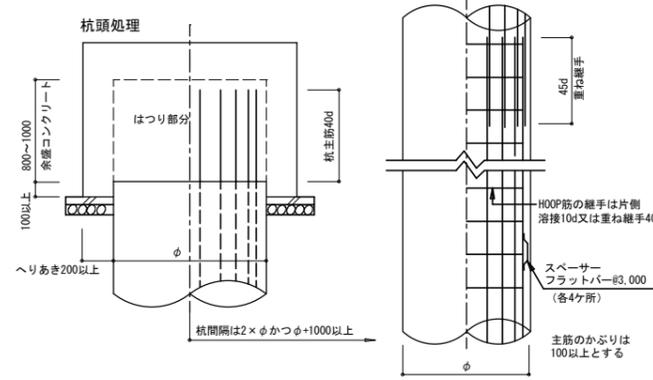
- 丸鋼
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁を除く) の出す部分の鉄筋 (右図参照) 梁
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

## 3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

### (1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

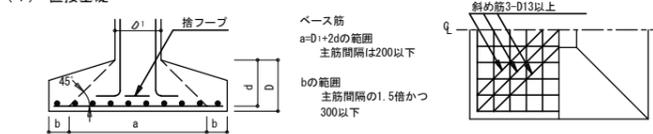
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
	補強筋 HOOPφ150 100以上 基礎下端 コンクリート止め板	但しL≦φの場合 L>φの場合は工事管理者の指示による 補強筋 HOOPφ150 3-D16 基礎下端 4.5°	
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ、500φ、600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13、8-D16、10-D16
HOOP	D10~φ150		

### (2) 現場打ちコンクリート杭

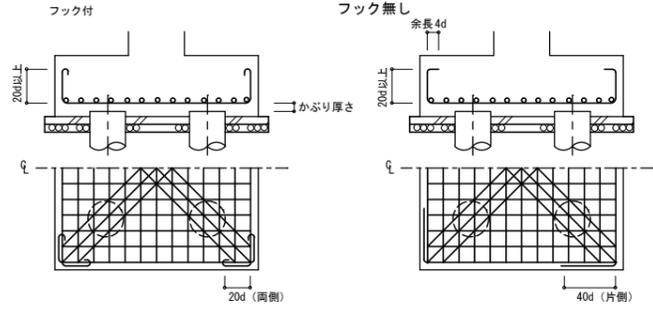


## 4. 基礎

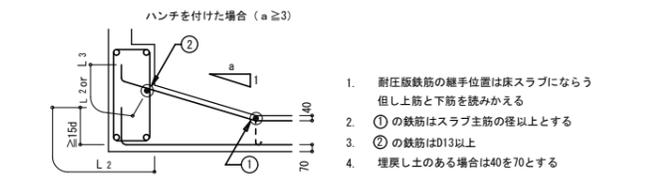
### (1) 直接基礎



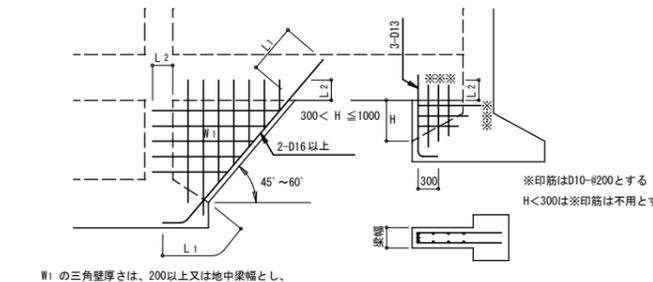
### (2) 杭基礎



## (3) べた基礎

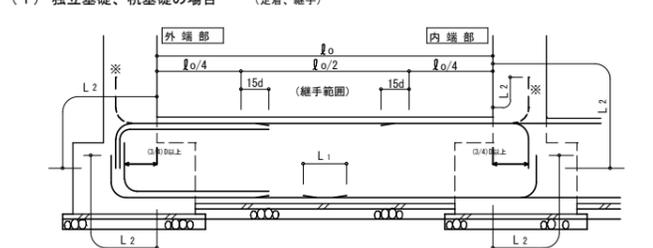


## (4) 基礎接合部の補強

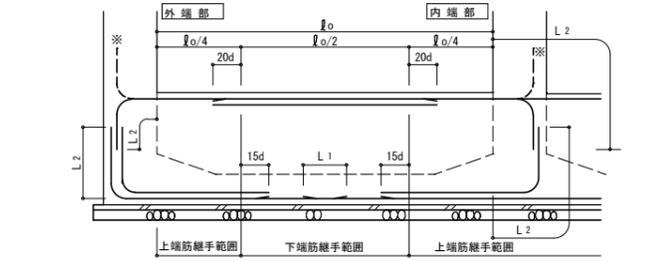


## 5. 地中梁

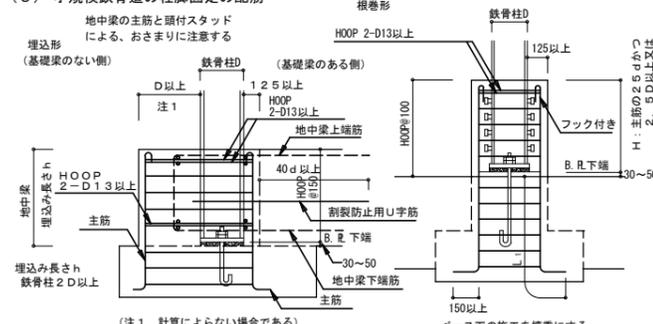
### (1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



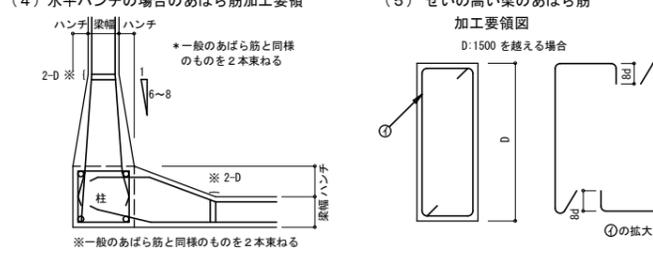
### (2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



### (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

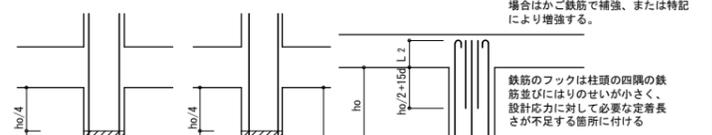


### (4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

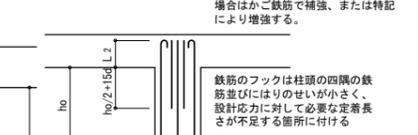


## 6. 柱

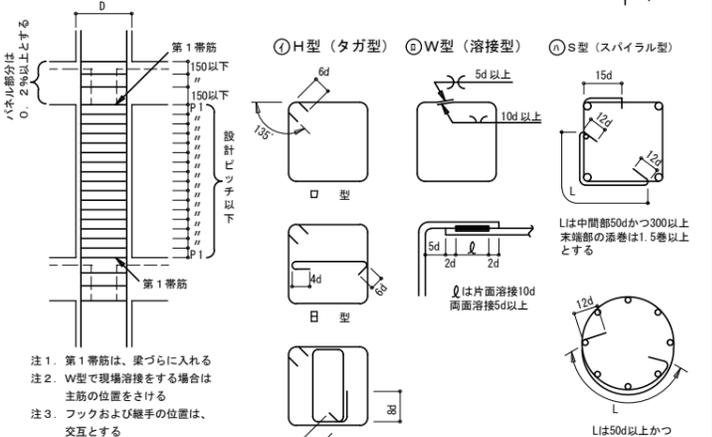
### (1) 柱主筋の継手



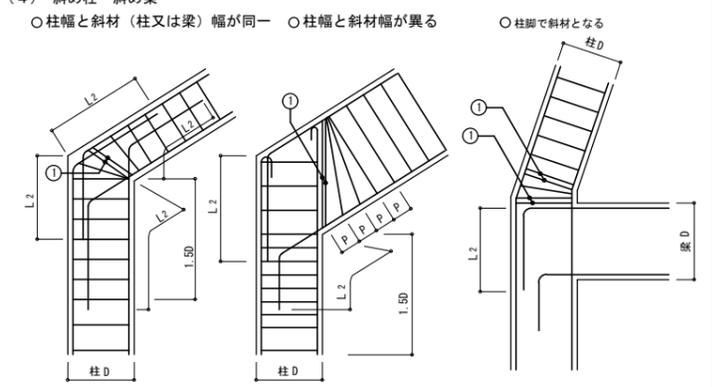
### (2) 柱主筋の定着



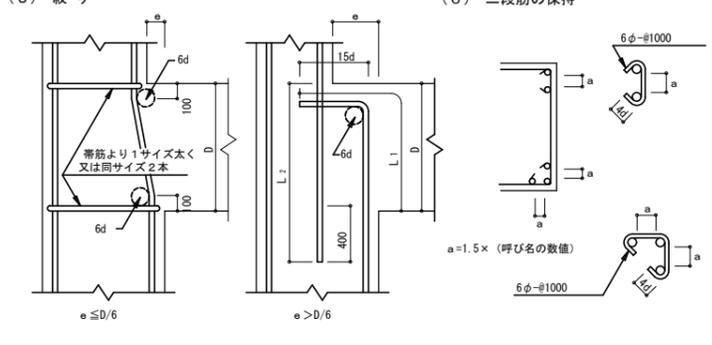
### (3) 帯筋



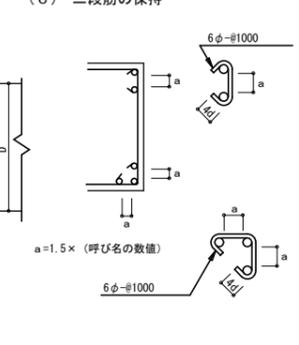
### (4) 斜め柱・斜め梁



### (5) 絞り



### (6) 二段筋の保持



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

※修正箇所は下線を引くこと  
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

## 7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型

(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	D < 600 不要
幅止め筋	D10 (9φ) @1000以内で割り付ける

(6) 片持梁の定着

## 8. 床版

(1) 定着および継手

① 片持床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持スラブ出隅部補強

(4) 床版開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

(5) 床版段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎについて)

## 9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

③ 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

④ 壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入があるとき)

(3) 手摺、パラベット

(4) コンクリートブロック帳壁

(5) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎについて)

## (2) 梁

- 補強筋は、梁主筋の1段落し径 (D16以上) とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100~200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

## 11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

(2) 鉄筋標準配筋

80 ≦ φ ≦ 100	100 < φ ≦ 150	150 < φ ≦ 250
折筋 2-(2-D13)	折筋 2-(2-D13)	斜筋 4-(2-D13)
縦筋 ST 2-D13	縦筋 ST 2-D13-#50	縦筋 ST 2-D13-#50
	横筋 2-(2-D13)	横筋 2-(2-D13)
	上下縦筋 ST 2-D13-#50	上下縦筋 ST 2-D13-#50

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

ウェブレン、ダイヤレン等 日本建築センター評価取得品とする。施行前に計算書を提出し、承認を得ること。

■ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

## 12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)

(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

# 鉄骨構造標準図

(1)

※修正箇所は下線を引くこと

## 1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めを使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者  
溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)又は JIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A ~ 500A (ロ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機  
(ハ) アークエアーガウジング機直流 (ニ) 溶接電流を測定する電流計  
(ヘ) サブマージアーク溶接機一式 (ホ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法  
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)  
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアーガウジング(AAG)
- (d) 溶接姿勢
- (イ) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置  
仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (イ) 溶接施工
- (イ) エンドタブ  
I) 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける  
II) エンドタブの材質は、母材と同質とする  
III) エンドタブの長さは、MC:35mm以上  
NGC, GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より0mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする  
IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金  
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ半径は30~35mmと10mmのダブルールとする  
但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする
- (ニ) ノンスカラップ工法
- (二) 裏はつり  
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う
- (5) 塗装  
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

## 2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位:mm)

(1) スミ肉溶接

t	7以下	8-10	11-13	14-16
S	6	7	10	12

●但し片面溶接の場合はaとする  
●tはt1, t2の小さな方とする  
●余盛は(1+0.15)mm以下とする  
●軸力が加わる場合のaは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所注意到)

R ≤ 2 t/4 ≤ S ≤ 10mm t ≤ t1

t	t > 16mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

①

f = t/4

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強すみ肉溶接を付加するAAG

②

f = t/4

tmm	MC	NGC	GC
6 < t < 12	4.5°	6	6
12 ≤ t < 16	3.5°	9	9
16 ≤ t	3.5°	9	9

●補強すみ肉溶接を付加する

③

f = t/4

のど厚Lmm	余盛の高2mm
t ≤ 4	1
4 < t ≤ 12	2
12 < t ≤ 19	3
19 < t	4

●AAG( )内はGCでF.Hの場合  
●両側に補強すみ肉溶接を付加する

④

f ≥ 0.5mm (ただしa ≥ 15mmのとき4mmとする) 削り面 平継手で板厚が異なるとき a > 4mm

t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F.V

●両側に補強すみ肉溶接を付加する

⑤

f = t/4

tmm	MC	NGC	GC
6 < t < 12	4.5°	6	6
12 ≤ t < 19	3.5°	9	9
19 < t	3.5°	9	9

●両側に補強すみ肉溶接を付加する

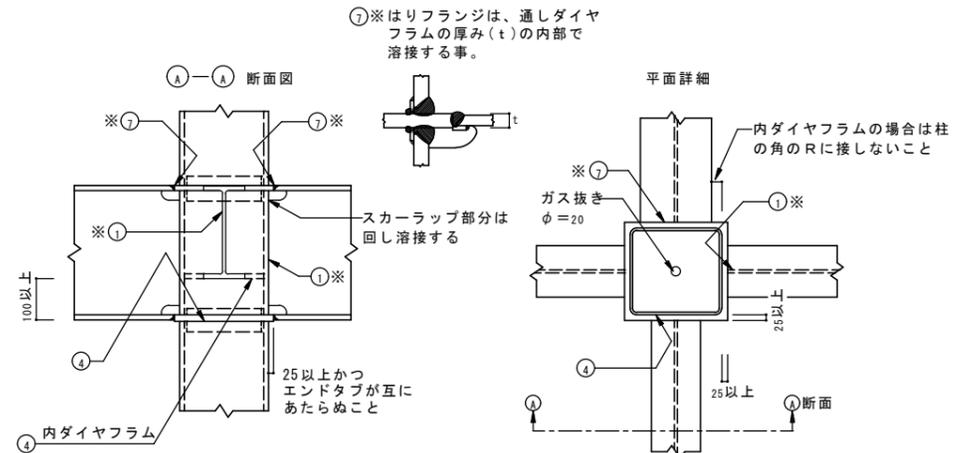
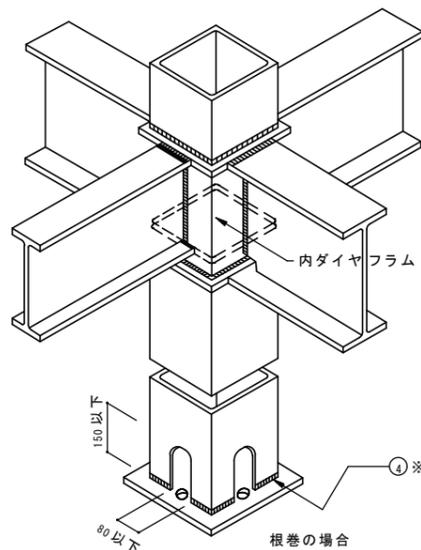
(4) フレア溶接

寸法:mm	φ	B	S
9	7	4	
13	8	4.5	
16	9	5	
19	10	6	
22	11	7	
25	12	8	

●フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする  
●9mm-16mmは、パス以上、19mm以上は2パス以上とする  
溶接傾角度θは30°~40°とする

\*溶接記号番号を○中に記入のこと

## ●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



①※ t > 16mm 場合の溶接は②・又は③~⑤とする。

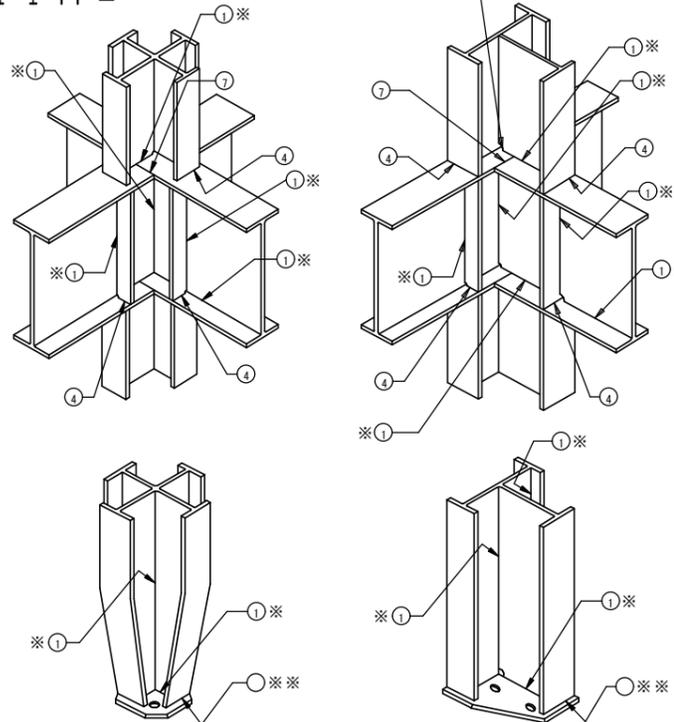
●柱が途中で折れる場合  
及梁成が異なる場合

<柱材料:BCR295, BCP325を使用する場合>  
通しダイヤフラムは、SN490B・C 同等以上の鋼材を使用する。  
通しダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップ以上とする。

## ●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス間温度(°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40 以下	350 以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	WGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40 以下	350 以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	WGA-50W, 50P		

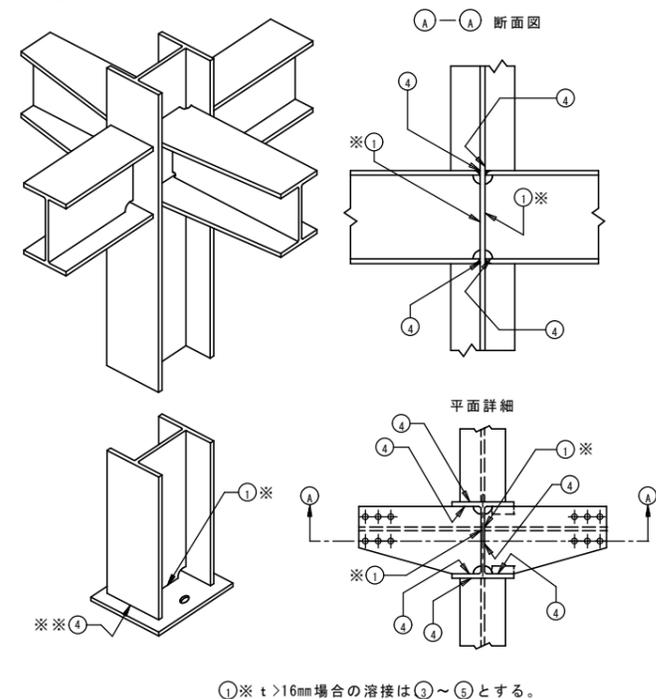
## ●H型



①※ t > 16mm 場合の溶接は、②・又は③~⑤

○※※ 印は設計者が記入すること。

## ●B.H方式



①※ t > 16mm 場合の溶接は③~⑤とする。



### 1. 工法概要

#### 1.1 構成部材

①アンカーボルト ②注入座金 ③Mナット ④ベースパックグラウト(グラウト材) ⑤定着座金 ⑥テンプレート

⑦フレームポスト ⑧フレームベース ⑨ステコンアンカー(コンクリートアンカー) ⑩ベースプレート

(注)上記①-⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。  
(注)上記④-⑥は現場状況により仕様異なる場合がある。

#### 1.2 柱脚の定着方法概要

### 2. 柱

F値(N/mm <sup>2</sup> )	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●
	TSC295	

### 3. 構成部材・寸法

#### 3.1 ベースプレート

●材質 SN490B 【JIS G 3136】

形状 (イ) 形状 (ハ)

#### 3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

#### 3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

#### 3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

#### 3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合 ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

呼び	異形部呼び名	L	X	b	基準強度(N/mm <sup>2</sup> )
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

#### 3.6 フレームベース

i) Aタイプ ii) Cタイプ iii) 特Cタイプ

#### 3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

＜Aタイプ＞ ＜Cタイプ＞ ※根詰納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

### 4. コンクリート柱型

#### 4.1 形状・材質

●形状 柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

●コンクリート 普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とする。

●鉄筋 SD295 (D13, D16) SD345 (D19, D22)

#### 4.2 配筋

●基礎立上がり 基礎立上り高さは50mm以下とする。 ※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

### 5. 工場製作 (溶接)

■組立 ●ベースプレートの中心線(かき線)に柱軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接) ●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔S(mm)		ルート間隔R(mm)		開先角度α(°)		溶接箇所
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
被覆アーク溶接	ガスシールドアーク溶接	6~	7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
			9	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:35		
セルシールドアーク溶接	ガスシールドアーク溶接	6~	6	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
			7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:35		

許容差・記号∞は制限無しを示す。  
2段階きは「鉄骨検査基準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段:括弧内:限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱 ●気温(鋼材表面温度)が5°C以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm)		
		t<32	32≤t<40	40≤t≤50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50°C	50°C
COガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。  
■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

### 6. 工事場施工

#### 6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

#### 6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。  
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。  
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

e1: 柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差
-2 ≤ e1 ≤ 2
基準高さより誤差は
-3 ≤ e ≤ 10

#### 6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。  
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

#### 6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

#### 6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

#### 6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。  
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

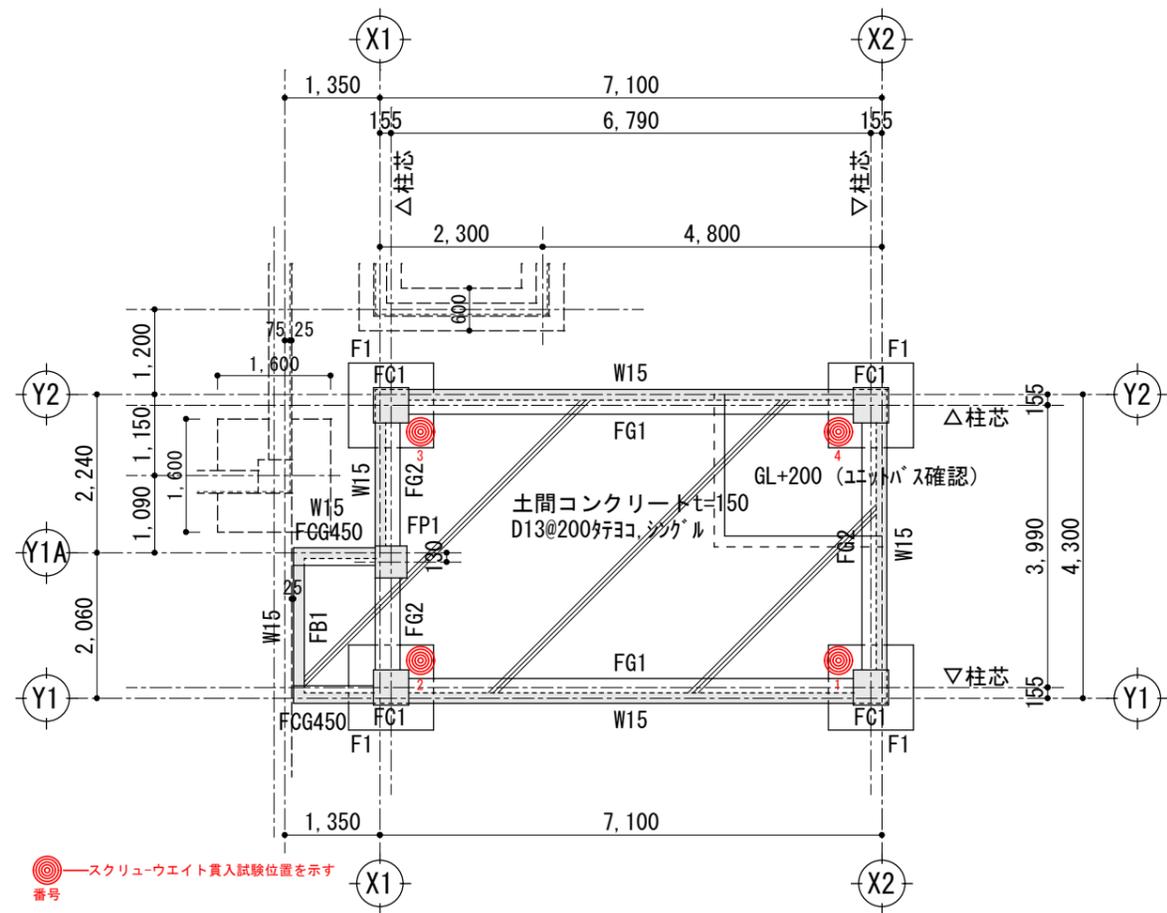
### 7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

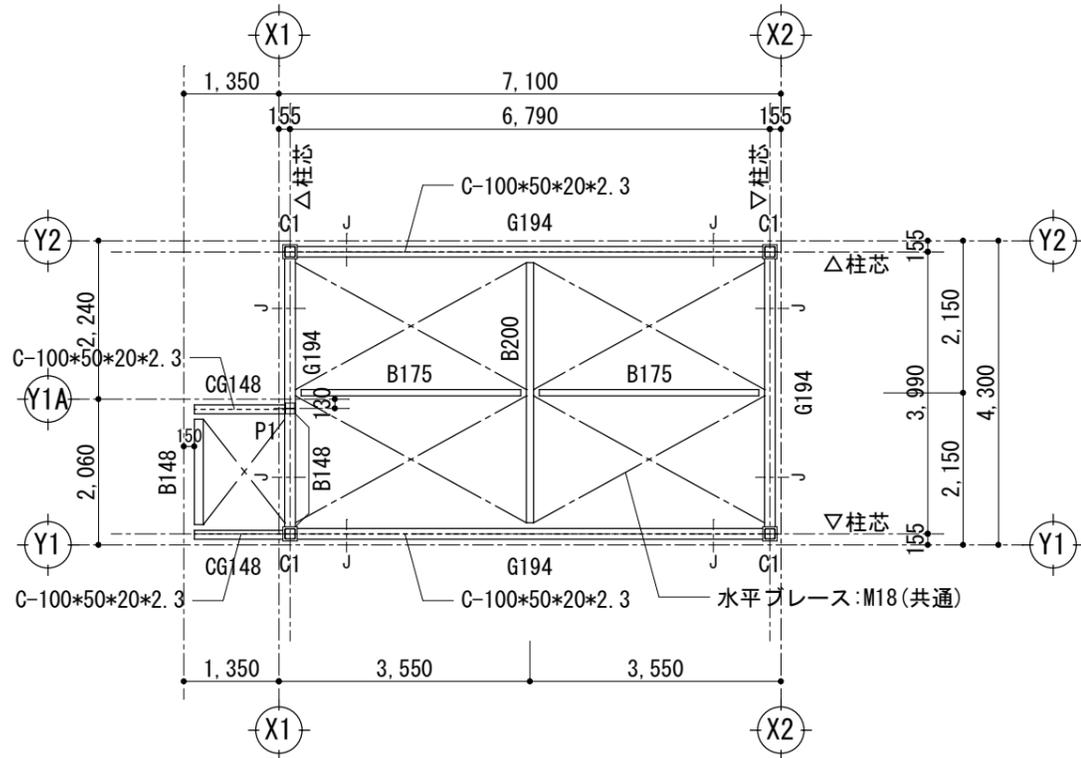
採用	ベースパック記号	柱		ベースプレート					アンカーボルト		コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		J寸法						
		外径(mm)	板厚(mm)	材質	形状	寸法(mm)				本数-呼び	基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	寸法D(mm)		寸法W(mm)		寸法X(mm)									
		a	t	l1	l2	l3	d			標準フレーム	特C	立上り筋	フープ筋	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	標準フレーム	特C	標準フレーム	特C							
●	15-12V	□-150×150	t≤12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13@100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≤12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13@100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≤9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	20-12V	□-200×200	t≤12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≤9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13@100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≤12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13@100	21以上	370	-	270	-	650	150
	25-16V	□-250×250	t≤16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13@100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≤9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13@100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≤12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≤16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≤19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13@100	21以上	340	540	240	400	700	150



●—スクリーウエイト貫入試験位置を示す番号

■ — 立上り壁及柱型上部増打を示す。

基礎伏図



1階柱・R階梁伏図

スクリーウエイト貫入試験

調査名	西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟便所増築工事			測点番号	1					
調査場所	長野県駒ヶ根市下平2901-7			調査年月日	2024年09月27日					
孔口標高	BM -0.33 m			最終貫入深さ	0.76 m					
孔内水位	無	天候	曇り	試験者	南澤 寛					
備考	試験方法 全自動式SWS									
荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事	推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw	換算N値	許容支持力 qa KN/m <sup>2</sup>
1.00	1.00	0.25	25	40	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.25	40	3.6	37.0
1.00	6.0	0.50	25	24	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.50	24	3.6	44.4
1.00	41.0	0.75	25	164	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.75	164	> 12	> 120
1.00	15.0	0.76	1	1500	ガリガリ	強反発	0.76	> 12	> 120	> 120

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

スクリーウエイト貫入試験

調査名	西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟便所増築工事			測点番号	2					
調査場所	長野県駒ヶ根市下平2901-7			調査年月日	2024年09月27日					
孔口標高	BM -0.36 m			最終貫入深さ	1.34 m					
孔内水位	無	天候	曇り	試験者	南澤 寛					
備考	試験方法 全自動式SWS									
荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事	推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw	換算N値	許容支持力 qa KN/m <sup>2</sup>
1.00	7.0	0.25	25	28	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.25	28	3.8	46.8
1.00	6.0	0.50	25	24	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.50	24	3.6	44.4
1.00	8.0	0.75	25	32	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.75	32	4.1	49.2
1.00	96.0	1.00	25	384	ジャリジャリ	確認済み砂質土	1.00	384	> 12	> 120
1.00	72.0	1.25	25	288	ジャリジャリ	確認済み砂質土	1.25	288	> 12	> 120
1.00	46.0	1.34	9	511	ガリガリ	強反発	1.34	> 12	> 120	> 120

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

スクリーウエイト貫入試験

調査名	西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟便所増築工事			測点番号	3					
調査場所	長野県駒ヶ根市下平2901-7			調査年月日	2024年09月27日					
孔口標高	BM -0.28 m			最終貫入深さ	1.09 m					
孔内水位	無	天候	曇り	試験者	南澤 寛					
備考	試験方法 全自動式SWS									
荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事	推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw	換算N値	許容支持力 qa KN/m <sup>2</sup>
1.00	16.0	0.25	25	64	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.25	64	6.2	68.4
1.00	18.0	0.50	25	72	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.50	72	6.8	73.2
1.00	91.0	0.75	25	364	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.75	364	> 12	> 120
1.00	68.0	1.00	25	272	ジャリジャリ	確認済み砂質土	1.00	272	> 12	> 120
1.00	49.0	1.09	9	478	ガリガリ	強反発	1.09	> 12	> 120	> 120

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

スクリーウエイト貫入試験

調査名	西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟便所増築工事			測点番号	4					
調査場所	長野県駒ヶ根市下平2901-7			調査年月日	2024年09月27日					
孔口標高	BM -0.26 m			最終貫入深さ	0.52 m					
孔内水位	無	天候	曇り	試験者	南澤 寛					
備考	試験方法 全自動式SWS									
荷重 Wsw (kN)	半回転数 (Na)	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 Nsw	記事	推定柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw	換算N値	許容支持力 qa KN/m <sup>2</sup>
1.00	36.0	0.25	25	144	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.25	144	14.3	144.0
1.00	195.0	0.50	25	780	ジャリジャリ	確認済み砂質土	0.50	780	> 12	> 120
1.00	30.0	0.52	2	1500	ガリガリ	強反発	0.52	> 12	> 120	> 120

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

▽1FL-BM  
▽設計GL  
▽基礎底盤

基礎リスト S=1/50	
符号	F 1
▽1FL	
▽設計GL	
△基礎天端	
形状	

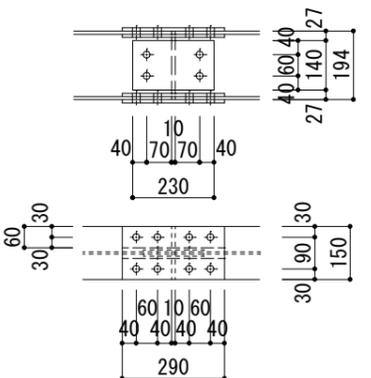
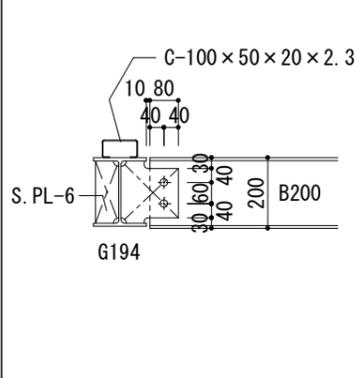
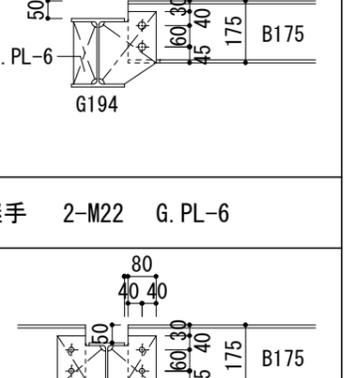
柱型リスト S=1/30		
符号	FC 1	FP 1
形状		
立上り筋	12-D16 (SD295)	8-D19 (SD345)
HOOP	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)
備考	TOP. HOOP 3-D13 上部補強かご鉄筋: 4-D13 HOOP-D13@100	TOP. HOOP 3-D13 上部補強かご鉄筋: 4-D13 HOOP-D13@100

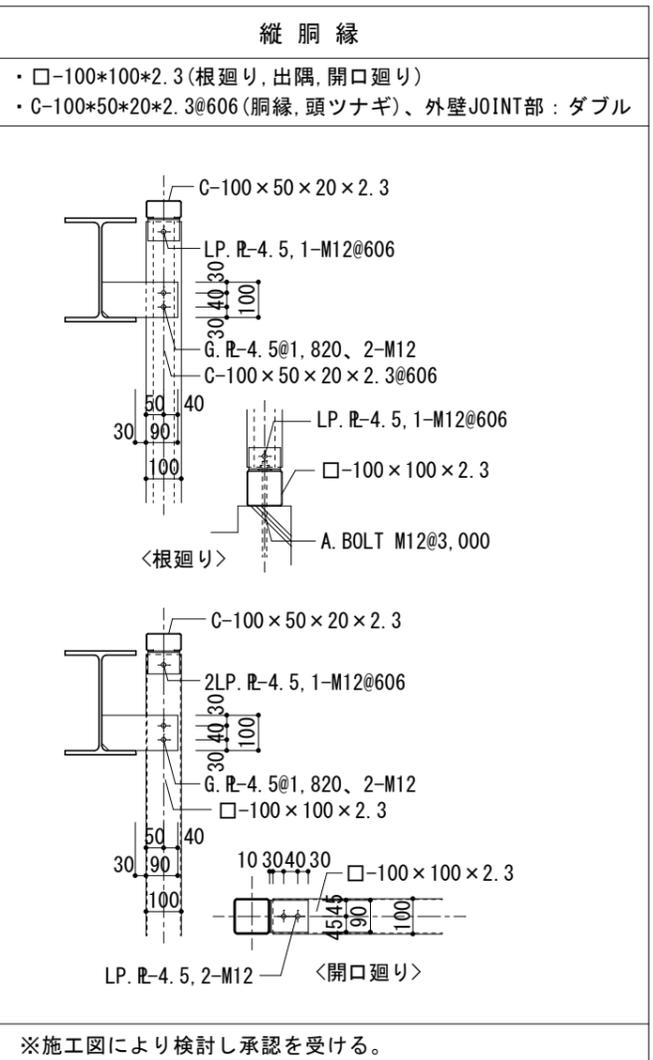
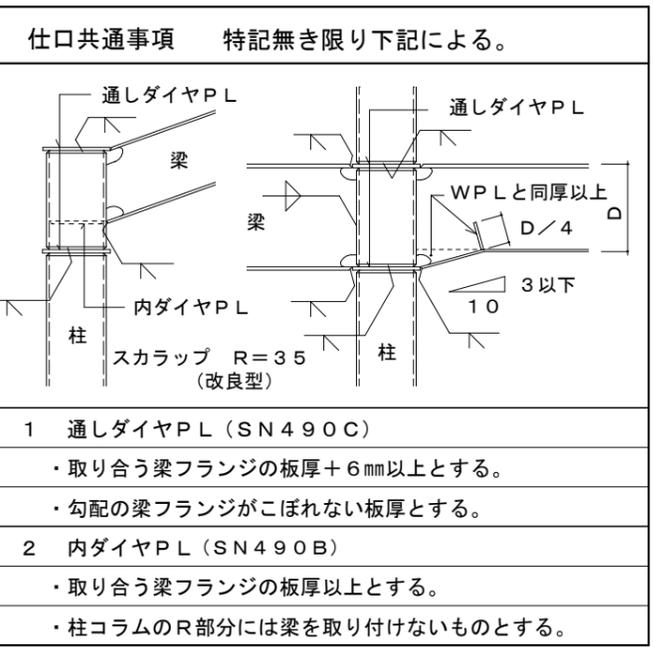
柱部材リスト S=1/30		
符号	C 1	P 1
形状		
▽設計GL		
△基礎天端		
鉄骨	□-150×150×6×12 (STKR400)	H-150×150×7×10×8 (SN400B)
ベースパック仕様	ベースパック 15-12V	-
ベースプレート	300×300×28	300×300×22 (SN490)
アンカーボルト	4-M27 (BPM-SD490)	4-M16 (ABR400) L=400 DN 丸型定着板48φ t=10mm
備考	DF. PL-19 (SN490C)	PL-9 (SN400B)

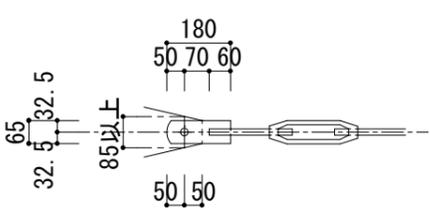
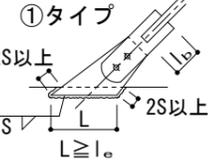
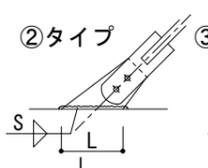
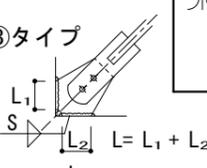
地中梁リスト S=1/30				
巾止筋: D10-@1,000				
符号	FG 1	FG 2	FCG 4 5 0	FB 1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
▽1FL				
▽設計GL				
△基礎天端				
形状				
B × D	350 × 600	350 × 600	250 × 450	250 × 450
上端筋	3-D22	2-D22	2-D16	1-D16
下端筋	3-D22	2-D22	2-D16	1-D16
スターラップ	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	-
腹筋	2-D10	2-D10	-	-
備考				

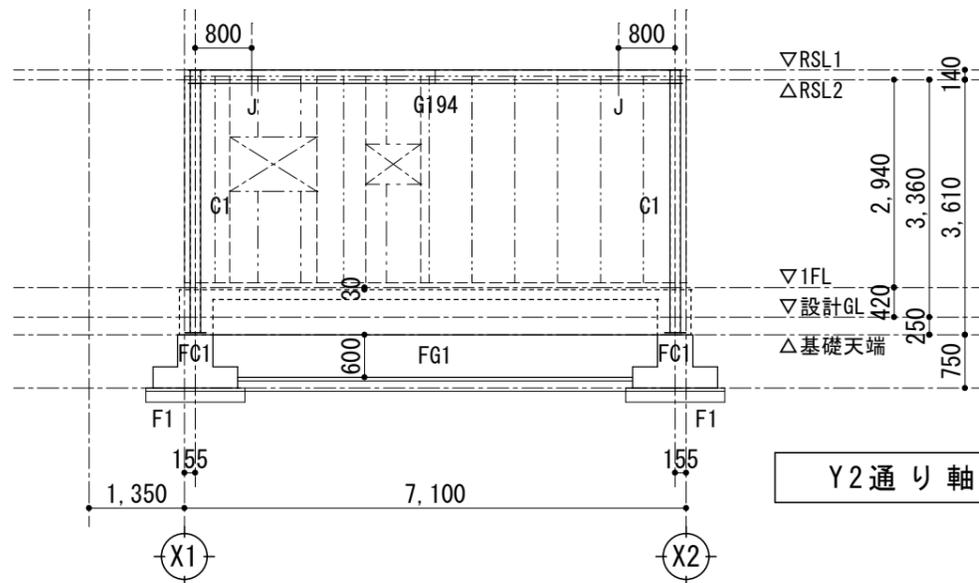
スラブリスト						
符号	厚さ	位置	短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	端部補強筋	備考
土間 コンクリート	150	シングル	D13 @200	D13 @200	1-D13	

使用材料等	
材料名	種類
鉄筋	D10~D16 : SD295A
	D19~D25 : SD345
躯体コンクリート	Fc = 21 N/mm2
土間コンクリート	Fc = 21 N/mm2
捨てコンクリート	Fc = 18 N/mm2
地耐力	

鉄骨部材リスト S=1/20		■継手添板:SN400B	■ボルト:HTB-S10T			
		■参考文献:鉄骨構造標準接合部委員会SCSS-H97				
符号	G194	CG148	B200	B175	B148	
鉄骨	H-194×150×6×9×8	H-148×100×6×9×8	H-200×100×5.5×8×8	H-175×90×5×8×8	H-148×100×6×9×8	
継手						
	フランジ	16-M20 2R-9x150x290 4R-9x60x290	継手 2-M22 G.PL-9	継手 2-M22 G.PL-6	継手 2-M16 G.PL-6	継手 2-M16 G.PL-6
	ウェブ	4-M20 2R-6x140x230				
備考	梁鋼種:SN400B		梁鋼種:SN400B		梁鋼種:SS400	

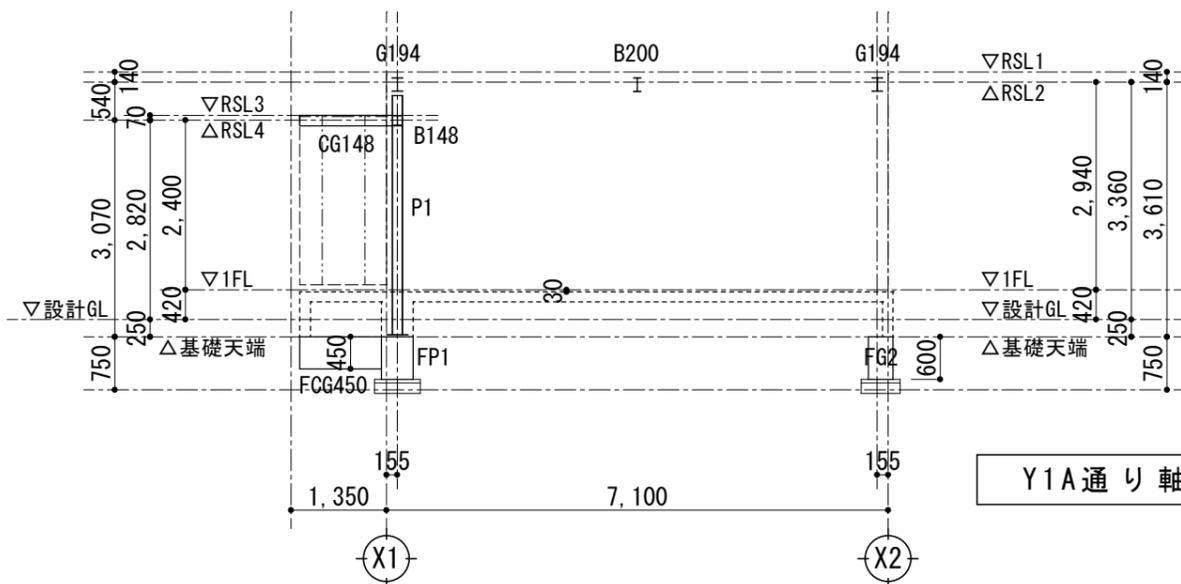


ブレース部材リスト S=1/20		■ブレース鋼種:SNR400B PL類:SN400B	丸鋼...JIS規格品準拠																																																																																																																																																																					
		■ボルト:特記なきはHTB-S10T																																																																																																																																																																						
符号	RB-18	ガセットプレートの種類 (l <sub>e</sub> :有効溶接長さ)																																																																																																																																																																						
部材	M18	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部材 BAR</th> <th colspan="2">羽子板</th> <th rowspan="2">GPL</th> <th colspan="7">溶接</th> </tr> <tr> <th>t x B x L</th> <th>HTB</th> <th colspan="2">FB</th> <th colspan="5">G. PL</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>サイズ</td> <td>S</td> <td>l<sub>b</sub></td> <td>サイズ</td> <td>S</td> <td>(l<sub>e</sub>)</td> <td colspan="3">L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M14</td> <td>FB-6 x 50 x 150</td> <td>1-M16</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>50</td> <td>6</td> <td>60</td> <td>61</td> <td>43</td> <td>55</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M16</td> <td>FB-6 x 50 x 160</td> <td>1-M16</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>55</td> <td>8</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>56</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M18</td> <td>FB-9 x 65 x 180</td> <td>1-M20</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>60</td> <td>8</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>56</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M20</td> <td>FB-9 x 65 x 195</td> <td>1-M20</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>75</td> <td>8</td> <td>80</td> <td>97</td> <td>65</td> <td>81</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M22</td> <td>FB-9 x 75 x 215</td> <td>1-M22</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>85</td> <td>10</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>70</td> <td>90</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M24</td> <td>FB-9 x 75 x 265</td> <td>2-M20</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>85</td> <td>10</td> <td>100</td> <td>112</td> <td>76</td> <td>96</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M27</td> <td>FB-9 x 90 x 275</td> <td>2-M20</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>90</td> <td>10</td> <td>100</td> <td>145</td> <td>93</td> <td>113</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M30</td> <td>FB-12 x 90 x 295</td> <td>2-M22</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>95</td> <td>10</td> <td>103</td> <td>177</td> <td>109</td> <td>129</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M33</td> <td>FB-12 x 100 x 315</td> <td>2-M22</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>110</td> <td>10</td> <td>127</td> <td>217</td> <td>129</td> <td>149</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				部材 BAR	羽子板		GPL	溶接							t x B x L	HTB	FB		G. PL									サイズ	S	l <sub>b</sub>	サイズ	S	(l <sub>e</sub> )	L													①	②	③	M14	FB-6 x 50 x 150	1-M16	6	6	50	6	60	61	43	55			M16	FB-6 x 50 x 160	1-M16	9	7	55	8	80	80	56	72			M18	FB-9 x 65 x 180	1-M20	9	8	60	8	80	80	56	72			M20	FB-9 x 65 x 195	1-M20	9	8	75	8	80	97	65	81			M22	FB-9 x 75 x 215	1-M22	9	9	85	10	80	100	70	90			M24	FB-9 x 75 x 265	2-M20	12	10	85	10	100	112	76	96			M27	FB-9 x 90 x 275	2-M20	12	11	90	10	100	145	93	113			M30	FB-12 x 90 x 295	2-M22	12	14	95	10	103	177	109	129			M33	FB-12 x 100 x 315	2-M22	12	15	110	10	127	217	129	149		
部材 BAR	羽子板		GPL	溶接																																																																																																																																																																				
	t x B x L	HTB		FB		G. PL																																																																																																																																																																		
				サイズ	S	l <sub>b</sub>	サイズ	S	(l <sub>e</sub> )	L																																																																																																																																																														
										①	②	③																																																																																																																																																												
M14	FB-6 x 50 x 150	1-M16	6	6	50	6	60	61	43	55																																																																																																																																																														
M16	FB-6 x 50 x 160	1-M16	9	7	55	8	80	80	56	72																																																																																																																																																														
M18	FB-9 x 65 x 180	1-M20	9	8	60	8	80	80	56	72																																																																																																																																																														
M20	FB-9 x 65 x 195	1-M20	9	8	75	8	80	97	65	81																																																																																																																																																														
M22	FB-9 x 75 x 215	1-M22	9	9	85	10	80	100	70	90																																																																																																																																																														
M24	FB-9 x 75 x 265	2-M20	12	10	85	10	100	112	76	96																																																																																																																																																														
M27	FB-9 x 90 x 275	2-M20	12	11	90	10	100	145	93	113																																																																																																																																																														
M30	FB-12 x 90 x 295	2-M22	12	14	95	10	103	177	109	129																																																																																																																																																														
M33	FB-12 x 100 x 315	2-M22	12	15	110	10	127	217	129	149																																																																																																																																																														
断面		<p>①タイプ</p>  <p>2S以上</p> <p>L ≥ l<sub>e</sub></p> <p>②タイプ</p>  <p>L ≥ l<sub>e</sub> / 2 + 2S</p> <p>③タイプ</p>  <p>L = L<sub>1</sub> + L<sub>2</sub></p> <p>L ≥ l<sub>e</sub> / 2 + 4S</p>																																																																																																																																																																						
継手	GR-9 HTB 1-M20 羽子板R-9																																																																																																																																																																							
備考																																																																																																																																																																								

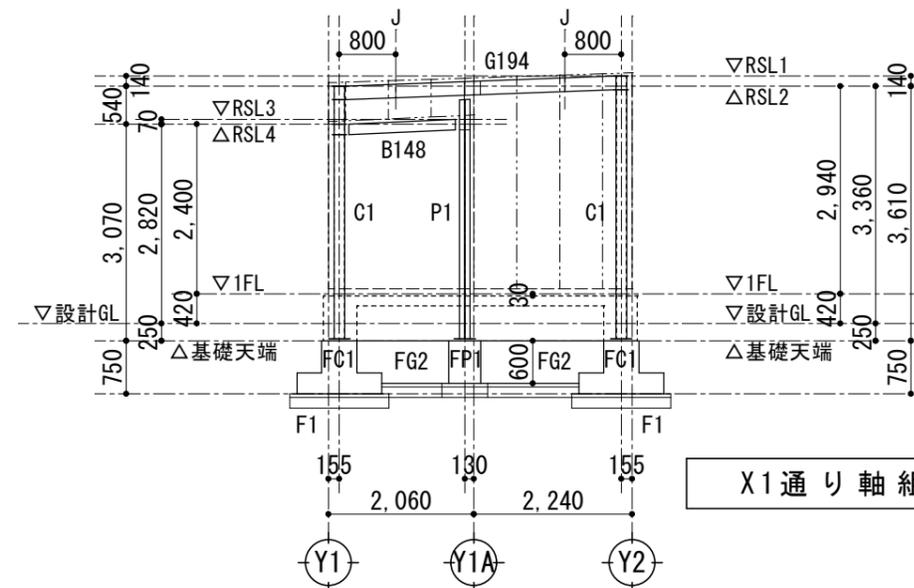


Y2通り軸組図

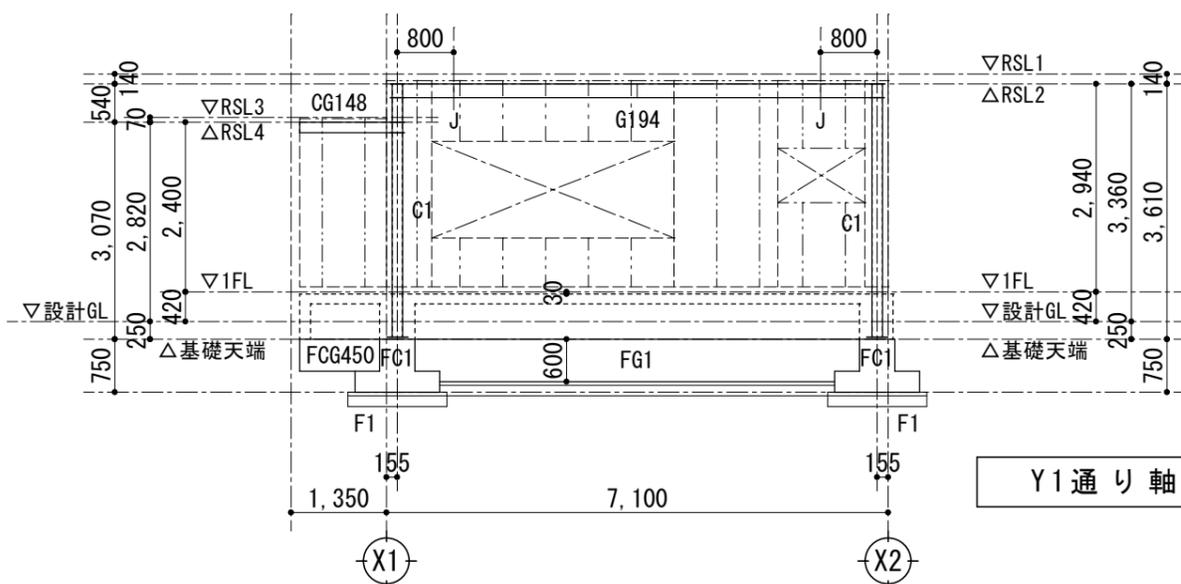
凡例 (胴縁)	
-----	□-100*100*2.3 (根廻り, 出隅, 開口廻り)
-----	C-100*50*20*2.3@606 (胴縁, 頭ツナギ) ※外壁ジョイント部は、ダブルとする。



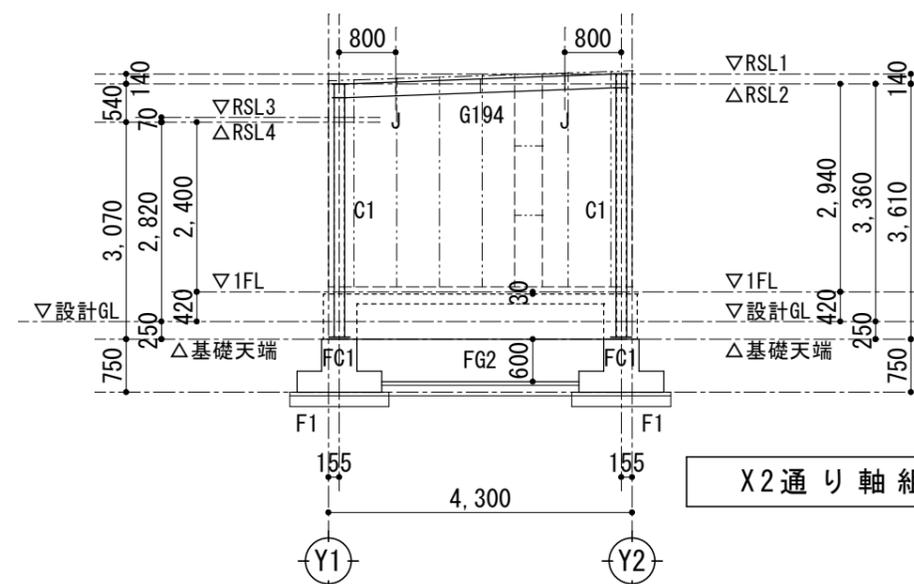
Y1A通り軸組図



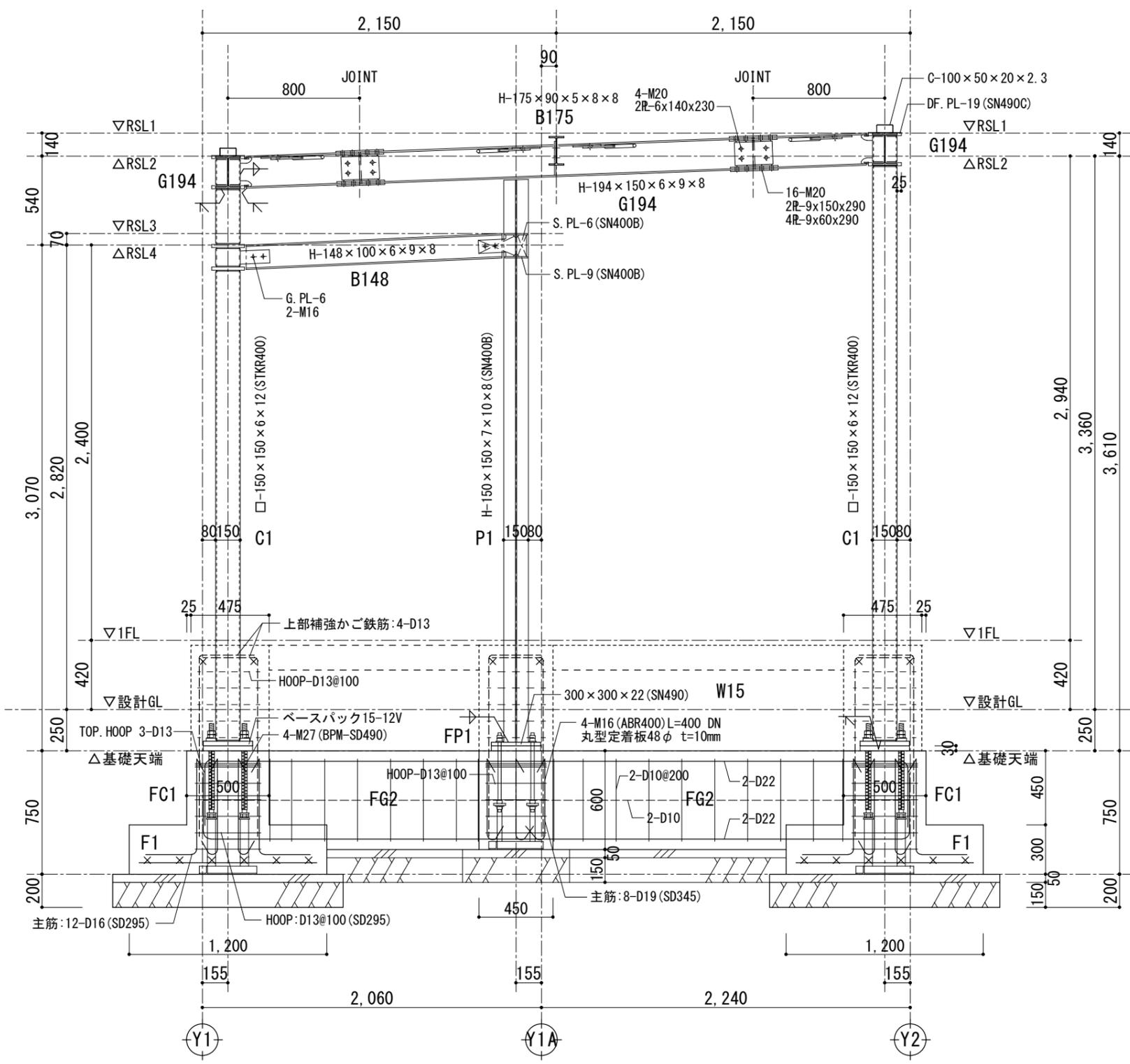
X1通り軸組図



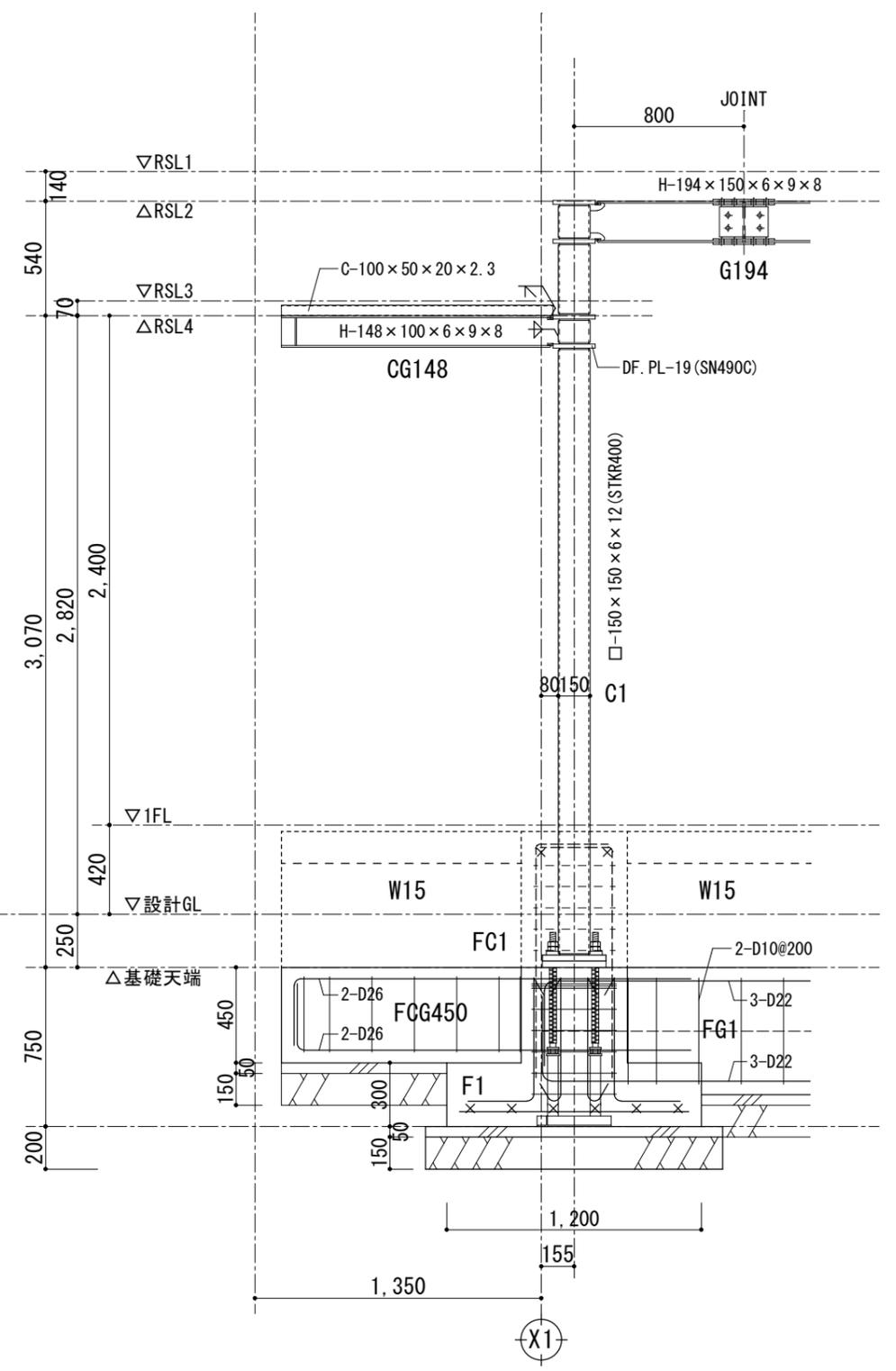
Y1通り軸組図



X2通り軸組図

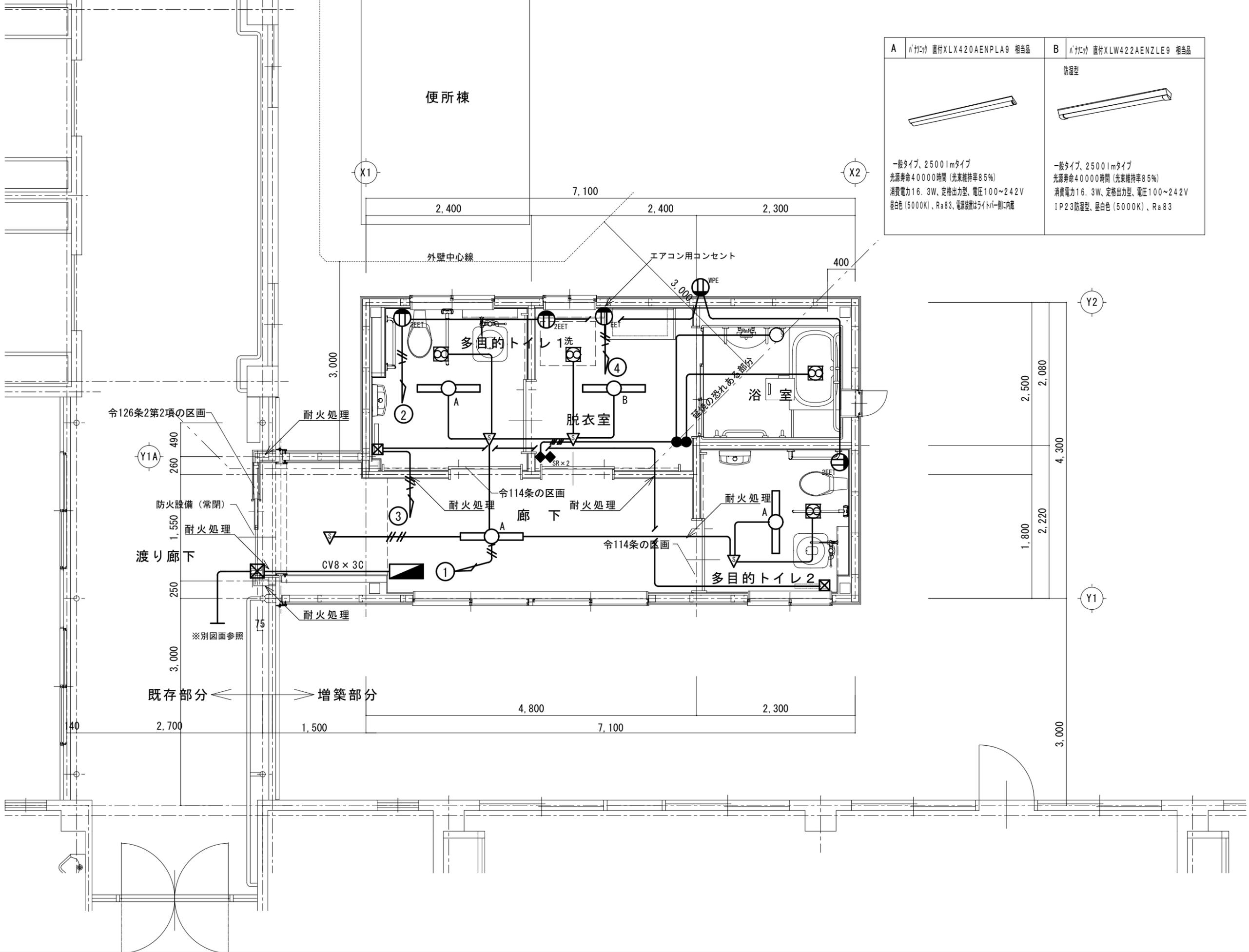


X1通り鉄骨詳細図

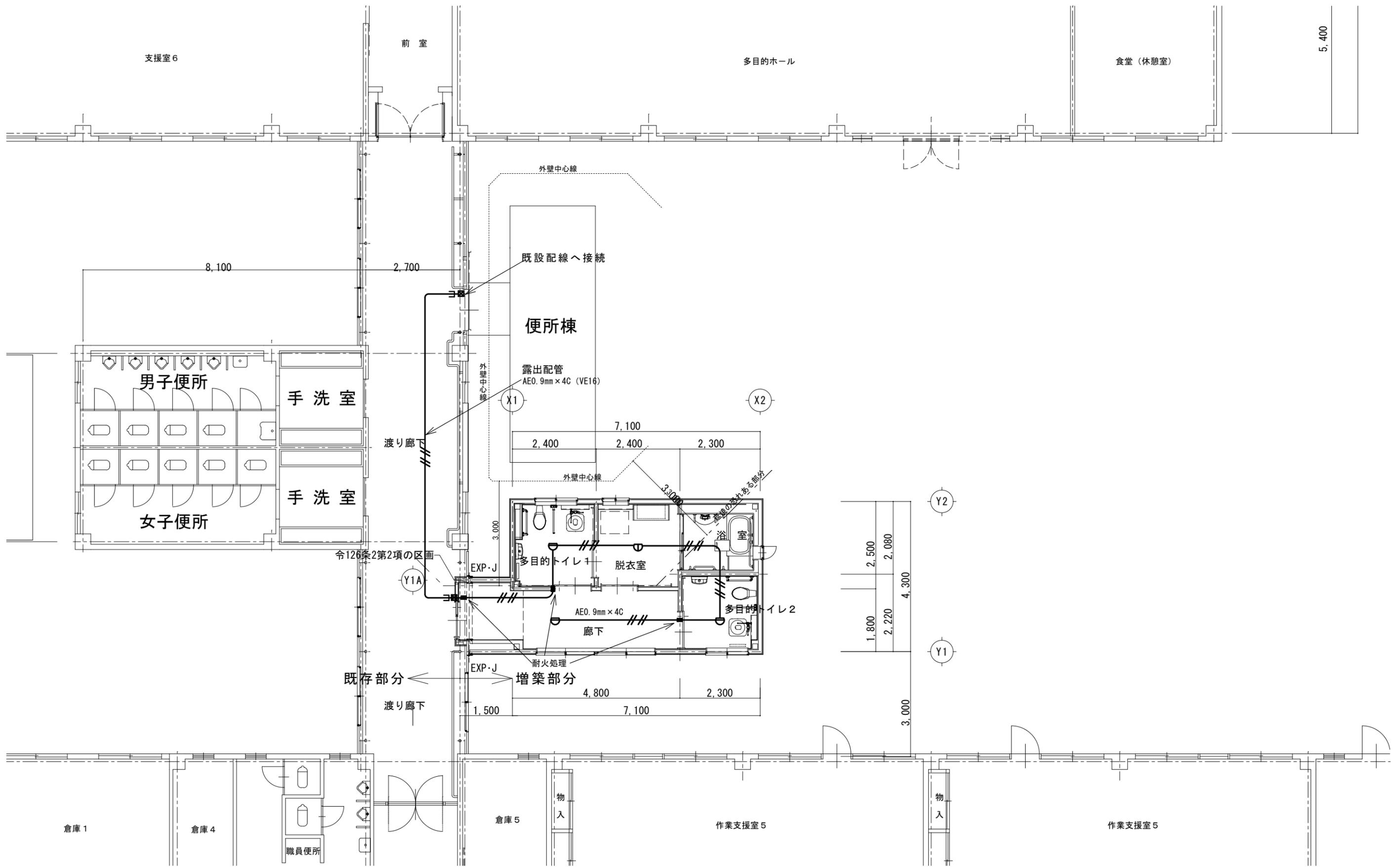


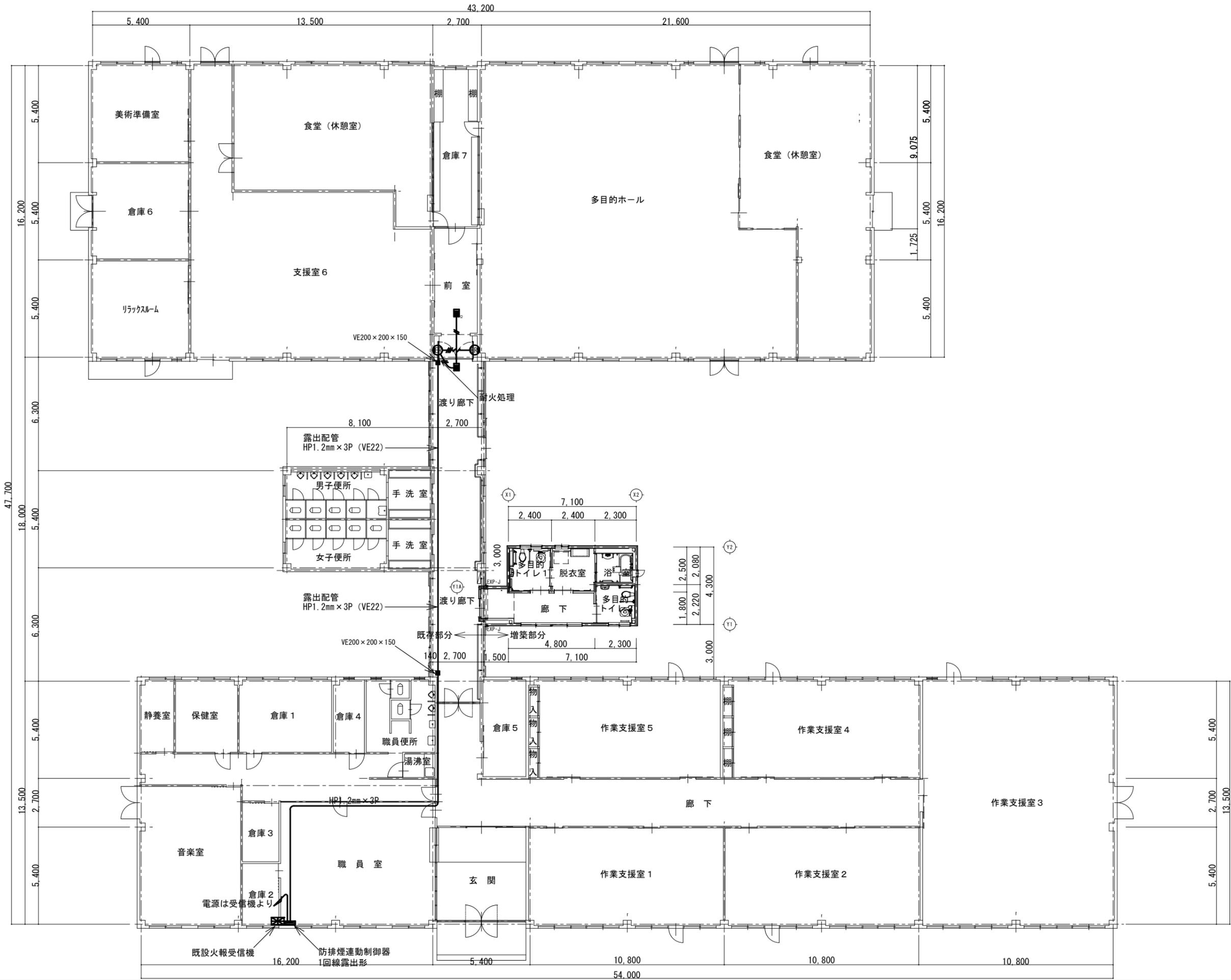
Y1通り鉄骨詳細図

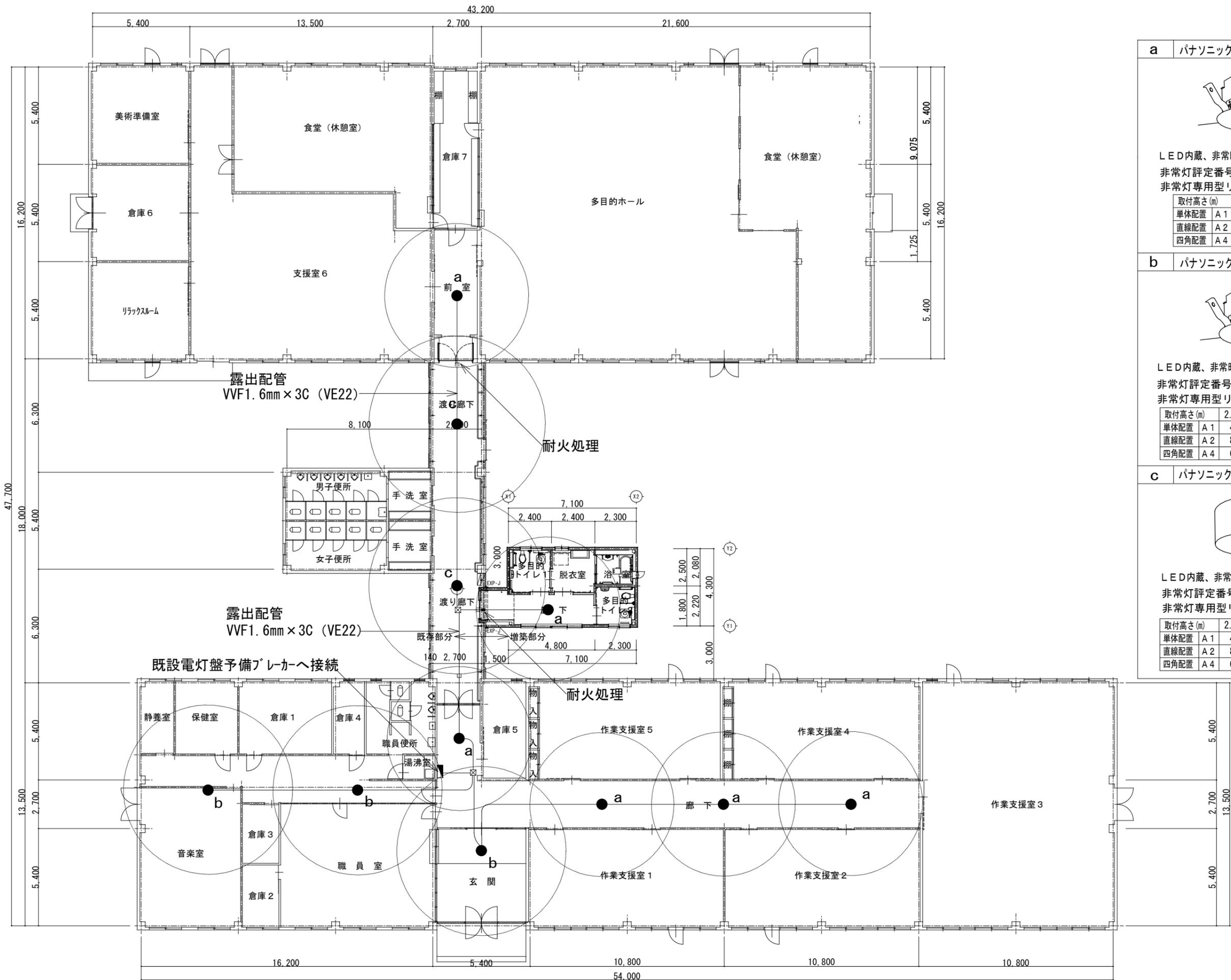


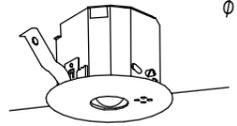
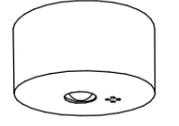


A	パナソニック 直付XLX420AENPLA9 相当品	B	パナソニック 直付XLW422AENZLE9 相当品
<p>一般タイプ、2500lmタイプ 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p>防湿型 一般タイプ、2500lmタイプ 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V IP23防湿型、昼白色(5000K)、Ra83</p>	







<b>a</b>	パナソニック NNFB90605K
φ100低天井用	
	
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：L A L E-004 非常灯専用型リモコン自己点検機能付	
取付高さ(m)	2.1m 2.4m 2.6m 3.0m
単体配置	A1 4.0 4.1 4.2 4.4
直線配置	A2 8.6 9.0 9.2 9.5
四角配置	A4 6.9 7.1 7.4 7.6
<b>b</b>	パナソニック NNFB91605C
φ100低天井用	
	
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：L A L E-004 非常灯専用型リモコン自己点検機能付	
取付高さ(m)	2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m
単体配置	A1 4.0 4.1 4.2 4.4 3.3
直線配置	A2 8.6 9.0 9.2 9.5 12.9
四角配置	A4 6.9 7.1 7.4 7.6 11.7
<b>c</b>	パナソニック NNFB91005C
直付低天井用	
	
LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：L A L E-004 非常灯専用型リモコン自己点検機能付	
取付高さ(m)	2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m
単体配置	A1 4.2 4.6 4.0 2.8 3.3
直線配置	A2 8.5 9.4 9.9 10.1 12.9
四角配置	A4 6.9 7.6 8.1 8.9 11.7

機 器 表

記 号	名 称	規格・参考品番	台数	備 考
ACR	ルームエアコン	壁掛け形 冷房：2.2kw, 暖房：2.2kw 消費電力：1φ100V×655W 室外機用壁掛架台 共	1	MSZ-BXV2224-W
VF-1	ダクト用換気扇	低騒音形 サニタリー用 60m3/h×20pa 1φ×100V×9.3w SUS深型フード付共	1	VD-10ZC14
VF-2	ダクト用換気扇	低騒音形 サニタリー用 60m3/h×20pa 1φ×100V×9.3w SUS深型フード付共	1	VD-10ZC14
VF-3	ダクト用換気扇	低騒音形 サニタリー用 人感センサー搭載 100m3/h×30pa 1φ×100V×15.5w SUS深型フード付共	1	VD-13ZAVC7
OF-1	自然給気口	100φ ネットフィルター付, 風量調整機能付き SUS深型フード付共	2	P-13GLF6
EPH	電気パネルヒーター	暖房能力 0.75kw 電源1φ100/200V×0.75kw いたずら防止カバー 共	2	
GHW	ガス給湯機	屋外壁掛け型 24号 LPG焚き 高温水供給式 給湯ガス消費量 50.5Kw 1φ×100V×84w 風呂アダプタ, 台所リモコン, リモコンケーブル 共	1	RUJ-A2400W(A)

凡 例

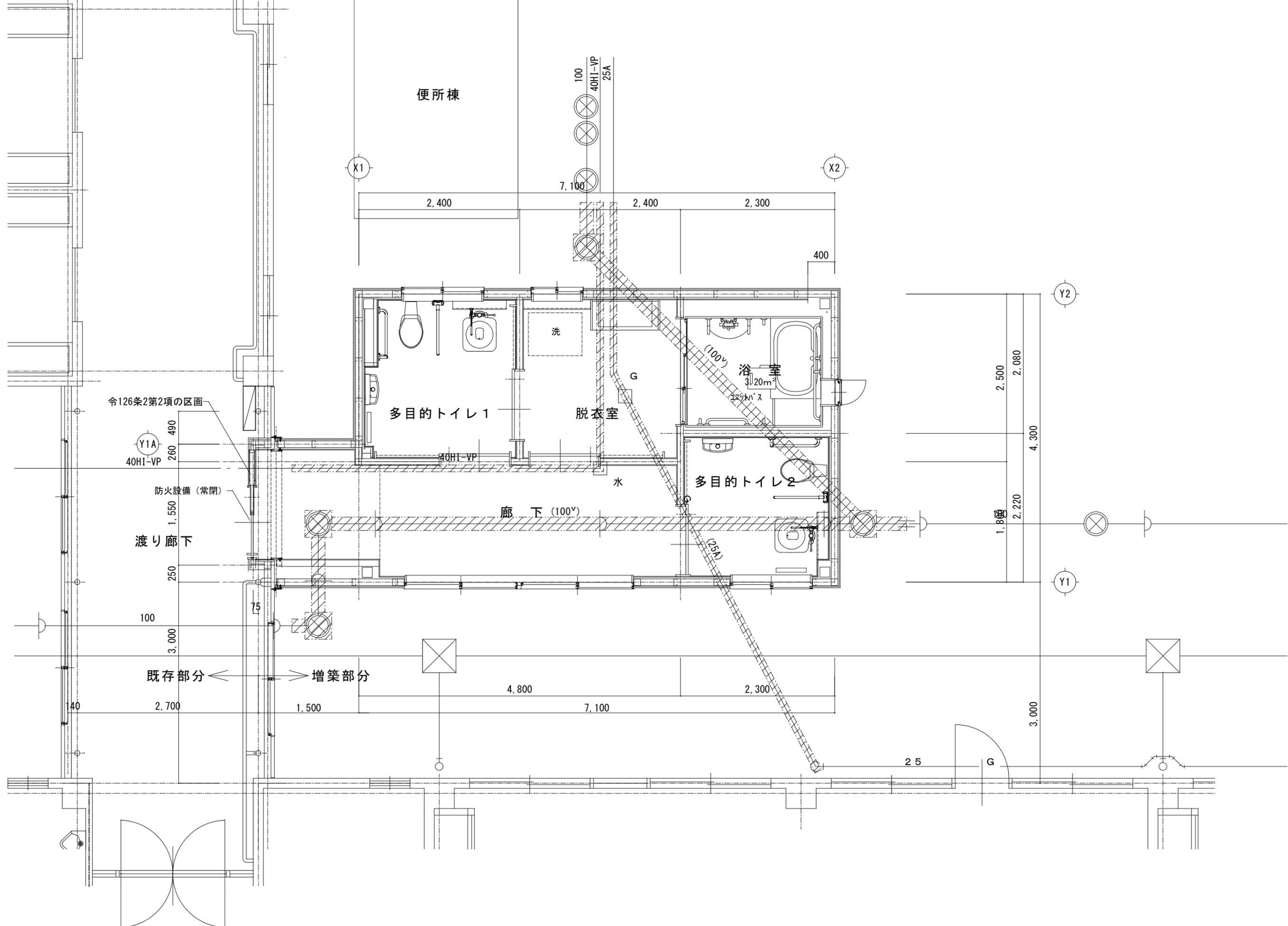
記 号	名 称 (適用)		仕 様
— — — —	給水管	屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (コア付継手) JWWA K 116 SGP-VB
— — — —	給水管	屋内埋設	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (コア付継手) JWWA K 116 SGP-VD
— — — —	給水管	屋外埋設	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 HI-VP
—   —	給湯管	屋内一般	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (コア付継手) SGP-HVA
— — — —	排水管	屋内一般	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VP
— — — —	排水管	屋外埋設	硬質塩化ビニール管 JIS K 6741 VU
— G —	ガス管	屋内一般	配管用炭素鋼鋼管 JIS K 3452
— G —	ガス管	屋外埋設	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (外面被覆継手) JIS K 3452

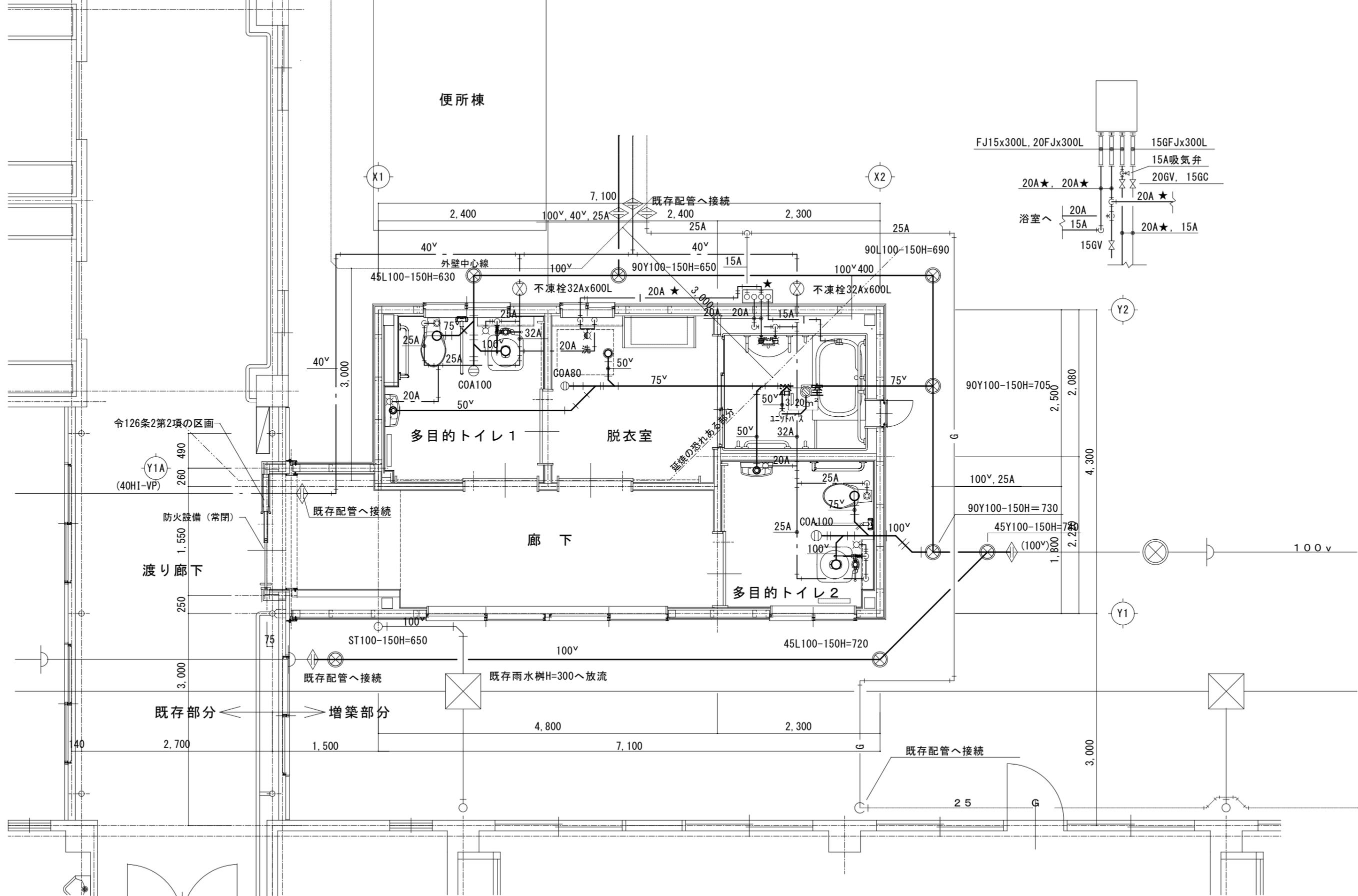
衛 生 器 具 表

C480AN

名 称	規格・参考品番	数 量	備 考
洋風大便器	C480AN 自動FV: TEFV70UCA, FV配管セット, センサースイッチ 電波受信ユニット, 暖房便座: TCF116 他付属品一式共	2	電気容量 AC100V×52w
L型手すり	T112CL11 固定金具 共	2	電気容量 AC100V×52w
可動式手すり,	T112HK7R 固定金具 共	2	
紙巻き器	YH171R スペア付紙巻器 (棚付)	2	
壁掛手洗器	LSH90ABSN 立水栓, 床排水金具 付属品一式 共	2	
汚物流し	SKL330HNFP 掃除口付床置き床排水 手動式FV, 補高台付, 塩ビ製床フランジ 付属品一式 共	2	
ユニットバス	XAV1620UYX6DK 床: カリ床, 収納棚なし, ドア: 3枚引戸, 天井: 平天井 洗い場水栓: サーマスタット付シャワー水栓, パス水栓: 無し, 鏡, 照明 換気: 三乾王1室換気, 手すり: 浴槽縦・横, 洗い場立ち座り手すり, 浴槽出入り手すり, 洗い場移動用, 浴室出入り用	1	換気扇 AC200V
洗濯機パン	PWP800N2W 横引き排水トラップ 共	1	
洗濯機用混合水栓	TW40SZ 壁付サーモスタット水栓	1	

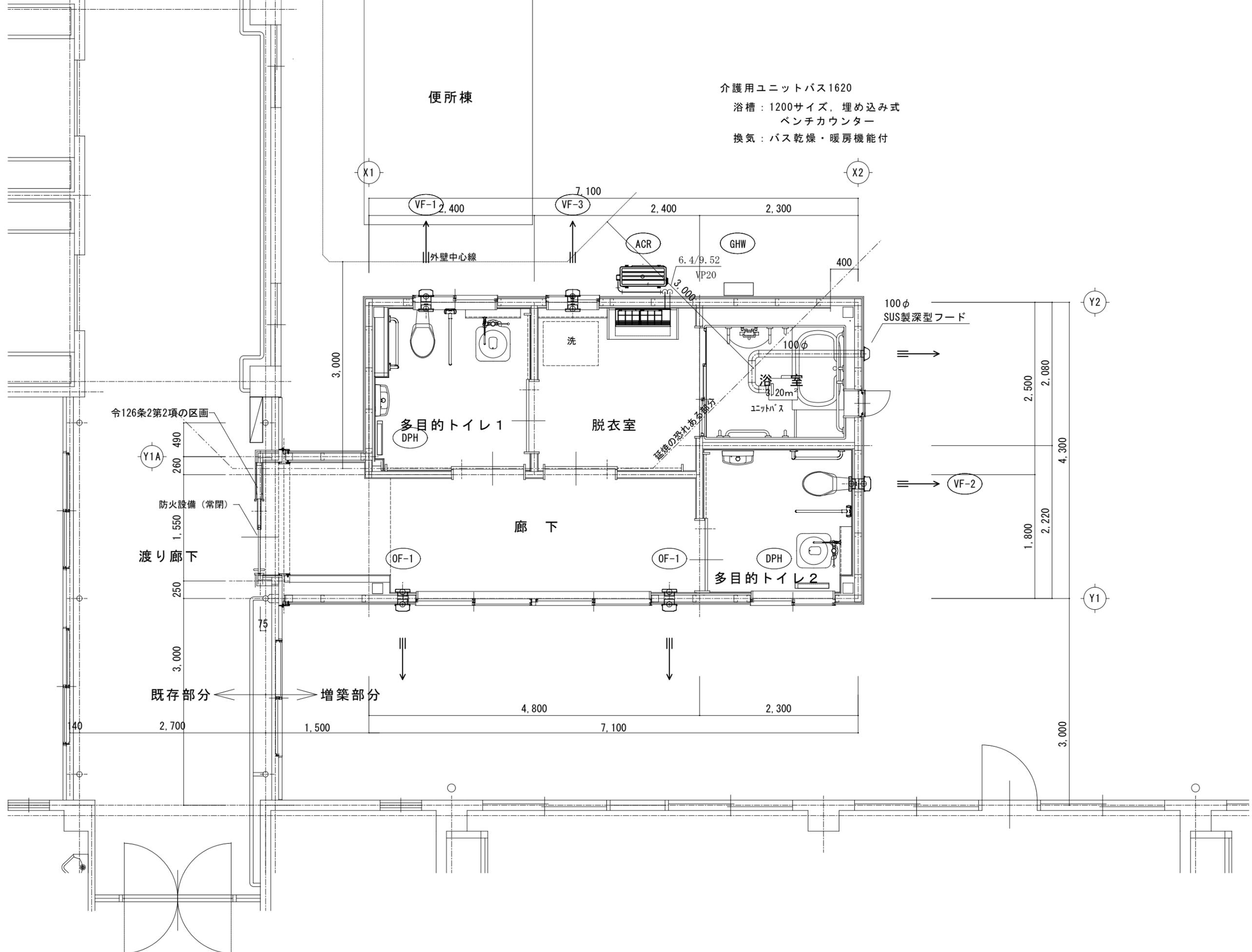
	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456・FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称	縮尺 NS	日付 R6.9.※	図面番号 M-01
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号						





注記：  
 ★印部は凍結防止ヒーター巻きを示す。

	長野県駒ヶ根市南田6番30号 TEL (0265)-82-5456 FAX (0265)-83-2383 E-mail: com-k@hb.tp1.jp	承認	件名 西駒郷 駒ヶ根日中支援1号棟多目的トイレ増設工事	図面名称 給水・給湯・排水設備図	縮尺	日付	図面番号
	管理建築士 清水久雄 1級建築士登録 195172号					S=1/50	R6.9.※



介護用ユニットバス1620

浴槽：1200サイズ、埋め込み式  
ベンチカウンター

換気：バス乾燥・暖房機能付

便所棟

令126条2第2項の区画

防火設備（常閉）

渡り廊下

既存部分

増築部分

100φ  
SUS製深型フード

延焼の恐れある部分

